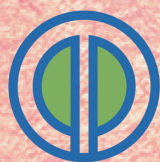


2021年度
年 報

Annual Report 2021



医療法人
JR 広島病院

ご挨拶



医療法人JR広島病院は2016年に設立され、この2021年で6年を経過しました。2018年4月から始まった当法人の第1期中期計画（2018年度～2022年度）のなかで引き続き「良質で安全な医療の追求」、「収益拡大に向けた取組みの推進」、「地域と連携した取組みの強化」の3点を事業運営方針に掲げて医療を提供してまいりました。

この間、この計画を実施するための基盤となる医師は、医師派遣元の広島大学病院各診療科のご尽力により、増加傾向にあり、診療体制が充実することで病院の医療体制は一層充実して参りました。現在、消化器内科、循環器内科、呼吸器内科、リウマチ・膠原病内科、外科・消化器外科・甲状腺外科、整形外科、眼科、皮膚科、産婦人科、泌尿器科、小児科、放射線科、リハビリテーション科、麻酔科（ペインクリニック）、耳鼻咽喉科、病理診断科、人工透析外科、緩和ケア内科、歯科口腔外科、精神科の各診療科と、がん温熱療法室、がん化学療法室、人工透析センターを持つ総合病院として運営しています。

2019年の冬以降流行している新型コロナウイルス感染症は、2年を経過してもまだ終息せず、一般診療には大きな影響が出ています。当院では感染対策をとりながら、県行政や他の医療機関と連携し、東区の中核病院としての役割を担っております。診療・検査医療機関としてPCR検査等やホテル宿泊療養支援、感染患者専用病床、ワクチン接種、感染患者の診療当番等にも尽力しています。

当院は広島大学および広島大学病院の重要な関連病院の一つでもあり、初期研修医や学部学生の教育、地域の医療系大学や専門学校生の実習も受入れています。コロナ感染症のために実習の中断を余儀なくされることもありますが、引き続きその責任は果たしたいと考えています。隣接する広島がん高精度放射線治療センターとも連携し、がん化学療法や温熱療法など、患者の要請に合う医療提供体制も整えています。病院併設の健診センターは、人間ドック・生活習慣病予防検診・各種健康診断で多くの皆様にご利用戴いています。併設するのぞみ保育園は、感染拡大の時期にあっても職員の活躍を支援する大きな力になっています。

当院は、安全な医療供給体制と東区における中核医療施設としての機能を維持しつつ、感染対策に努めながら、全職員が日々努力しており、本誌は2021年度のこれらの活動の現状と学術研究成果をまとめたものです。

なお昨年から引き続きpdf電子版を主に編纂しております。冊子体に触れたときの充実感はないかもしれませんが、時代の要請に適した情報発信のあり方と考えています。引き続き当院に対して、みなさまのご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2022年11月
医療法人 JR広島病院
理事長 病院長 河本昌志

目次

I. 病院概要

■ 概要説明	4
■ 病院統計	8

II. 各部門の概要

■ 消化器内科	13
■ 循環器内科	15
■ 呼吸器内科	20
■ リウマチ・膠原病内科	22
■ 外科・消化器外科・甲状腺外科	24
■ 人工透析外科	26
■ 人工透析センター	28
■ 整形外科	30
■ リハビリテーション科	32
■ 小児科	34
■ 皮膚科	35
■ 産婦人科	36
■ 泌尿器科	38
■ 眼科	40
■ 耳鼻咽喉科	42
■ 緩和ケア内科	43
■ 放射線科	44
■ 麻酔科	46
■ 病理診断科	47
■ 健診センター	48
■ 歯科口腔外科	51
■ 化学療法センター	52
■ 臨床検査科	53
■ 温熱療法室	57

■ 教育研修部	59
■ 看護部	61
■ 臨床工学室	62
■ 薬剤部	64
■ 栄養士室	67
■ 医療安全管理室	69
■ 感染対策室	71
■ 事務部	73
■ 地域医療連携室	74
■ 患者支援室	77

III. 業績集

■ 2021年度	80
----------	----

IV. 2021年度の動き

■ 2021年度 主な行事	96
---------------	----

» I 病院概要

医療法人JR広島病院 (2022. 3. 31時点)

理事長	河本 昌志
病院名称	JR広島病院
所在地	〒732-0057 広島市東区二葉の里3丁目1-36
病床数	275床 (一般病棟214床、地域包括ケア病棟41床、緩和ケア病棟20床)
診療科	内科／消化器内科／循環器内科／呼吸器内科 リウマチ・膠原病内科／脳神経内科／外科・消化器外科・甲状腺外科／ 人工透析外科／整形外科／眼科／皮膚科／産婦人科／泌尿器科／ 小児科／耳鼻咽喉科／リハビリテーション科／麻酔科／放射線科／ 緩和ケア内科／病理診断科 (歯科口腔外科及び精神科：入院患者対応のみ)

沿革

大正 9年 5月	広島市松原町広島駅構内に広島鉄道治療所開設
昭和15年 6月	広島鉄道病院開院
昭和19年 3月	広島市大須賀町に新病院落成
昭和20年 8月	原爆投下により病院全壊
昭和24年 2月	広島市尾長町に病院新築
昭和25年 8月	日本国有鉄道広島管理局広島鉄道病院に組織改編
昭和38年 9月	広島市二葉の里に新病院落成
昭和43年 7月	臨床研修指定病院指定
昭和57年 4月	保険医療機関の指定
昭和57年 6月	二次救急病院指定
昭和62年 4月	西日本旅客鉄道株式会社発足により 西日本旅客鉄道株式会社広島支社広島鉄道病院に名称変更
平成10年 6月	日本医療機能評価機構認定
平成21年 7月	DPC対象病院認定
平成28年 1月	旧病院隣接地に新病院落成 (病床数275床)
平成28年 4月	医療法人JR広島病院設立 西日本旅客鉄道株式会社広島支社広島鉄道病院より事業継承 病院名を「JR広島病院」とする
平成30年 6月	日本医療機能評価機構「病院機能評価 (3rdG:Ver.1.1)」認定更新
令和 2年 3月	地域医療支援病院名称使用承認

病院理念

優しさと誠実な医療で更なる地域貢献をめざします

JR広島病院の医療

1. 良質で安全な医療

常に専門的知識と技術を高め、医療水準の向上を図ることで、患者さんに良質な医療を提供します

2. 患者さんと共に築く医療

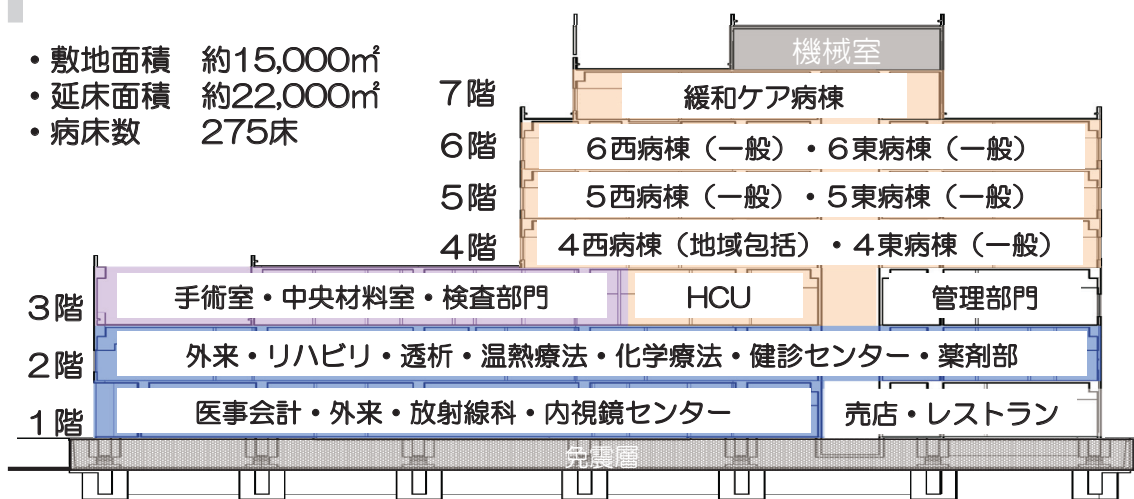
患者さんの意向に配慮し、より適切で最善な医療を提供していくための取り組みを推進します

3. 健全な運営による医療の提供

地域に根ざした健全な病院運営により継続的に医療を提供することで、地域における重要な使命を果たしていきます

病院フロアマップ

- 敷地面積 約15,000㎡
- 延床面積 約22,000㎡
- 病床数 275床



指定医療機関 (2021. 4. 1時点)

- 保険医療機関
- 被爆者指定医療機関
- 母子保健法（養育医療）指定医療機関
- 指定自立支援医療機関（更生医療・育成医療・精神通院医療）
- 労災保険指定医療機関
- 被爆者一般疾病医療機関
- 生活保護法及び中国残留邦人等支援法による指定医療機関
- 結核指定医療機関
- 地域医療支援病院
- 毒ガス障害医療実施医療機関
- 臨床研修指定病院
- 救急指定病院
- 病院群輪番制病院
- DPC対象病院
- 肝がん・重度肝硬変治療研究促進事業指定医療機関
- 肝炎治療指定医療機関
- 難病指定医療機関
- 指定小児慢性特定疾病医療機関

研修施設等指定状況 (2021. 4. 1時点)

- 日本内科学会認定内科専門医教育関連施設
- 日本消化器病学会認定施設
- 日本循環器学会認定循環器専門医研修施設
- 日本脈管学会認定研修関連施設
- 日本外科学会外科専門医制度修練施設
- 日本消化器外科学会専門医制度指定修練施設
- 日本がん治療認定医機構認定研修施設
- 日本整形外科学会専門医研修施設
- 日本泌尿器学会専門医制度研修施設
- 日本産婦人科学会専門医制度卒後研修指導施設
- 日本医学放射線学会放射線科専門医制度修練機関
- 日本麻酔科学会認定病院
- 日本動脈硬化学会専門医認定教育施設
- 日本呼吸器学会認定施設
- 日本臨床細胞学会認定施設
- 日本臨床細胞学会教育研修施設
- 日本病理学会登録施設
- 日本消化器内視鏡学会指導施設
- 日本消化管学会胃腸科指導施設
- 日本超音波医学会専門医研修施設
- 日本高血圧学会高血圧認定研修施設
- 日本透析医学会専門医認定施設
- 日本内分泌・甲状腺外科学会専門医認定施設
- 日本核医学会専門医教育病院
- 日本リウマチ学会教育施設
- 日本眼科学会専門医制度研修施設：一般研修施設
- 日本大腸肛門病学会認定施設
- 日本皮膚科学会認定専門医研修施設
- 日本アレルギー学会アレルギー専門医教育研修施設
- 日本肝臓病学会認定施設

施設基準 (2021. 4. 1時点)

- 初診料（歯科）の注1に掲げる基準
- 一般病棟入院基本料
- 救急医療管理加算
- 診療録管理体制加算 2
- 医師事務作業補助体制加算 1
- 急性期看護補助体制加算
- 療養環境加算
- 重症者等療養環境特別加算
- 医療安全対策加算 1
- 感染防止対策加算 1
- 患者サポート体制充実加算
- ハイリスク妊娠管理加算
- 後発医薬品使用体制加算 2
- 病棟薬剤業務実施加算 1
- データ提出加算
- 入退院支援加算
- 認知症ケア加算
- 地域包括ケア病棟入院料 2 及び地域包括ケア入院医療管理料 2
- 緩和ケア病棟入院料 2
- 短期滞在手術等基本料 2
- 入院時食事療養／生活療養（Ⅰ）
- がん性疼痛緩和指導管理料
- がん患者指導管理料Ⅰ
- がん患者指導管理料Ⅱ
- ニコチン依存症管理料
- 開放型病院共同指導料
- がん治療連携指導料
- 肝炎インターフェロン治療計画料
- 薬剤管理指導料
- 医療機器安全管理料 1
- 遺伝学的検査
- HPV核酸検出及びHPV核酸検出（簡易ジェノタイプ判定）
- 検体検査管理加算（Ⅱ）
- 心臓カテーテル法による諸検査の血管内視鏡検査加算
- 胎児心エコー法
- 時間内歩行試験及びシャトルウォーキングテスト
- ヘッドアップティルト試験
- 内服・点滴誘発試験
- 画像診断管理加算 2
- CT撮影及びMRI撮影
- 冠動脈CT撮影加算
- 心臓MRI撮影加算
- 抗悪性腫瘍剤処方管理加算
- 外来化学療法加算 1
- 無菌製剤処理料
- 心大血管疾患リハビリテーション料（Ⅰ）
- 脳血管疾患等リハビリテーション料（Ⅱ）
- 運動器リハビリテーション料（Ⅰ）
- 呼吸器リハビリテーション料（Ⅰ）
- がん患者リハビリテーション料
- 人工腎臓
- 導入期加算 1
- 透析液水質確保加算及び慢性維持透析濾過加算
- 下肢末梢動脈疾患指導管理加算
- 椎間板内酵素注入療法
- 食道縫合術（穿孔、損傷）（内視鏡によるもの）、内視鏡下胃、十二指腸穿孔瘻孔閉鎖術、胃瘻閉鎖術（内視鏡によるもの）、小腸瘻閉鎖術（内視鏡によるもの）、結腸瘻閉鎖術（内視鏡によるもの）、腎（腎盂）腸瘻閉鎖術（内視鏡によるもの）、尿管腸瘻閉鎖術（内視鏡によるもの）、膀胱腸瘻閉鎖術（内視鏡によるもの）、及び膈腸瘻閉鎖術（内視鏡によるもの）、
- 乳がんセンチネルリンパ節加算 2 及びセンチネルリンパ節生検（単独）
- ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術
- 大動脈バルーンポンピング法（IABP法）
- 早期悪性腫瘍大腸粘膜下層剥離術
- 医科点数表第 2 章第 10 部手術の通則の 16 に掲げる手術
- 輸血管理料Ⅱ
- 人工肛門・人工膀胱造設術前処置加算
- 胃瘻造設時嚥下機能評価加算
- 麻酔管理料（Ⅰ）
- 病理診断管理加算 1
- 悪性腫瘍病理組織標本加算
- 口腔病理診断管理加算 1

病院統計

延患者数(入院)

【単位：人】

科名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
消化器内科	919	975	1,045	765	767	776	869	687	712	923	728	855	10,021
循環器内科	1,158	1,049	835	780	776	739	739	714	851	1,150	1,118	1,075	10,984
呼吸器内科	391	482	387	503	582	559	352	391	426	567	589	745	5,974
リウマチ・膠原病内科	68	129	129	96	108	86	70	159	103	144	74	38	1,204
外科・消化器外科	475	471	427	452	506	369	420	415	311	191	264	499	4,800
人工透析外科	170	154	166	278	264	136	174	182	223	216	177	340	2,480
整形外科(※)	1,253	1,007	951	1,039	1,167	760	1,082	1,112	1,291	1,270	994	1,212	13,138
小児科	83	39	87	114	50	30	30	70	44	13	72	20	652
皮膚科	159	68	14	73	115	119	87	160	94	22	56	102	1,069
産婦人科	21	10	9	15	7	27	38	11	14	0	6	4	162
泌尿器科	415	347	317	357	493	518	537	472	469	379	352	389	5,045
眼科	151	123	67	110	97	78	119	114	120	125	98	136	1,338
耳鼻咽喉科	89	91	51	62	28	50	41	43	71	45	51	91	713
緩和ケア内科	470	442	468	483	502	474	489	465	409	404	336	454	5,396
合計	5,822	5,387	4,953	5,127	5,462	4,721	5,047	4,995	5,138	5,449	4,915	5,960	62,976

1日当たり平均患者数(入院)

【単位：人】

科名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
消化器内科	30.6	31.5	34.8	24.7	24.7	25.9	28.0	22.9	23.0	29.8	26.0	27.6	27.5
循環器内科	38.6	33.8	27.8	25.2	25.0	24.6	23.8	23.8	27.5	37.1	39.9	34.7	30.1
呼吸器内科	13.0	15.5	12.9	16.2	18.8	18.6	11.4	13.0	13.7	18.3	21.0	24.0	16.4
リウマチ・膠原病内科	2.3	4.2	4.3	3.1	3.5	2.9	2.3	5.3	3.3	4.6	2.6	1.2	3.3
外科・消化器外科	15.8	15.2	14.2	14.6	16.3	12.3	13.5	13.8	10.0	6.2	9.4	16.1	13.2
人工透析外科	5.7	5.0	5.5	9.0	8.5	4.5	5.6	6.1	7.2	7.0	6.3	11.0	6.8
整形外科(※)	41.8	32.5	31.7	33.5	37.6	25.3	34.9	37.1	41.6	41.0	35.5	39.1	36.0
小児科	2.8	1.3	2.9	3.7	1.6	1.0	1.0	2.3	1.4	0.4	2.6	0.6	1.8
皮膚科	5.3	2.2	0.5	2.4	3.7	4.0	2.8	5.3	3.0	0.7	2.0	3.3	2.9
産婦人科	0.7	0.3	0.3	0.5	0.2	0.9	1.2	0.4	0.5	0.0	0.2	0.1	0.4
泌尿器科	13.8	11.2	10.6	11.5	15.9	17.3	17.3	15.7	15.1	12.2	12.6	12.5	13.8
眼科	5.0	4.0	2.2	3.5	3.1	2.6	3.8	3.8	3.9	4.0	3.5	4.4	3.7
耳鼻咽喉科	3.0	2.9	1.7	2.0	0.9	1.7	1.3	1.4	2.3	1.5	1.8	2.9	2.0
緩和ケア内科	15.7	14.3	15.6	15.6	16.2	15.8	15.8	15.5	13.2	13.0	12.0	14.6	14.8
合計	194.1	173.8	165.1	165.4	176.2	157.4	162.8	166.5	165.7	175.8	175.5	192.3	172.5

1日1人当たり平均単価(入院)

【単位：円】

科名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
消化器内科	45,823	45,249	45,458	45,033	44,788	48,658	46,321	48,785	45,862	44,737	44,232	50,776	46,265
循環器内科	49,601	53,002	60,005	49,249	48,476	53,672	60,030	50,134	56,738	55,361	52,219	51,760	53,256
呼吸器内科	44,702	66,849	77,364	51,054	62,230	68,023	50,855	53,936	44,760	68,241	79,741	62,613	61,923
リウマチ・膠原病内科	55,793	46,293	50,146	51,500	47,665	58,582	60,959	55,169	51,584	44,080	47,613	47,680	50,996
外科・消化器外科	72,552	62,968	74,329	68,171	73,253	78,969	74,407	80,682	78,945	81,920	77,020	78,574	74,448
人工透析外科	48,831	75,285	63,429	48,714	49,525	53,644	51,177	59,859	64,092	59,544	65,238	57,153	57,367
整形外科(※)	67,594	67,332	79,730	79,808	66,178	81,682	74,469	74,282	69,018	68,348	75,664	77,217	72,951
小児科	42,970	63,531	45,202	45,726	61,636	81,385	59,390	52,731	56,425	126,775	69,541	64,287	56,149
皮膚科	35,399	35,329	44,447	42,095	44,313	42,598	38,792	38,173	35,116	38,782	36,578	38,410	38,816
産婦人科	59,334	99,516	82,154	85,315	146,324	40,016	41,042	58,180	78,513	0	97,918	79,443	65,241
泌尿器科	75,806	73,941	77,385	76,114	65,053	65,657	64,055	65,470	69,174	75,632	74,905	76,081	70,817
眼科	118,837	118,219	120,754	116,146	114,185	113,838	120,309	112,663	121,674	117,455	117,445	120,607	117,834
耳鼻咽喉科	51,990	45,971	58,313	50,576	74,089	48,996	69,053	63,203	52,745	45,042	47,603	38,520	51,470
緩和ケア内科	48,674	48,721	49,275	49,194	46,551	47,641	47,459	47,031	47,438	49,543	49,491	49,621	48,338
合計	57,648	59,172	63,812	59,913	58,312	62,595	61,221	61,046	60,401	61,148	63,630	63,304	60,961

※ リハビリテーション科を含む

延患者数(外来)

【単位：人】

科名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
消化器内科	1,181	1,005	1,199	1,112	1,057	1,104	1,083	1,116	1,161	1,078	958	1,099	13,153
循環器内科	1,407	1,198	1,322	1,239	1,267	1,163	1,209	1,143	1,235	1,156	1,010	1,237	14,586
呼吸器内科	663	649	655	638	670	645	647	601	655	693	602	715	7,833
リウマチ・膠原病内科	428	292	329	350	372	319	303	328	336	358	335	359	4,109
外科・消化器外科	579	454	612	491	487	559	579	508	577	497	439	549	6,331
人工透析外科	1,093	1,064	1,067	1,163	1,148	1,118	1,101	1,122	1,154	1,125	1,044	1,142	13,341
整形外科(※)	1,073	1,103	1,158	1,160	1,168	1,096	1,170	1,192	1,243	1,081	1,092	1,268	13,804
小児科	438	384	482	436	374	356	470	595	532	398	432	531	5,428
皮膚科	541	520	576	613	599	608	604	609	632	555	498	560	6,915
産婦人科	272	260	311	281	243	266	287	271	302	209	188	279	3,169
泌尿器科	776	667	772	732	770	795	774	760	864	656	660	865	9,091
眼科	662	551	748	600	648	668	685	618	651	578	598	684	7,691
耳鼻咽喉科	446	389	452	403	412	455	412	477	429	350	345	426	4,996
緩和ケア内科	59	18	22	21	20	17	20	19	24	22	24	28	294
放射線科	240	181	232	175	178	218	236	211	207	162	147	188	2,375
麻酔科	20	20	35	25	25	29	37	15	27	25	20	41	319
脳神経内科	64	59	74	77	78	72	69	64	68	65	55	77	822
歯科口腔外科	623	506	604	598	658	592	765	587	621	562	579	705	7,400
合計	10,565	9,320	10,650	10,114	10,174	10,080	10,451	10,236	10,718	9,570	9,026	10,753	121,657

1日当たり平均患者数(外来)

【単位：人】

科名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
消化器内科	56.2	55.8	54.5	55.6	50.3	55.2	51.6	55.8	55.3	56.7	53.2	50.0	54.1
循環器内科	67.0	66.6	60.1	62.0	60.3	58.2	57.6	57.2	58.8	60.8	56.1	56.2	60.0
呼吸器内科	31.6	36.1	29.8	31.9	31.9	32.3	30.8	30.1	31.2	36.5	33.4	32.5	32.2
リウマチ・膠原病内科	20.4	16.2	15.0	17.5	17.7	16.0	14.4	16.4	16.0	18.8	18.6	16.3	16.9
外科・消化器外科	27.6	25.2	27.8	24.6	23.2	28.0	27.6	25.4	27.5	26.2	24.4	25.0	26.1
人工透析外科	52.0	59.1	48.5	58.2	54.7	55.9	52.4	56.1	55.0	59.2	58.0	51.9	54.9
整形外科(※)	51.1	61.3	52.6	58.0	55.6	54.8	55.7	59.6	59.2	56.9	60.7	57.6	56.8
小児科	20.9	21.3	21.9	21.8	17.8	17.8	22.4	29.8	25.3	20.9	24.0	24.1	22.3
皮膚科	25.8	28.9	26.2	30.7	28.5	30.4	28.8	30.5	30.1	29.2	27.7	25.5	28.5
産婦人科	13.0	14.4	14.1	14.1	11.6	13.3	13.7	13.6	14.4	11.0	10.4	12.7	13.0
泌尿器科	37.0	37.1	35.1	36.6	36.7	39.8	36.9	38.0	41.1	34.5	36.7	39.3	37.4
眼科	31.5	30.6	34.0	30.0	30.9	33.4	32.6	30.9	31.0	30.4	33.2	31.1	31.7
耳鼻咽喉科	21.2	21.6	20.5	20.2	19.6	22.8	19.6	23.9	20.4	18.4	19.2	19.4	20.6
緩和ケア内科	2.8	1.0	1.0	1.1	1.0	0.9	1.0	1.0	1.1	1.2	1.3	1.3	1.2
放射線科	11.4	10.1	10.5	8.8	8.5	10.9	11.2	10.6	9.9	8.5	8.2	8.5	9.8
麻酔科	1.0	1.1	1.6	1.3	1.2	1.5	1.8	0.8	1.3	1.3	1.1	1.9	1.3
脳神経内科	3.0	3.3	3.4	3.9	3.7	3.6	3.3	3.2	3.2	3.4	3.1	3.5	3.4
歯科口腔外科	29.7	28.1	27.5	29.9	31.3	29.6	36.4	29.4	29.6	29.6	32.2	32.0	30.5
合計	503.1	517.8	484.1	505.7	484.5	504.0	497.7	511.8	510.4	503.7	501.4	488.8	500.6

1日1人当たり平均単価(外来)

【単位：円】

科名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
消化器内科	16,967	16,273	18,448	15,577	17,190	15,961	16,123	15,491	16,759	15,640	17,284	16,140	16,497
循環器内科	11,313	11,427	11,665	11,353	10,265	10,004	10,667	10,321	10,516	10,228	11,245	10,779	10,828
呼吸器内科	11,738	11,975	14,216	12,549	13,929	12,775	13,174	13,502	13,657	12,344	13,400	12,892	13,005
リウマチ・膠原病内科	23,845	34,433	34,521	38,174	32,155	32,821	32,737	33,914	34,270	34,681	36,790	32,628	33,201
外科・消化器外科	25,681	32,280	29,049	28,197	27,871	25,828	28,847	31,895	27,332	31,468	31,486	31,297	29,139
人工透析外科	28,338	29,738	27,992	28,924	28,248	29,751	28,832	29,161	28,442	28,265	28,539	29,609	28,821
整形外科(※)	10,449	9,523	9,931	9,233	9,838	9,318	10,910	9,278	10,195	10,080	11,428	11,030	10,105
小児科	9,451	10,301	13,332	11,216	16,957	12,230	14,879	8,806	13,349	13,805	12,417	14,734	12,551
皮膚科	3,776	4,287	4,290	3,792	3,613	4,740	4,436	4,349	3,862	4,408	4,242	4,063	4,153
産婦人科	7,332	7,512	8,539	6,651	7,338	7,023	8,111	7,970	7,963	7,906	8,235	7,925	7,708
泌尿器科	17,485	20,125	19,817	24,364	17,331	17,105	17,981	17,446	15,900	17,559	18,766	16,473	18,275
眼科	11,414	14,373	15,999	15,224	13,972	19,278	13,790	16,279	13,265	14,630	13,503	14,944	14,745
耳鼻咽喉科	4,509	4,937	5,982	4,845	5,317	5,201	5,028	5,525	4,480	5,683	5,066	5,426	5,168
緩和ケア内科	2,032	4,782	9,176	5,887	3,130	8,351	8,134	8,140	6,134	7,394	5,519	6,180	5,676
放射線科	29,212	29,694	29,749	27,258	28,639	27,941	28,853	28,449	31,744	29,582	27,679	30,601	29,155
麻酔科	2,824	2,055	2,596	2,034	2,280	2,221	2,511	3,586	3,827	2,439	2,859	2,673	2,628
脳神経内科	6,864	5,967	6,589	6,775	4,182	5,696	4,666	3,642	3,542	3,965	3,901	6,640	5,251
歯科口腔外科	4,206	4,822	4,526	4,789	4,402	3,968	3,784	4,247	4,182	4,160	3,796	4,264	4,247
合計	14,440	15,582	15,976	15,576	15,148	15,243	15,125	14,979	14,936	15,718	15,860	15,519	15,331

※ リハビリテーション科を含む

科別集計

	入院			外来	紹介・逆紹介件数(※2)				救急患者件数			手術件数(※3)	
	新入院患者数	退院患者数	平均在院日数(※1)	外来初診患者数	紹介件数	逆紹介件数	紹介率	逆紹介率	救急受入患者数	救急受診後入院患者数	救急車受入件数	手術件数	全身麻酔件数
	人	人	日	人	件	件	%	%	件	件	件	件	件
消化器内科	784	741	13.1	1,955	1,400	2,031	81.7	118.5	444	172	262	0	0
循環器内科	510	510	21.5	809	493	1,728	84.0	294.4	406	188	314	19	0
呼吸器内科	428	427	14.0	711	291	389	45.7	61.1	181	116	148	0	0
リウマチ・膠原病内科	76	74	16.1	380	166	1	51.6	40.1	102	29	73	0	0
外科・消化器外科	371	386	12.7	373	279	342	87.7	107.5	135	43	45	298	255
人工透析外科	129	131	19.1	115	88	11	88.9	421.2	52	25	27	90	6
整形外科(※4)	699	704	18.7	1,405	992	1,154	76.9	81.8	194	82	131	653	574
小児科	129	134	5.0	1,216	212	57	17.5	4.7	53	11	3	0	0
皮膚科	61	58	18.0	585	294	195	51.7	34.3	37	11	17	93	0
産婦人科	41	39	4.1	206	122	76	60.1	48.8	10	3	6	27	17
泌尿器科	655	645	7.8	646	480	3	76.7	85.1	89	34	37	373	291
眼科	566	570	2.4	586	474	533	81.0	97.6	44	0	1	753	0
耳鼻咽喉科	98	96	7.4	648	315	571	49.1	11.9	17	9	14	31	30
緩和ケア内科	135	173	35.0	91	91	129	102.2	12.4	6	6	5	0	0
放射線科	0	0	0	1,976	1,959	2,201	99.1	111.4	0	0	0	0	0
麻酔科	0	0	0	4	2	0	50.0	25.0	0	0	0	0	0
脳神経内科	0	0	0	25	24	24	96.0	96.0	1	0	0	0	0
歯科口腔外科	0	0	0	1,147	0	417	0.0	0.3	0	0	0	0	0
合計	4,682	4,688	13.4	12,878	7,682	9,862	63.8	81.9	1,771	729	1,083	2,337	1,173

※1 病床稼働状況を把握する統計として集計(施設基準による計上とは異なる。)

※2 地域医療支援病院における紹介率、逆紹介率の計算方法

※3 手術室実施件数

※4 リハビリテーション科を含む

月別集計

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
新入院患者数	人	394	408	350	389	403	348	397	395	387	395	370	4,682
退院患者数	人	424	405	359	390	391	372	404	371	404	365	384	4,688
平均在院日数	日	14.2	13.3	14.0	13.2	13.8	13.1	12.6	13.0	13.0	14.3	13.0	13.4
外来初診患者数	人	1,053	1,012	1,136	1,034	1,134	1,032	1,125	1,097	1,050	1,102	968	12,878
紹介件数	件	693	589	695	623	595	638	732	725	674	549	522	7,682
逆紹介件数	件	918	772	853	820	832	774	855	883	883	718	702	9,862
紹介率	%	69.4	62.7	65.6	65.2	56.2	65.8	68.8	69.6	68.3	54.6	58.1	63.8
逆紹介率	%	91.9	82.2	80.5	85.8	78.6	79.8	80.4	84.7	89.5	71.4	78.2	81.9
救急受入患者数	件	108	181	154	168	146	137	138	125	136	182	146	1,771
救急受診後入院患者数	件	56	66	49	62	57	53	61	59	64	77	55	729
救急車受入件数	件	70	102	88	89	87	74	95	77	96	113	92	1,083
手術件数	件	196	179	183	193	191	193	211	207	202	181	170	2,337
全身麻酔件数	件	98	85	97	98	113	90	103	105	97	90	83	1,173

【参考】過去5ヶ年 統計

		単位	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	
入院患者数、単価	延患者数	人	74,475	75,679	74,996	71,492	62,976	
	1日当たり平均患者数	人	204.0	207.3	204.9	195.9	172.5	
	1日1人当たり平均単価	円	51,564	52,262	51,554	55,009	60,961	
外来患者数、単価	延患者数	人	128,783	128,847	129,513	119,474	121,657	
	1日当たり平均患者数	人	525.6	528.1	535.2	489.6	500.6	
	1日1人当たり平均単価	円	12,328	13,252	14,245	14,829	15,331	
その他統計	入院	新入院患者数	人	5,488	5,469	5,377	5,103	4,682
		退院患者数	人	5,502	5,469	5,376	5,108	4,688
		平均在院日数	日	13.6	13.8	13.9	14.0	13.4
	外来	外来初診患者数	人	14,886	14,989	14,589	12,211	12,878
	紹介、逆紹介	紹介件数	件	7,584	7,515	7,798	7,584	7,682
		逆紹介件数	件	7,791	9,982	10,119	9,740	9,862
		紹介率	%	54.8	54.2	57.3	66.5	63.8
		逆紹介率	%	56.3	72.0	74.4	85.4	81.9
	救急患者	救急受入患者数	件	2,221	2,370	2,095	1,815	1,771
		救急入院患者数	件	867	865	791	793	729
		救急車受入件数	件	1,005	1,109	1,010	987	1,083
	手術	手術件数	件	2,113	2,228	2,205	2,282	2,337
		全身麻酔件数	件	846	952	1,013	1,097	1,173

» II 各部門の概要

消化器内科

医師紹介

2021年度在籍医師

副院長

三重野 寛 1980年卒

Hiroshi Mieno

消化器疾患、内視鏡診断・治療、IBS、GERD

医学博士

日本消化器病学会専門医

日本消化器内視鏡学会認定医

日本内科学会指導医

広島大学医学部臨床教授

消化器内科主任部長

峠 誠司 1984年卒

Seishi Tao

消化器疾患（肝・胆・膵）

医学博士

日本消化器病学会専門医

日本消化器内視鏡学会専門医

日本内科学会認定内科医

救急センター主任部長

吉田 成人 1992年卒

Shigeto Yoshida

消化器・消化管疾患、消化管癌、
炎症性腸疾患、ヘリコバクター感染症、
超音波内視鏡検査、内視鏡治療

医学博士

日本消化器内視鏡学会専門医・指導医・学術評議員

日本消化器病学会専門医・指導医・学会評議員

日本消化器がん検診学会認定医・指導医・代議員

日本消化管学会胃腸科認定医・胃腸科専門医・胃腸科指導医

日本ヘリコバクター学会 H. pylori（ピロリ菌）感染症認定医

日本内科学会認定医・総合内科専門医・認定施設指導医

日本がん治療認定医機構がん治療認定医

日本医師会認定産業医

広島卒後臨床研修ネットワーク指導医

緩和ケア研修会修了

広島大学医学部臨床教授

広島大学ナノデバイス研究所客員教授

部長

山科 敬太郎 1998年卒

Keitaro Yamashina

消化器疾患（肝臓疾患）

医学博士

日本消化器病学会専門医

日本内科学会総合内科専門医

日本肝臓学会肝臓専門医

大原 英司 2002年卒

Eiji Ohara

消化器疾患（胃・大腸）

医学博士

日本内科学会認定医

総合内科専門医・指導医

日本消化器内視鏡学会専門医・指導医

日本消化器病学会専門医・指導医

日本消化管学会胃腸科認定医・専門医・指導医

日本肝臓学会専門医・指導医

日本ヘリコバクター学会 H. pylori感染症認定医

日本がん治療認定医機構がん治療認定医

緩和ケア研修会修了

診療内容

質の高い医療を提供。

内視鏡は低侵襲な手段の1つです。

消化器内科は、5人の専門医で構成しております。消化器を中心に、一般内科を行っております。柱となるのは、消化管を中心とした内視鏡による診断と治療、そして肝胆膵も含めたがんの診療の2つです。エビデンスの確立した普遍的な診断・治療を、安全・確実かつ低侵襲に実施することを使命としています。食道・胃・十二指腸・小腸・大腸の診断と治療は、内視鏡センターを中心に低侵襲で質の高い医療を提供しています。内視鏡検査の件数は年間7000件を超えています。早期胃がん、早期大腸がんなどに対する内視鏡治療（内視鏡的粘膜下層剥離術、内視鏡的粘膜切除術）にも注力しており、手術が必要な消化器悪性疾患（癌、肉腫など）については外科と連携して治療を行っております。

また、過敏性腸症候群などの消化管機能障害、ヘリコバクターの除菌、超音波内視鏡検査なども専門としています。その他、胆道や膵臓疾患、肝臓疾患などにも最新の治療技術を取り入れ、総胆管結石に対する内視鏡的採石術（内視鏡的乳頭切開術、内視鏡的乳頭バルーン拡張術）な

ども実施しています。さらに、C型慢性肝炎に対するインターフェロンフリー治療は、多くの治療経験を持っています。

切除不能ながんに対しては、患者さんの体力や年齢を考慮して化学療法を行ったり、苦痛除去を行っています。膵臓がんや胆管がんによる閉塞性黄疸に対するステント治療なども実施しています。その他、新薬の治験にも積極的に参加しています。

また、当院のみでは実施が困難な学際的治療については、広島大学病院などの基幹病院と連携して行っています。引続き地域の皆さまの役割に立てるよう取り組んでまいります。

診療実績

1. 診断群分類別患者数等

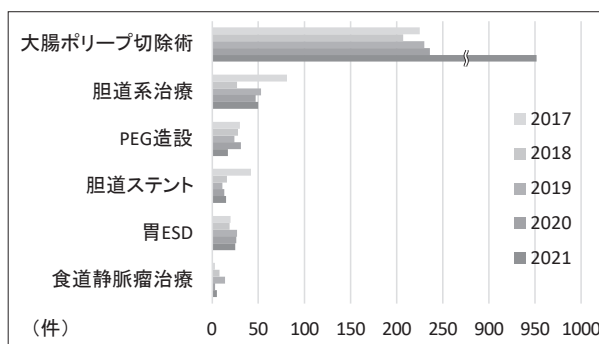
DPCコード	DPC名称	症例数
060100xx01xxxx	小腸大腸の良性疾患（良性腫瘍を含む。）内視鏡的大腸ポリープ・粘膜切除術	241
060102xx99xxxx	穿孔又は膿瘍を伴わない憩室性疾患 手術なし	41
040081xx99x0xx	誤嚥性肺炎 手術なし 手術・処置等2なし	23
060340xx03x00x	胆管（肝内外）結石、胆管炎 限局性腹腔膿瘍手術等 手術・処置等2なし 定義副傷病なし	20
060020xx04xxxx	胃の悪性腫瘍 内視鏡的胃、十二指腸ポリープ・粘膜切除術	19

消化管を中心とした内視鏡による診断と治療、肝胆膵を含めたがんの診療、ウイルス性肝疾患、IBDの診断・治療など消化器疾患全般の診療を行っています。ガイドラインに基づいた、安全かつ確実な診療を行っています。中でも柱となっているのは、内視鏡センターにおける食道から大腸までの診断と治療です。早期胃癌、早期大腸癌に対する内視鏡的治療（内視鏡的粘膜切除術、内視鏡的粘膜剥離術）を日々行っています。また、胆・膵に対する内視鏡的治療も年々増加してきています。外科的手術が必要な患者さまに対しては外科と緊密な連携をして治療を行っています。手術適応のない患者さんには積極的に化学療法を行っており、近接する広島がん高精度放射線治療センター（HIPRAC）と連携を

とり、手術前後の放射線治療も行っています。

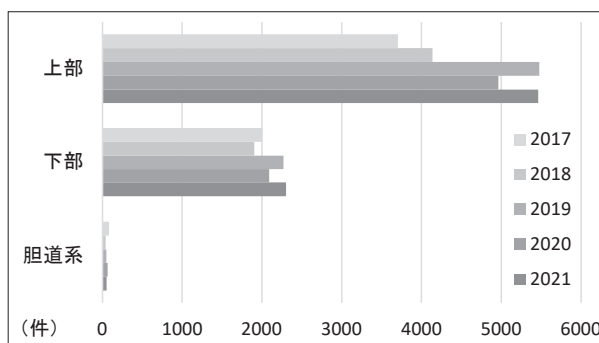
2. 消化器内科治療件数

	2017	2018	2019	2020	2021
大腸ポリープ切除術	225	207	230	236	952
胆道系治療	81	27	53	47	50
PEG造設	30	28	24	31	17
胆道ステント	42	16	11	13	15
胃ESD	20	19	27	26	25
食道静脈瘤治療	3	8	14	2	5



3. 消化器内科検査件数

	2017	2018	2019	2020	2021
上部	3,705	4,137	5,474	4,962	5,479
下部	2,006	1,907	2,271	2,089	2,308
胆道系	87	41	50	64	51



循環器内科

医師紹介

2021年度在籍医師

循環器内科主任部長

寺川 宏樹 1990年卒

Hiroki Teragawa

循環器疾患（虚血性心疾患、心不全、末梢血管疾患）

医学博士

日本内科学会認定内科医

日本内科学会総合内科専門医

日本循環器学会専門医

日本心血管インターベンション治療学会専門医

日本核医学学会専門医

日本高血圧学会専門医・指導医

日本超音波学会超音波専門医・指導医

日本脈管学会脈管専門医・指導医

日本動脈硬化学会動脈硬化専門医・指導医

心臓リハビリテーション指導士

日本救急医学会（ICLS）ディレクター

日本内科学会救急JMECCディレクター

AHA・BLS・ACLSディレクター

AMLSインストラクター

PUSH認定インストラクター

心電図検定第1級

広島卒後研修ネットワーク指導医

厚生労働省医政局長臨床研修指導医講習会修了

身体障害者福祉法指定医師（心臓機能障害）

日本心臓病学会心臓病上級臨床医（FJCC）

Fellow of American College of Cardiology（FACC）

Fellow of American College of Physician（FACP）

Fellow of American Heart Association（FAHA）

Fellow of American Society of Nuclear Cardiology（FASNC）

Fellow of Society for Cardiovascular Angiography and Interventions（FSCAI）

Fellow of European Society of Cardiology（FESC）

広島大学医学部臨床教授

部長

折田 裕一 1997年卒（2021年9月30日転出）

Yuichi Orita

循環器一般

医学博士

日本内科学会認定内科医

日本循環器学会専門医

日本心血管インターベンション治療学会認定医

日本内科学会救急JMECCインストラクター

日本医師会認定健康スポーツ医

部長

内村 祐子 2001年卒

Yuko Uchimura

循環器一般

医学博士

日本内科学会認定内科医

日本循環器学会専門医

日本内科学会総合内科専門医

大下 千景 2004年卒

Chikage Oshita

循環器一般、超音波検査

医学博士

日本内科学会認定内科医

日本内科学会総合内科専門医

日本循環器学会専門医

日本超音波学会超音波専門医・指導医

日本周術期経食道心エコー認定委員会認定医

心エコー図専門医

医長

赤澤 良太 2009年卒（2022年1月14日転出）

Ryota Akazawa

循環器一般

日本内科学会認定内科医

日本循環器学会専門医

日本心血管インターベンション治療学会認定医

浅大腿動脈ステントグラフト実施医

医師

三宅 広将 2017年卒（2021年9月30日転出）

Hiromasa Miyake

循環器一般

診療内容

より質の高い診断・治療をモットーに。
幅広く専門医療を提供します。

2021年度は新規開業のため辞職することを見据えて循環器専門医6名で診療を開始しましたが、2021年9月に新規開業にて一人辞職、さらに2022年1月に一人辞職され、最終的には4人（健診センター医師を含む）で循環器診療に当たることになりました。つねに「患者さんにより質の高い診断・治療を提供する」をモットーにしております。

虚血性心疾患領域では、スクリーニングとして320列心臓CT検査、負荷心筋シンチグラフィを実施します。それらの検査で疑わしい場合には入院のうえ冠動脈造影検査を行い、適応を判断したうえで経皮的冠動脈インターベンション治療を行います。急性心筋梗塞などの急性冠症候群に対しては24時間緊急カテーテル検査の体制を整えています。安静時胸痛の原因となる冠攣縮性狭心症では、診断することが重要と考え冠攣縮誘発試験を積極的に行っております。また、女性に多いとされる微小血管性狭心症に対してもこの検査で診断を行うことができます。

近年、高齢化に伴い心不全患者さんが増加しています。緊急の処置が必要な急性心不全患者にも対応しております。多種多様な心不全の原因を検索し、可能な限り原因を見つけ治療するようにしています。そのほか、高血圧（原発性アルドステロン症といった2次性高血圧を含む）、末梢動脈疾患、徐脈性不整脈、家族性高コレステロール血症、などの循環器疾患にも幅広く対応させて頂いております。

2021年度に参加したレジストリ・臨床研究・治験

学会関連

日本心血管インターベンション治療学会：
J-PCI, J-EVT/SHD

冠動脈疾患

- ・日本人糖尿病合併冠動脈疾患患者における積極的脂質低下・降圧療法と標準治療のランダム化比較試験
- ・日本人糖尿病合併冠動脈疾患患者における積極的脂質低下・降圧に関する観察研究(コホート)
- ・大動脈内視鏡により観察された大動脈壁動脈硬化と臓器障害の関連を検討するレジストリー研究 (DREAM NOGA)

冠攣縮関連

- ・ACROSS-AMI：急性心筋梗塞後の患者に対するカルシウム拮抗剤の冠攣縮予防および血管機能改善効果を評価する研究
- ・心臓カテーテル検査・治療中に生じる難治性冠攣縮に対するRhoキナーゼ阻害薬ファズジルの効能追加に係る医師主導治験

糖尿病

- ・PROTECT study：糖尿病患者におけるSGLT2阻害剤の動脈硬化に及ぼす影響の検討

- ・EX9536-4388：GLP1作動薬の用量依存的効果の検討
- ・PROCEED：腎機能障害を有する糖尿病患者に対するSGLT2阻害剤の血管内皮機能に及ぼす影響

尿酸低下薬を用いた研究

- ・PRIZE studyサブ解析：高尿酸血症患者に対する尿酸低下薬による酸化マーカーに及ぼす影響

脂質に関連する研究

- ・中性脂肪高値の冠動脈疾患に対する中性脂肪改善薬による血管内皮機能改善効果の検討 (PRIME研究)

心不全

- ・心不全の発症・重症化の高精度予測とそれに基づく最適な治療法の開発のための心不全レジストリ (JROAD HF NEXT)
- ・うっ血を有する心不全患者に対する五苓散による予後の改善効果の検討 (GOREISAN-HF)
- ・うっ血を有する心不全患者に対する早期サクビトリル・バルサルタン投与の有用性の検討 (PREMIER研究)

慢性腎臓病

- ・顕性の蛋白尿を有する患者への尿蛋白改善を目的とした治験 (FLAIR study)

その他

- ・睡眠呼吸障害が疑われる症例におけるPTT血圧でとらえられた夜間血圧・変動の特徴の検討
- ・血圧脈波検査装置TM-2772 (ヘルスクロノス)により計測される動脈の弾性特性指標の開発と、その臨床的意義の検討 - 動脈の弾性特性指標開発と臨床的意義 -
- ・SELECT試験：動脈硬化病変を有する患者のGLP-1作動薬の長期予後

診療実績

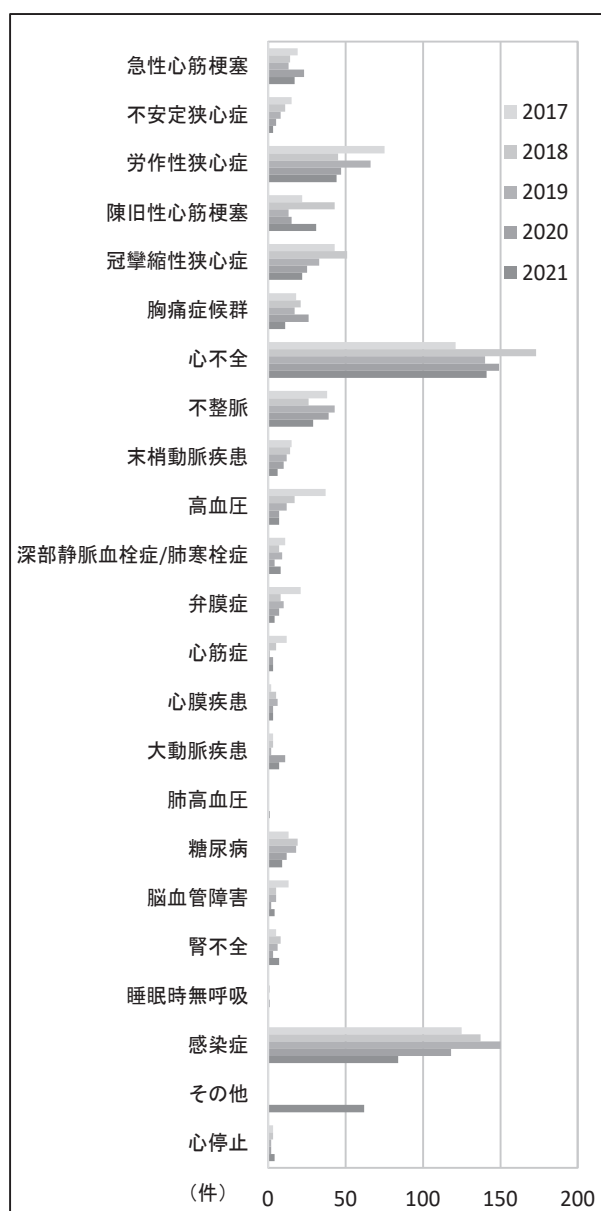
1. 診断群分類別患者数等

DPCコード	DPC名称	症例数
050130xx9902xx	心不全 手術なし 手術・処置等1 なし 手術・処置等22あり	50
050050xx9920xx	狭心症、慢性虚血性心疾患 手術なし 手術・処置等12あり 手術・処置等2なし	43
050130xx9900xx	心不全 手術なし 手術・処置等1 なし 手術・処置等2なし	41
040081xx99x0xx	誤嚥性肺炎 手術なし 手術・処置等2なし	37
050050xx9910xx	狭心症、慢性虚血性心疾患 手術なし 手術・処置等11あり 手術・処置等2なし	18

虚血性心疾患には、現病歴を詳細に聴取した上で、スクリーニング検査として運動負荷心電図、心臓CT検査（320列）、薬物負荷心筋シンチグラフィなどの検査を実施しています。その上で虚血性心疾患が疑わしい場合には、入院のうえ冠動脈造影検査を行っています。冠動脈造影検査では器質的狭窄の評価を行います。中等度狭窄の場合には圧ワイヤーを用いた冠血流予備量比（fractional flow reserve：FFR）の測定を行い、経皮的冠動脈インターベンションの適応を評価しています。また、安静時、特に夜間から早朝にかけて胸痛が生じる冠攣縮性狭心症は、男性のみならず女性にも多い疾患です。現病歴からその合併が疑わしい場合には冠攣縮誘発試験を行い確定診断をつけるように心がけています。近年、高齢化に伴い心不全の患者さんが増加しています。緊急処置が必要な急性心不全にも対応し、その上で多様な心不全の原因を検索し可能な限り原疾患を治療するようにしています。

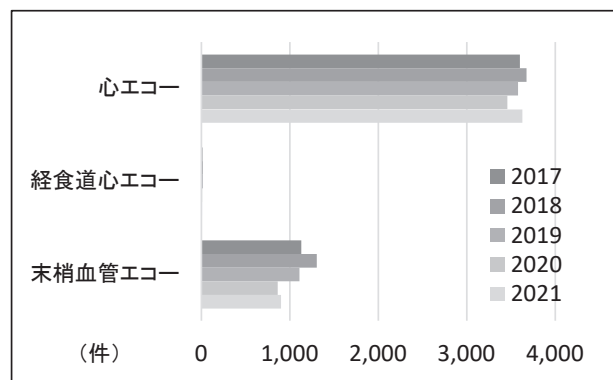
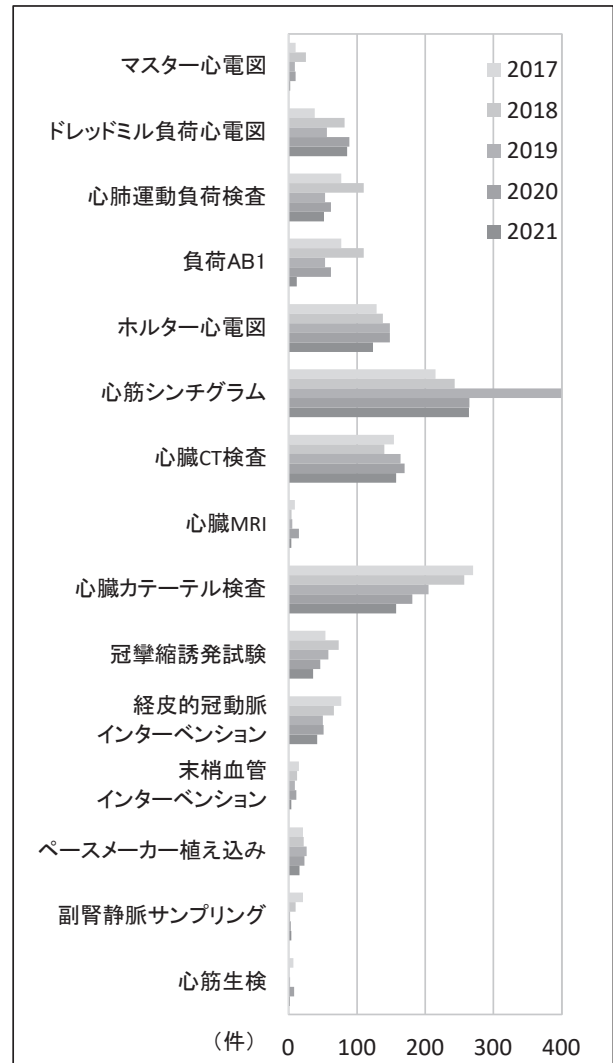
2. 疾患別入院患者数

	2017	2018	2019	2020	2021
冠動脈疾患(小計)	192	185	150	141	128
急性心筋梗塞	19	14	13	23	17
不安定狭心症	15	11	8	5	3
労作性狭心症	75	45	66	47	44
陳旧性心筋梗塞	22	43	13	15	31
冠攣縮性狭心症	43	51	33	25	22
胸痛症候群	18	21	17	26	11
心不全	121	173	140	149	141
不整脈	38	26	43	39	29
末梢動脈疾患	15	14	12	10	6
高血圧	37	17	12	7	7
静脈血栓症/ 肺塞栓症	11	7	9	4	8
弁膜症	21	8	10	7	4
心筋症	12	5	1	3	3
心膜疾患	2	5	6	3	3
大動脈疾患	3	3	2	11	7
肺高血圧	0	0	0	0	1
糖尿病	13	19	18	12	9
脳血管障害	13	5	5	2	4
腎不全	5	8	6	3	7
睡眠時無呼吸	0	1	0	1	0
感染症	125	137	150	118	84
その他					62
心停止	3	3	2	2	4
合 計	611	623	566	512	507



3. 循環器内科検査数

	2017	2018	2019	2020	2021
運動負荷心電図 (小計)	125	217	118	161	153
マスター心電図	10	25	9	10	3
ドレッドミル 負荷心電図	38	82	56	89	86
心肺運動 負荷検査	77	110	53	62	52
負荷AB1					12
ホルター心電図	129	138	148	148	124
エコー検査 (小計)	4,739	4,993	4,704	4,322	4,537
心エコー	3,600	3,676	3,582	3,458	3,628
経食道心エコー	10	14	13	5	7
末梢血管エコー	1,129	1,303	1,109	859	900
心筋シンチグラム	215	243	399	265	265
心臓CT検査	154	140	164	170	158
心臓MRI	9	4	5	15	4
心臓カテーテル検査	270	257	205	181	158
冠攣縮誘発試験	54	73	58	46	36
経皮的冠動脈イン ターベンション	77	66	50	51	42
末梢血管インター ベンション	15	12	9	11	4
ペースメーカー植 え込み	21	22	26	23	16
副腎静脈サンプリ ング	21	10	2	3	4
心筋生検	7	1	2	8	2



呼吸器内科

医師紹介

2021年度在籍医師

呼吸器内科主任部長

峠岡 康幸 1989年卒

Yasuyuki Taooka

呼吸器疾患、内科系総合診療

医学博士（広島大学）
島根大学医学部臨床教授（呼吸器・臨床腫瘍学講座）
日本内科学会認定医・総合専門医・指導医
日本呼吸器学会専門医・指導医
日本アレルギー学会専門医・指導医
日本リウマチ学会専門医・指導医
プライマリケア連合学会認定医・指導医
病院総合診療医学会認定医
がん治療認定機構認定がん治療認定医
ICD制度協議会認定ICD（感染制御認定医）
日本環境感染学会災害ICDアクティブメンバー（DICT）
日本化学療法学会抗菌化学療法認定医
肺がんCT検診認定医
日本結核・非結核性抗酸菌症学会認定医
米国胸部疾患専門医会上級会員（フェロー）
米国内科学会上級会員（フェロー）
広島県 身体障害者福祉法指定医（呼吸器機能障害）
広島県難病認定指定医
広島県緩和ケア研修会終了
日本医師会医療安全推進者養成講座受講修了
日本医学教育学会認定クリニカル・クラークシップ・ディレクター研修終了

部長

稲田 順也 1997年卒

Junya Inata

呼吸器疾患、とくに肺癌・肺腫瘍性疾患の診断と治療

医学博士（広島大学）
日本内科学会認定医・指導医
日本呼吸器学会専門医・指導医
がん治療認定機構認定がん治療認定医
広島県 身体障害者福祉法指定医（呼吸器機能障害）
広島県 緩和ケア研修会終了
広島県難病認定指定医

医師

伊藤 洋行 2019年卒（2022年3月31日転出）

Hiroyuki Ito

呼吸器疾患、内科系総合診療

診療内容

当科は呼吸器疾患と内科疾患の診療を通じて、主に広島市東部の地域医療に貢献させて頂いております。常勤医全員が内科緊急の外来診療と入院診療に対応しています。当科の入院患者の内訳は感染症が30-40%、腫瘍性疾患が15%、気管支喘息・COPD・間質性肺炎が20%前後、睡眠時無呼吸症候群（PSG検査入院）が15%、内科救急疾患が15%前後です。呼吸器疾患全般に対応し、かつ個々の疾患の発症罹患率に類似した疾患数の内訳で入院患者診療を行っている点が当科の特徴の一つであり、いかえると、特定の疾患の診療に特化するのではなくスタッフ全員が網羅的な呼吸器疾患全般の標準的診療を行うことができることが我々の強みであると考えています。また当科は日本呼吸器学会教育認定施設と日本アレルギー学会教育認定施設として、学会が推奨する治療ガイドラインに準拠した標準的な呼吸器疾患の診療を行うことを心がけています。今年度は呼吸器外科医が不在でしたので、気胸や肺癌など外科的治療が必要であると判断した場合には高次専門施設への紹介を含む支援を行いました。また肺癌については放射線治療が必要な場合には、HIPRACと連携をとって治療にあたり、化学療法については外来通院や入院で投薬を行っています。診断や治療に難渋する外来患者については週1回、医師による症例検討会を行い、最適の医療を提供できるように心がけています。入院患者については週1回、看護師、リハビリテーション科、薬剤師、医療相談員と共に症例検討・新患紹介を行うことで、退院後の生活の質の向上を考慮した医療の提供を心がけています。当科では通常の外来診療以外に専門外来として、禁煙外来、睡眠時無呼吸症候群外来、毒ガス外来（戦前・戦時中に大久野島毒ガス製造工場に従事したことで発症した慢性呼吸器疾患の外来）を実施しております。

診療実績

1. 診断群分類別患者数等

DPCコード	DPC名称	症例数
040081xx99x0xx	誤嚥性肺炎 手術なし 手術・処置等2なし	58
040110xxxxx0xx	間質性肺炎 手術・処置等2なし	20
040100xxxxx00x	喘息 手術・処置等2なし 定義副傷病なし	-
040040xx9900xx	肺の悪性腫瘍 手術なし 手術・処置等1なし 手術・処置等2なし	-
040120xx99000x	慢性閉塞性肺疾患 手術なし 手術・処置等1なし 手術・処置等2なし 定義副傷病なし	-

※患者数が10人未満の項目には、ハイフン（-）を表示しています。

慢性閉塞性肺疾患（COPD）をはじめとする慢性呼吸器不全、間質性肺炎、気管支喘息をはじめとするアレルギー疾患、肺がん、感染症、睡眠時無呼吸症候群など幅広い呼吸器疾患全般の診療を行っています。肺がんなどにおける集学的治療が必要な場合などは、大学病院をはじめとした基幹病院に紹介を含めた支援を受けています。患者数が最も多い疾患は誤嚥性肺炎で、ほとんどが緊急入院の症例です。誤嚥性肺炎は高齢者が多く、必要に応じて歯科衛生士による口腔ケアや言語聴覚士による嚥下機能訓練、リハビリテーション科による嚥下内視鏡などを行っています。

リウマチ・膠原病内科

医師紹介

2021年度在籍医師

部長

茂久田 翔 2006年卒 (2022年3月31日転出)

Sho Mokuda

日本リウマチ学会専門医・指導医・評議員
日本内科学会認定医

医師

小林 弘樹 2016年卒 (2022年3月31日転出)

Hiroki Kobayashi

日本内科学会認定医

河野 紘輝 2013年卒 (非常勤)

Hiroki Kohno

日本リウマチ学会専門医・指導医
日本内科学会認定医

診療内容

リウマチ・膠原病疾患の正確な診断と最新の知見に基づいた専門的な治療を提供します。

リウマチ・膠原病は治らない病気（難病）と言われておりましたが、現在は正確な早期診断と専門的な治療（ステロイド、抗リウマチ薬、免疫抑制薬、生物学的製剤等）により寛解（治療して症状が治まり病気が進行しない状態）を目指すことができるようになりました。

当科はリウマチケアチーム（他職種専門職チーム：内科、整形外科のリウマチ専門医、認定看護師：外来、化学療法室、関節エコー検査：登録ソノグラファー、薬剤師、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、歯科衛生士、管理栄養士、事務員）が一丸となり患者さんのトータルケアを目指し、各診療科専門医ともしっかりと協力体制で患者さんに安心した医療を提供いたします。また地域の医療機関の先生方と連携し1人1人の患者さんが毎日、体調に不安なく過ごせることを目指します。

【このような症状や異常があれば受診してください】

- ・朝のこわばり（手がにぎりにくい、起床後30分以上続く）
- ・関節の腫れや痛み（ペットボトルを開けづらい、ドアノブが回しにくい、靴ひもが結びにくい、足の付け根が痛む、草履を履いているような感覚が続いている）
- ・筋肉痛（朝起きると腕や太ももが痛くて起き上がることができない）
- ・レイノー症状（寒い時に手指が白色、紫色から赤色に変色する）
- ・眼や口の乾燥症状がひどい（ドライアイがひどくパンなど水分がないと飲み込めない）
- ・若い頃からの安静にしてもよくなる腰痛、動いているとよくなる腰痛
- ・血液検査でリウマチ因子、抗CCP抗体、抗核抗体などの異常値があり、リウマチ・膠原病疾患を心配されている方。

診療実績

診断群分類別患者数等

DPCコード	DPC名称	症例数
070560xx99x00x	重篤な臓器病変を伴う全身性自己免疫疾患 手術なし 手術・処置等2なし 定義副傷病なし	13
040081xx99x0xx	誤嚥性肺炎 手術なし 手術・処置等2なし	-
110310xx99xxxx	腎臓又は尿路の感染症 手術なし	-
100393xx99xxxx	その他の体液・電解質・酸塩基平衡障害 手術なし	-
070470xx99x0xx	関節リウマチ 手術なし 手術・処置等2なし	-

※患者数が10人未満の項目には、ハイフン（-）を表示しています。

関節リウマチや全身性エリテマトーデス、強皮症、筋炎等といった自己免疫性疾患を診療しています。多臓器の病変をきたしうるリウマチ膠原病の各種病態に対して各臓器専門医との強力なパートナーシップのもとに入院精査・加療を行っております。東区を中心とした広島市内の先生方との連携により多数の入院がありました。（リウマチ・膠原病疾患の精査・免疫抑制治療、生物学的製剤の導入、感染症、不明熱精査）常勤医師二人体制で迅速に入院加療を行える体制となっております。

外科・消化器外科・甲状腺外科

医師紹介

2021年度在籍医師

診療部長

岡本 有三 1982年卒

Yuzo Okamoto

消化器外科（肝胆道外科）、内視鏡外科

医学博士
日本外科学会専門医
日本肝胆膵外科学会評議員
医師救急医療業務実地修練過程修了
高齢者医療研修修了
臨床研修指導医

外科・消化器外科・甲状腺外科主任部長

矢野 将嗣 1989年卒

Masatsugu Yano

消化器、内分泌甲状腺、内視鏡外科

医学博士
日本外科学会専門医・指導医
日本消化器外科学会専門医・指導医
内分泌・甲状腺外科専門医・指導医
日本甲状腺学会専門医
日本消化器病学会専門医・指導医
日本透析医学会専門医・指導医
日本肝臓病学会専門医
日本臨床栄養代謝学会認定医
日本癌治療認定医機構がん治療認定医
消化器がん外科治療認定医
日本臨床栄養代謝学会TNT講師
日本臨床栄養代謝学会学術評議員
PDNセミナー講師
緩和ケア研修会修了

部長

大城 望史 1992年卒 (2022年3月31日転出)

Takafumi Ooshiro

消化器外科

医学博士
日本外科学会専門医・指導医
日本消化器外科学会専門医・指導医
日本大腸肛門病学会専門医・指導医
日本消化器病学会専門医
日本透析医学会専門医
日本がん治療認定医機構がん治療認定医
消化器がん治療認定医

志々田 将幸 1998年卒

Masayuki Shishida

消化器外科（胃外科）、内視鏡外科

医学博士
日本外科学会専門医・指導医
日本消化器外科学会専門医・指導医
消化器がん外科治療認定医
日本消化器病学会専門医・指導医
日本肝臓学会専門医
日本透析医学会専門医・指導医
日本内視鏡外科学会技術認定
日本がん治療認定医機構がん治療認定医
日本移植学会認定医
緩和ケア研修会修了

住谷 大輔 1998年卒

Daisuke Sumitani

消化器外科（大腸外科）、内視鏡外科

医学博士
日本外科学会専門医
日本消化器外科学会専門医
消化器がん外科治療認定医
日本大腸肛門病学会専門医・指導医
日本内視鏡外科学会技術認定取得医（大腸）
日本がん治療認定医機構がん治療認定医
緩和ケア研修会修了

診療内容

患者さん一人ひとりに、最適な低侵襲の治療を提供します。

当院の外科は、消化器、甲状腺、乳腺を主として、患者さん一人ひとりに最適な医療を提供できるように日々研鑽を積んでいます。また、患者さんにとって低侵襲で負担の少ない内視鏡下の手術にも積極的に取り組んでいます。

症例的にはがんの手術が多いですが、緊急手術も積極的に行っています。スムーズな急患対応に鋭意取り組んでいます。治療の方針に関しては、患者さんとご家族の皆さまに十分な説明と情報提供を行った上で話し合い、共に治療方針を構築していくことを基本としています。そして何より安心・安全な医療を提供することが一番大事なことと考えています。手術に関しましては、専門医による専門性の高い手術も行っています。技術に裏打ちされた最善の手術を行い、患者さんが元気になることをスタッフ一同の喜びとしています。

診療実績

外科・消化器外科・甲状腺外科手術件数 () 内は鏡視下手術数

手術内容/年度		2011	2012	2013	2014	2015	2016	
頸部	甲状腺切除	8	37	14	15	29	46	
	副甲状腺切除	0	0	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	4	2	4	
胸部	乳腺	腫瘍摘出術	2	3	2	10	1	1
		切除術	7	10	7	2	5	13
		その他	6	3	1	2	1	0
	肺	切除術	28(28)	24(24)	8(8)	2	8(8)	0
		縦隔	6(6)	4(4)	0	1	1(1)	0
		その他	6(5)	13(12)	22(16)	15	3	0
	食道	切除、再建術	1	0	0	1	2	0
		その他	0	2	1	0	0	1
	横隔膜	0	0	0	0	0	0	
	胸壁	2	4	3	4	0	0	
	心臓	0	0	0	0	0	0	
	その他	0	1	0	1	0	1	
	消化管	胃、十二指腸	良性、切除	1	3	0	0	2(1)
良性、その他			2	0	2	5	3	4
悪性、切除術			32	23(1)	28(1)	15	18(8)	30(22)
悪性、その他			0	1	0	0	6(1)	0
大腸、小腸		イレウス解除術	11	7	11	8	4	2
		腸切除術	42	42(10)	58(10)	44	50(18)	74(39)
		人工肛門造設術	5	5	13	11	14	12(2)
		その他	12	7	12	16	9	11
直腸、肛門		直腸切除術	19	11(3)	6(2)	13	11(6)	28(21)
		痔核、痔瘻手術	18	18	21	35	8	8
		その他	8	11	6(1)	21	6	7(4)
虫垂		切除術	44	24(2)	30(1)	22	44(17)	39(29)
その他		0	0	0	0	1	2(1)	
肝・胆・膵・脾		肝臓	切除術	7	8	3	9	6
	その他		0	1	0	1	2(2)	0
	胆道	胆嚢摘出術	39(25)	44(22)	26(17)	40	33(30)	56(48)
		胆道再建術	1	1	1	1	2	2
		その他	2	1	0	0	1	2
	膵臓	切除術	2	1	5	5	5	3
		その他	1	0	1	1	1	0
脾臓	摘出術	0	0	0	0	0	0	
腹膜・腹壁	ヘルニア	57	51	39	44	42	52(13)	
	その他	1	2	8	3	2(1)	2(1)	
血管	静脈瘤手術	7	1	4	7	1	0	
	血行再建術	2	0	0	1	0	2	
	シャント術	0	0	0	0	4	36	
	その他 (CAPD関連)	36	4	54	0	1	2	

手術内容/年度	2017	2018	2019	2020	2021
1) 消化管及び腹部内臓	350	397	344	304(178)	283(167)
食道	1	0	0	0	0
切除再建術	0	0	0	0	0
その他	1	0	0	0	0
胃・十二指腸	34	32	25	21(11)	21(11)
幽門側胃切除術、幽門保存胃切除	17	18	15	8(5)	12(5)
胃全摘術	5	6	2	3(1)	3(1)
噴門側胃切除術	2	1	1	1(1)	0
胃局所切除術	4	1	2	3(1)	2(2)
その他	6	6	5	6(3)	5(3)
小腸・結腸・直腸	185	197	187	173(93)	147(80)
結腸癌の手術(切除術)	37	34	38	49(34)	41(22)
直腸癌の手術(切除術)	23	23	21	24(23)	20(17)
虫垂切除術	41	33	29	38(34)	39(32)
痔核、痔瘻の手術	24	36	30	25	10
人工肛門増設・閉鎖術	30	37	45	23	26(9)
腸閉塞の手術	12	11	7	6	4
その他	18	23	17	8(2)	7
肝・胆・膵・脾臓	130	196	132	110(74)	115(76)
肝	8	12	5	5(1)	5(1)
肝部分切除術	7	12	4	3	5(1)
肝2区域以上の切除術	1	0	0	1	0
その他	0	0	1	1(1)	0
胆・膵臓	57	85	68	58(57)	50(40)
胆嚢摘出術	47	69	62	58(57)	49(40)
膵頭十二指腸切除術	2	5	1	0	0
その他	8	11	5	0	1
脾臓	0	1	0	0	1
脾摘出術	0	1	0	0	1
その他	0	0	0	0	0
その他	65	70	59	47(16)	59(35)
鼠径ヘルニア手術	46	51	46	36(16)	51(33)
急性汎発性腹膜炎手術	0	2	2	3	3(1)
その他	19	17	11	8	5(1)
2) 乳腺	16	15	24	27	15
3) 呼吸器	0	3	1	0	0
4) 心臓・大血管	0	0	0	0	0
5) 末梢血管(頭蓋内血管除く)	64	74	65	92	89
静脈瘤手術	1	0	0	0	0
血行再建術	0	0	12	14	16
シャント術	56	63	19	27	29
その他 (CAPD関連)	7	11	34	51	44
6) 頭頸部・体表・内分泌外科	74	77	71	52	42
甲状腺手術	30	34	26	11	11
副甲状腺手術	0	0	2	1	0
その他	44	43	43	40	31
7) 小児外科	0	0	0	0	0
8) 外傷(胸腹部損傷手術)	0	0	0	0	0
9) 移植	0	0	0	0	0
肝移植	0	0	0	0	0
腎移植	0	0	0	0	0
膵移植	0	0	0	0	0

人工透析外科

医師紹介

2021年度在籍医師

人工透析外科主任部長

越智 誠 1986年卒

Makoto Ochi

透析アクセス手術、一般外科

医学博士

日本透析医学会専門医・指導医

日本腹膜透析医学会認定医

腎代替療法専門指導士

日本外科学会認定医・専門医

日本消化器外科学会認定医

臨床研修指導医養成講習会修了

緩和ケア研修会修了

ひとこと

透析専門医の立場からCKD病診連携を行い少しでも病気の進行を抑え、透析導入患者数を減少できるように考えています。しかし、末期腎不全になられた場合には、納得した治療法を選択していただき、計画的な透析導入を心がけています。腹膜透析の普及・啓発、シャント管理に力を入れています。

診療内容

慢性腎臓病患者さんに最善の治療をご提供します。

慢性腎臓病（CKD）患者さんの腎障害の進行を抑えること、適切な時期に腎代替療法（透析、腎移植）の説明を行い、納得した治療法を選択していただくこと、計画的に透析導入を行うこと、さらに、安心・安全な透析が続けられように最善を尽くしています。

CKD外来

CKDは、病気が進行して末期腎不全となり透析が必要になるばかりか、脳卒中や心筋梗塞など心血管疾患のリスクを高め、生命の危険やQOLの低下につながります。CKD患者さんを早期に発見し治療を開始することが大切です。当科ではeGFR30mL/分/1.73m²未満、あるいは、血清クレアチニン値2.0mg/dL以上をご紹介の目安として、CKD連携を行っています。当院へは2～6か月に1回受診していただき、生活指導や栄養指導、貧血治療やリン吸着薬など薬剤の調整を行わせていただきます。また、経過をみながら患者さんとご家族に腎代替療法を説明して意思確認を行ってまいります。無症状のうちに進行してしまうCKD患者さんのお役に立てるよう頑張りたいと思います。

CKD外来への受診の目安

eGFR 30mL/分/1.73m²未満

あるいは血清クレアチニン値2.0mg/dL以上

腹膜透析（PD）

PDは、ゆるやかな治療で急激な体調の変化がないので、心血管疾患のある患者さんや自立した高齢の患者さんにも適した治療法です。また、患者さんの生活リズムで行える在宅治療ですので、メリットを生かせる患者さんには、PDファーストでの透析導入を積極的に勧めています。また、透析導入後も、かかりつけの先生方とPD病診連携を行っています。地域包括ケアシステムの構築や、医療と介護の連携強化が叫ばれていますが、高齢化が進む患者さんを多職種で協力してサポートするPDは、腎不全医療に必要な不可欠です。

PDを行うためには、PDカテーテル留置術が必要です。段階的腹膜透析導入法（SMAP法）

で計画的に透析を開始できるように心がけています。これは、数か月以内に透析導入を行う必要があると判断した段階で、PDカテーテルを腹腔内に留置し、外へ出さないで皮下に埋め込んでおきます。いざ透析が必要となった時に、出口を作製し透析を開始します。この方法ですと、入院期間の短縮やカテーテルトラブルを減少させることができます。また、精神的にゆとりをもってPDに臨むことができます。

カテーテル出口部の位置は、カテーテルケアが容易に行えること、出口部・皮下トンネル感染のリスクを減少させる観点からも重要です。患者さんの体形にあわせて、下腹部出口やセミロングカテーテルを用いた上腹部出口を選択しています。

出口部感染を予防し早期に治療するように努めていますが、皮下トンネル感染に進展した場合には外科的対応が必要です。トンネル感染になると抗生物質の投与のみでは改善は期待できず、出口変更術を行います。しかし、感染が腹膜近くまで波及していればカテーテルを抜去し、新たなカテーテルを反対側から入れ替えることとなります。

カテーテルトラブルとして位置異常や閉塞による透析液の注排液不良がありますが、腹腔鏡下に位置修復術や閉塞解除を行っています。

血液透析 (HD)

HDを行うためには、バスキュラーアクセス(シャント)の作製が必要です。自己血管による動脈-静脈吻合が基本ですが、シャント作製に適した静脈がない場合も多く、人工血管(グラフト)によるシャント作製を行う症例も増えていきます。また、シャント作製が困難であったり、ADLが著しく低下していたり、心機能不良な患者さんでは、長期間使用可能なカテーテルを留置したり、動脈の表在化を行っています。

シャントトラブルとして頻度の多い狭窄と血栓性閉塞の治療は、まず、経皮的血管形成術(シャントPTA)を行います。シャント感染(特に、グラフト感染)や破裂の危険性のあるシャント瘤には再建術が必要です。

シャントの自己管理は大切で、毎日、見て・聞いて・触って、異常を早期に発見できるように指導しています。一度作ったシャントが長く使えるように維持管理を行っています。

PD+HD併用療法 (ハイブリッド療法)

PDとHD、それぞれの治療法の長所を生かし短所を補う目的で、またPDからHDへの移行期

に行っています。β2-ミクログロブリンなどの溶質除去不良や体液過剰の場合などに、週1回HDを行い週6日間はPDを継続しています。

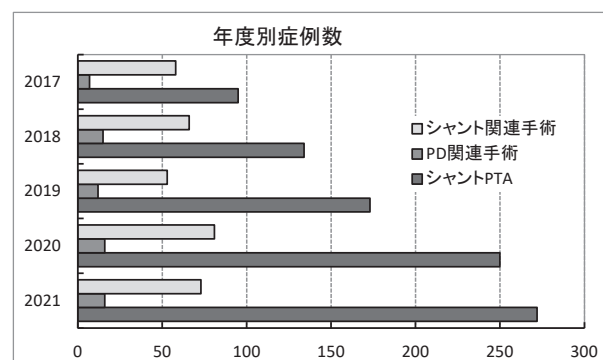
腎移植

末期腎不全に対する唯一根本的な治療法です。腎移植を希望される患者さんで腎提供者(ドナー)がいらっしゃれば生体腎移植を、ドナー候補がいなければ献腎移植の登録をお勧めします。残念ながら、当院では腎移植は行っておりません。腎移植を希望される患者さんは、広島大学病院や県立広島病院と連携していますので紹介させていただきます。

人工透析外科では、CKD患者さんの保存期から腎代替療法の開始・維持期に渡って治療が行えるような体制を整えていますので、今後ともよろしくお願いいたします。

診療実績

	透析アクセス手術			シャントPTA
	シャント関連	PD関連	合計	
2017	58	7	65	95
2018	66	15	81	134
2019	53	12	65	173
2020	81	16	97	250
2021	73	16	89	272



人工透析センター

医師紹介

2021年度在籍医師

人工透析センター長

越智 誠 1986年卒

Makoto Ochi

透析アクセス手術、一般外科

医学博士
日本透析医学会専門医・指導医
日本腹膜透析医学会認定医
腎代替療法専門指導士
日本外科学会認定医・専門医
日本消化器外科学会認定医
臨床研修指導医養成講習会修了
緩和ケア研修会修了

外科・消化器外科・甲状腺外科主任部長

矢野 将嗣 1989年卒

Masatsugu Yano

消化器、内分泌甲状腺、内視鏡外科

医学博士
日本外科学会専門医・指導医
日本消化器外科学会専門医・指導医
内分泌・甲状腺外科専門医・指導医
日本甲状腺学会専門医
日本消化器病学会専門医・指導医
日本透析医学会専門医・指導医
日本肝臓病学会専門医
日本臨床栄養代謝学会認定医
日本癌治療認定医機構がん治療認定医
消化器がん外科治療認定医
日本臨床栄養代謝学会TNT講師
日本臨床栄養代謝学会学術評議員
PDNセミナー講師
緩和ケア研修会修了

外科・消化器外科・甲状腺外科部長

大城 望史 1992年卒 (2022年3月31日転出)

Takafumi Ooshiro

消化器外科

医学博士
日本外科学会専門医・指導医
日本消化器外科学会専門医・指導医
日本大腸肛門病学会専門医・指導医
日本消化器病学会専門医
日本透析医学会専門医
日本がん治療認定医機構がん治療認定医
消化器がん治療認定医

志々田 将幸 1998年卒

Masayuki Shishida

消化器外科 (胃外科)、内視鏡外科

医学博士
日本外科学会専門医・指導医
日本消化器外科学会専門医・指導医
消化器がん外科治療認定医
日本消化器病学会専門医・指導医
日本肝臓学会専門医
日本透析医学会専門医・指導医
日本内視鏡外科学会技術認定
日本がん治療認定医機構がん治療認定医
日本移植学会認定医
緩和ケア研修会修了

診療内容

通院透析患者さんから入院透析まで、安心して任せいただける体制と環境です。

人工透析センターは透析監視装置30台、全台で大量置換血液透析濾過 (on-line HDF) が可能です。機械室のクリーン化を図り、清浄化された透析液が供給できるように管理しています。人工透析センターでは、通院維持透析患者さんと、さまざまな合併症管理のために入院され、比較的状态が安定している透析患者さんの治療を行っています。また、潰瘍性大腸炎、クローン病や関節リウマチに対して血球成分除去療法や、難治性腹水に対しての腹水濾過濃縮再静注法なども行っています。夜間の緊急透析や、循環動態の不安定な患者さんの持続血液透析濾過 (CHDF) は、入院病棟で行っています。

JR広島駅をはじめ交通アクセスの容易な当院のメリットを活かして、通院透析患者さん以外にも、広島を観光に訪れた透析患者さんの旅行透析も積極的に受け入れています。

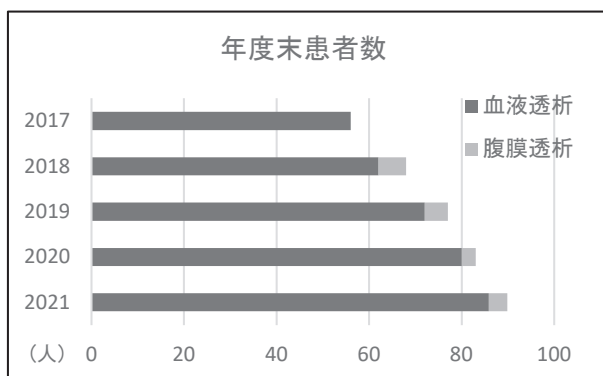
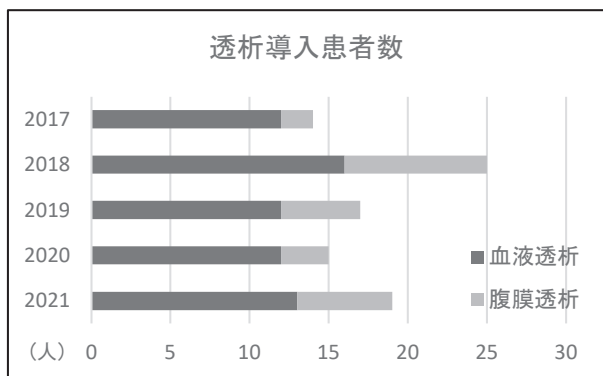
人工透析センターでは、人工透析外科と外科



の医師が主に治療にあたります。さらに、看護師、臨床工学技士、薬剤師、栄養士、リハビリ科や医療ソーシャルワーカーを含めたチーム医療で、透析患者さんの希望に添える医療が提供できるように努力しています。透析患者さんが安心して透析を任せられるセンターにしていきたいので、今後ともよろしく願いいたします。

診療実績

	透析導入患者数			年度末患者数		
	血液透析	腹膜透析	合計	血液透析	腹膜透析	合計
2017	12	2	14	56	0	56
2018	16	9	25	62	6	68
2019	12	5	17	72	5	77
2020	12	3	15	80	3	83
2021	13	6	19	86	4	90



整形外科

医師紹介

2021年度在籍医師

整形外科主任部長

田中 信弘 1990年卒

Nobuhiro Tanaka

脊椎、脊髄外科

医学博士
脊椎脊髄外科専門医
日本脊椎脊髄病学会認定脊椎脊髄外科指導医
日本整形外科学会認定整形外科専門医
日本整形外科学会脊椎脊髄病認定医
広島卒後臨床研修ネットワーク指導医
緩和ケア研修会修了
Fellow of International Orthopaedic Research (FIOR)

リハビリテーション科主任部長

中村 精吾 1984年卒

Seigo Nakamura

股関節外科、リウマチ

医学博士
日本整形外科学会認定整形外科専門医
日本リウマチ学会専門医
日本リハビリテーション学会専門医
日本整形外科学会スポーツ医

部長

小林 孝明 1992年卒

Takaaki Kobayashi

膝関節、足の外科

医学博士
整形外科専門医
日本体育協会公認スポーツドクター
日本医師会認定健康スポーツ医
日本整形外科学会認定スポーツ医
運動器リハビリテーション医
日本骨粗鬆症学会認定医
日本旅行医学会認定医
日本職業・災害医学会労災補償指導医
日本リハビリテーション医学会認定医

須賀 紀文 2005年卒

Norifumi Suga

膝関節外科、整形外科一般

日本整形外科学会認定整形外科専門医

医長

田島 稔章 2014年卒

Toshiaki Tashima

整形外科一般

日本整形外科学会認定整形外科専門医

医師

松本 明子 2019年卒

Akiko Matsumoto

整形外科一般

診療内容

脊椎・脊髄および四肢・関節の治療を行っています。

整形外科は、四肢（上肢・下肢）および脊椎の病気を診断し治療する診療科です。上肢は、肩から指先、下肢は、骨盤からつま先までの広い範囲の病気を扱います。脊椎は、くび・背中・腰の痛みだけではなく、脊髄・神経が圧迫されて生じる上肢・下肢のしびれや痛み、手足の運動障害（手が動かしくくボタンがかけにくい・箸が使えない・歩きにくい・転びやすい）の治療を行います。

当院では整形外科医6名が、脊椎・脊髄外科、関節外科および四肢の骨折・外傷の治療に力を入れています。脊椎疾患による神経痛は、初期には神経根ブロックなど保存治療を行いますが、保存治療の効果の少ない頑固な症状が続くときは、顕微鏡を使った手術をお勧めしています。顕微鏡を使用すると、立体的な視野の下で安全に手術が行え、身体に負担が少ないため翌日から離床が可能です。

変形性股関節症、変形性膝関節症は高齢者に多くみられる疾患ですが、保存治療の効果のない高度な関節症の方には人工関節置換術を行っています。

診療実績

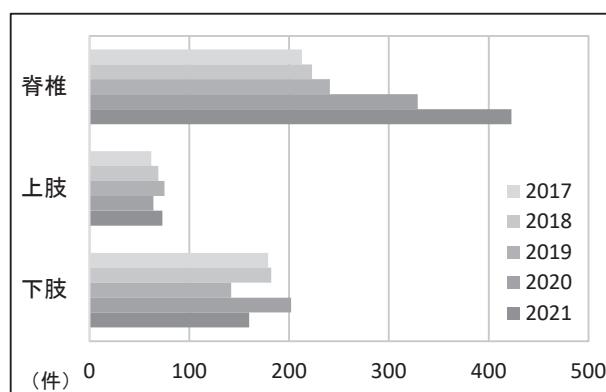
1. 診断群分類別患者数等

DPCコード	DPC名称	患者数
070343xx97x0xx	脊柱管狭窄（脊椎症を含む。）腰部骨盤、不安定椎 その他の手術あり 手術・ 処置等2なし	220
070341xx020xxx	脊柱管狭窄（脊椎症を含む。）頸部 脊椎固定術、 椎弓切除術、椎弓形成術 （多椎間又は多椎弓の場合 を含む。）前方椎体固定等 手術・処置等1なし	70
160800xx01xxxx	股関節・大腿近位の骨折 人工骨頭挿入術 肩、股 等	51
070350xx02xxxx	椎間板変性、ヘルニア 椎 間板摘出術 後方摘出術	32
07040xxx01xxxx	股関節骨頭壊死、股関節 症（変形性を含む。）人工 関節再置換術等	21

脊椎脊髄疾患（頸椎症性脊椎症、頸椎症性神経根症、腰部脊柱管狭窄症、腰椎椎間板ヘルニアなど）、変形性関節症および四肢外傷（骨折、靭帯断裂など）に対して治療を行っています。腰椎椎間板ヘルニア・脊柱管狭窄症の初期では神経根ブロックなどの保存的治療が有効なこともあります。日常生活に困る痛みやしびれ、或いは、筋力の低下が生じたときには手術をお勧めしています。脊椎手術は、顕微鏡を使用した手術を行っています。顕微鏡手術の利点は、明るく立体的な視野のもとで行うため安全に手術が行えます。体に負担が少ない低侵襲手術ですので翌日から離床が可能です。股関節や膝関節の変形性関節症は高齢者に多くみられる疾患です。保存療法の効果のない進行期から末期の関節症の方には人工関節置換術を行い、生活の質を高めることを目標としています。高齢化に伴い、骨粗鬆症を基盤とした骨粗鬆症性椎体骨折（いわゆる椎体圧迫骨折）や大腿骨近位部骨折が増加しています。特に骨粗鬆症性椎体骨折では、早期発見・早期保存療法を行えば、手術治療を行わずに治癒させることが可能です。

2. 整形外科手術件数

	2017	2018	2019	2020	2021
脊 椎	213	223	241	329	423
上 肢	62	69	75	64	73
下 肢	179	182	142	202	160



リハビリテーション科

医師紹介

2021年度在籍医師

リハビリテーション科主任部長

中村 精吾 1984年卒

Seigo Nakamura

股関節外科、リウマチ

医学博士

日本整形外科学会認定整形外科専門医

日本リウマチ学会専門医

日本リハビリテーション学会専門医

日本整形外科学会スポーツ医

技士長よりごあいさつ

長岡 由樹

Yoshiki Nagaoka

病院の2階南側に位置するリハビリテーション科は、窓が大きくて日当たりがよく、部屋の中がとても明るくなっています。明るい部屋で、明るく元気なリハビリ科スタッフが皆さんに元気をお分けできるよう日々努力してまいります。

診療内容

嚥下内視鏡検査と攣縮のボトックス治療に注力しています。

入院患者さんのリハビリテーションを中心に提供していますが、連携先の先生からのご紹介についてはお引き受けしております。四肢の運動機能の回復・維持に役立つ機器類をはじめ、作業訓練によって身体機能の回復を促す作業療法のための用具、あるいは言語に障害の残る方のリハビリに用いるカードや検査機器など、幅広いリハビリのための環境が整っています。

現在注力しているのは、嚥下障害のある患者さんに対しての嚥下内視鏡検査と嚥下造影検査が1つ。そして、攣縮のある患者さんに対する、ボツリヌス菌によるボトックス治療にも力を入れています。

資格取得

心臓リハビリテーション指導士

3学会合同呼吸器療法認定士

認定理学療法士（循環）

認定理学療法士（運動器）

認定理学療法士（呼吸）

呼吸ケア指導士

日本リウマチ財団登録作業療法士

設備紹介



陽の光が入り明るく広々とした環境でリハビリを行います。



負担の大きい浴槽の出入りを実践的に練習することができます。



スムーズに日常生活を送れるよう、サポートしていきます。

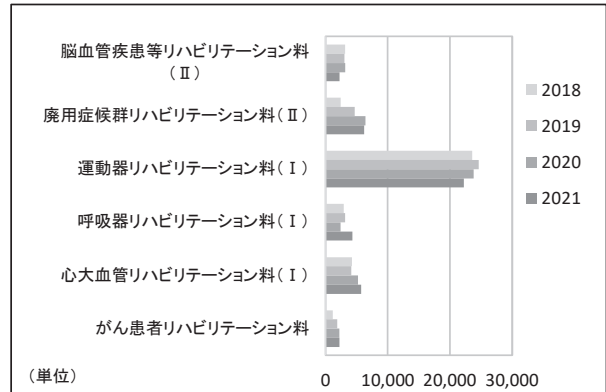


心肺機能の改善を目的としたリハビリを行う部屋です。

診療実績

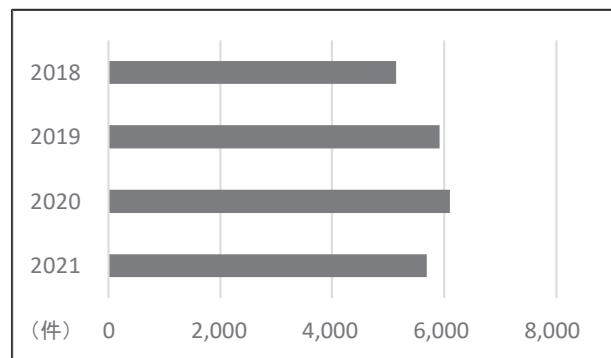
1. リハビリテーション単位数

	2018	2019	2020	2021
脳血管疾患等リハビリテーション料(Ⅱ)	3,146	3,034	3,153	2,237
廃用症候群リハビリテーション料(Ⅱ)	2,447	4,712	6,408	6,186
運動器リハビリテーション料(Ⅰ)	23,579	24,628	23,792	22,177
呼吸器リハビリテーション料(Ⅰ)	2,936	3,154	2,404	4,301
心大血管リハビリテーション料(Ⅰ)	4,246	4,160	5,208	5,706
がん患者リハビリテーション料	1,163	1,887	2,213	2,223



2. 摂食機能療法件数

	2018	2020	2021
摂食機能療法	5,147	6,098	5,672



小児科

医師紹介

2021年度在籍医師

小児科主任部長

下 菌 彩 子 1997年卒

Saiko Shimozono

小児科一般

日本小児科学会専門医・指導医

部長

安 村 純 子 2001年卒

Junko Yasumura

小児膠原病、小児科一般

日本小児科学会専門医・指導医

日本リウマチ学会専門医・指導医

診療内容

当院小児科は、小児科専門医2名で担当しています。新生児から中学卒業までの児の、小児内科一般を幅広く診療しています。近隣開業医の先生方と連携し、地域の中核病院として、子どもたちの健康に貢献していきたいと思っています。

入院：

年間約200人の入院があります。主に上・下気道感染症や胃腸炎関連などの感染症、アレルギー疾患、川崎病、IgA血管炎などの急性期疾患を診療しています。大半が東区や安芸区、安芸郡など近隣の開業小児科からの紹介入院です。家族に寄り添った、きめこまかいサポートを心がけています。

外来：

主に感染症などの急性期疾患を中心に診療していますが、アレルギー疾患、てんかん、便秘、夜尿症など小児の様々な疾患に対応しています。健診や予防接種は、感染症と接触しないように時間帯を分けて対応しています。また、一般外来以外に心臓外来、膠原病外来の専門外来を行っています。心臓外来（担当：下菌）では、心雑音や不整脈の精査、学校心臓病検診の二次

検診（中学生まで）を、心臓図、心エコー、ホルター心電図、トレッドミルなどを組み合わせて診断しています。膠原病外来（担当：安村）では、広島県で唯一の小児リウマチ専門医・指導医として小児リウマチ性疾患のみならず、自己炎症性疾患、線維筋痛症にも対応しています。

診療実績

診断群分類別患者数等

DPCコード	DPC名称	症例数
040100xxxxx00x	喘息 手術・処置等2なし 定義副傷病なし	29
040090xxxxxx0x	急性気管支炎、急性細気 管支炎、下気道感染症（そ の他）定義副傷病なし	15
030270xxxxxxxx	上気道炎	11
110310xx99xxxx	腎臓又は尿路の感染症 手 術なし	11
150070x0xx01xx	川崎病（2歳以上）手術・ 処置等1なし 手術・処置 等2あり	-

※患者数が10人未満の項目には、ハイフン（-）を表示しています。

新生児から中学卒業までの小児内科一般を幅広く診療しています。上・下気道感染症や胃腸炎関連などの感染症が主ですが、川崎病やIgA血管炎、アレルギーなど急性期疾患を中心に、年間約200人の入院加療をしています。

皮膚科

医師紹介

2021年度在籍医師

皮膚科主任部長

堀内 賢二 1983年卒 (2022年3月31日転出)
Kenji Horiuchi

皮膚科一般、皮膚病の病理診断、
アレルギー性皮膚疾患

日本皮膚科学会専門医
日本皮膚科学会指導医
広島大学医学部臨床教授

医師

住元 遥香 2018年卒
Haruka Sumimoto

皮膚科一般

診療内容

早期治癒に向けた適切な治療を、
確実に進めていきます。

皮膚疾患全般を対象としており、広島市東区
唯一の病院皮膚科として、広島大学病院など他の
病院・診療所との連携も密に行っています。

皮膚疾患に対しては、「当たり前の診断、当たり
前前の治療を確実に行う」ことを心がけており
ます。詳細な問診や血液検査などを参考にしつ
つ、患者さんの生活習慣や環境を考え、細かく
生活指導を行うようにしています。点滴治療を
必要とする急性感染症は、入院を原則としてす
みややかな改善に努めております。いぼには冷凍
凝固法を行うなど、早期治癒に向けた適切な治
療を確実に進めていきます。

また、女性患者さんにやさしい診療を心掛けて
おり、女性患者さんの顔や外陰部等にある皮
膚病の相談は、原則として女性医師が対応して
います。

診療実績

1. 診断群分類別患者数等

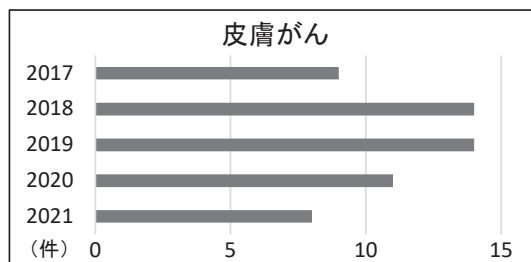
DPCコード	DPC名称	症例数
080010xxxx0xxx	膿皮症 手術・処置等1なし	15
080020xxxxxxxx	帯状疱疹	-
080100xxxx0xxx	薬疹、中毒疹 手術・処置等 1なし	-
080030xxxxxxxx	疱疹（帯状疱疹を除く。）、 その類症	-
080110xxxx0xx	水疱症 手術・処置等2なし	-

※患者数が10人未満の項目には、ハイフン（-）を表示
しています。

皮膚科疾患全般を対象としています。点滴治
療を必要とする急性感染症（帯状疱疹、急性膿
皮症）は、入院治療を行い早期軽快に努めてい
ます。急性膿皮症のほとんどは下肢の蜂窩織炎
であり、糖尿病等基礎疾患を合併している患者
さんが多いです。大きな粉瘤、脂肪腫等は一泊
二日入院（局所麻酔手術）を行っています。

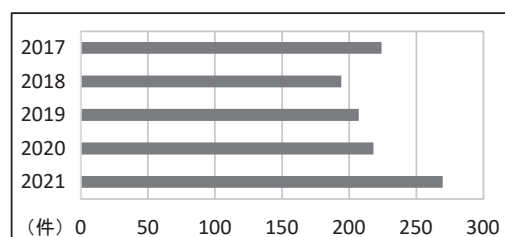
2. 皮膚手術件数

	2017	2018	2019	2020	2021
皮膚がん	9	14	14	11	8
その他	98	92	98	106	180
合計	107	106	112	117	188



3. 皮膚科病理組織検査件数

件数	2017	2018	2019	2020	2021
	224	194	207	218	270



産婦人科

医師紹介

2021年度在籍医師

産婦人科主任部長

木谷 由希絵 2005年卒

Yukie Kidani

産婦人科一般

医学博士

日本産科婦人科学会専門医

女性ヘルスケア専門医

医長

山縣 麻衣 2007年卒

Mai Yamagata

産婦人科一般

日本産科婦人科学会専門医

診療内容

産婦人科領域は大きく周産期（産科）・生殖内分泌・婦人科腫瘍・女性ヘルスケア領域に分けられ、各分野についてはそれぞれ以下に示すような対応を行っております。

周産期

当科では2018年7月より分娩の取り扱いを休止しておりますが、妊婦健診は引き続き行っています。里帰り分娩を予定されている方、他院での分娩を予約されている方で、当院で健診を希望される方の妊婦健診は妊娠初期から妊娠34週頃まで対応しております。

生殖内分泌

挙児希望の方に対しては基礎体温表を用いたタイミング指導や内服を用いた排卵誘発などを行っており、人工受精・体外受精などさらに高度な治療が必要とされる場合には専門施設を紹介させて頂いています。ご夫婦でのご相談の場合は当院の泌尿器科と連携して精液検査等にも対応しております。

また妊娠希望の方やご結婚を予定されている方の相談、子宮癌検診、超音波検査、ブライダルチェック（血液検査など）も行っています。

婦人科腫瘍

婦人科領域では子宮頸がん、子宮体がん、卵巣がんなどの早期発見のための検診を積極的に行っています。手術については悪性腫瘍手術や腹腔鏡手術等是对応が困難な場合がありますが、その際には高次施設と連携して対応いたします。また、当院は院内の化学療法室や広島がん高精度放射線治療センターとの密な連携により、入院・外来化学療法や放射線治療についての受け入れ体制が整っていますので、術後や再発時の化学療法、放射線療法などを当院で希望される方についても適宜対応させて頂きます。

女性ヘルスケア

また、思春期から更年期以降までの月経トラブルへの対応や健康管理など、女性医療・医学にも力を入れて診療をしています。若年の月経異常やPMS（月経前緊張症候群）、早発・遅発思春期などは産婦人科に受診することに抵抗があるため、受診が遅れる場合もありますが、

2021年度から女性医師2名による診療を行っており、外来も女性スタッフのみですので、比較的受診しやすい体制が整っています。若年の方に対しては経腹超音波やCT・MRIを用いた診断や漢方薬などホルモン剤以外による治療も行っております。また、更年期や更年期以降の体調不良や婦人科トラブルに対してもホルモン治療を始め、薬物療法や生活指導など幅広い治療を行っております。

産婦人科はその特性上、安易に受診しにくいところではありますが、当院では2021年度以降女性医師のみで対応可能であるため比較的抵抗感が少なく受診して頂けるのではないかと考えております。同じ女性の立場から、女性に対して細やかな対応を心がけており、女性に対して優しい医療を目指して参りたいと考えておりますので今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。

診療実績

1. 診断群分類別患者数等

DPCコード	DPC名称	症例数
12002xxx02x0xx	子宮頸・体部の悪性腫瘍 子宮頸部（腔部）切除術 等手術・処置等2なし	10
120220xx01xxxx	女性性器のポリープ 子宮 全摘術等	10
060250xx97xxxx	尖圭コンジローム 手術あり	-
120060xx01xxxx	子宮の良性腫瘍 子宮全摘 術等	-
120060xx99xxxx	子宮の良性腫瘍 手術なし	-

※患者数が10人未満の項目には、ハイフン（-）を表示しています。

良性疾患から悪性疾患まで幅広く対応しています。また子宮頸がん、子宮体がんや卵巣がんなどの悪性疾患に関しては早期発見のため検診を積極的に行っています。

泌尿器科

医師紹介

2021年度在籍医師

泌尿器科主任部長

橋本 邦宏 1990年卒

Kunihiro Hashimoto

泌尿器一般、尿路性器悪性腫瘍、腹腔鏡手術

医学博士

日本泌尿器学会専門医・指導医

広島大学医学部臨床教授

日本内視鏡外科学会技術認定医（腹腔鏡技術認定医）

日本泌尿器内視鏡学会腹腔鏡技術認定医

部長

井上 勝己 1989年卒

Katsumi Inoue

泌尿器一般、排尿機能障害

医学博士

日本泌尿器学会専門医・指導医

日本泌尿機能学会認定医

日本泌尿器内視鏡学会腹腔鏡技術認定医

医師

岡崎 真衣 2016年卒

Mai Okazaki

泌尿器一般

鵜飼 麟三 1970年卒

Rinzo Ukai

泌尿器一般、尿路性器悪性腫瘍

医学博士

日本泌尿器学会専門医・指導医

診療内容

泌尿器全般の疾患に、積極的かつ適切な治療を行っています。

尿路性器悪性腫瘍から前立腺肥大症、尿路結石、尿路感染症、神経因性膀胱、尿失禁まで泌尿器科全般の疾患に対応しています。

尿路結石治療では腎サング状結石であっても細径腎盂鏡および吸引式腎用アクセスシース：クリアペトラを使用しレーザーにて完全破碎除去しております。

多発性骨転移を伴う去勢抵抗性前立腺癌に関してはRa223（ラジウム 223）を使用し良好な経過を得ています。

膀胱腫瘍では経尿道的膀胱腫瘍一塊切除（TURBO）を実施しています。経尿道的に一塊切除して、正確な病理診断をもとに適切な治療を行うものです。

前立腺生検では経会陰式で行っており、一般的に行われている経直腸的な生検にくらべ、急性前立腺炎や直腸出血などの合併症はなく安全かつ正確な組織採取と診断が可能です。

難治性の過活動膀胱においてはボトックス膀胱内注入治療を開始しています。

尿路性器悪性腫瘍などの専門的な疾患にも積極的に治療を行っておりますので、早期発見のためにも、ぜひご相談ください。

診療実績

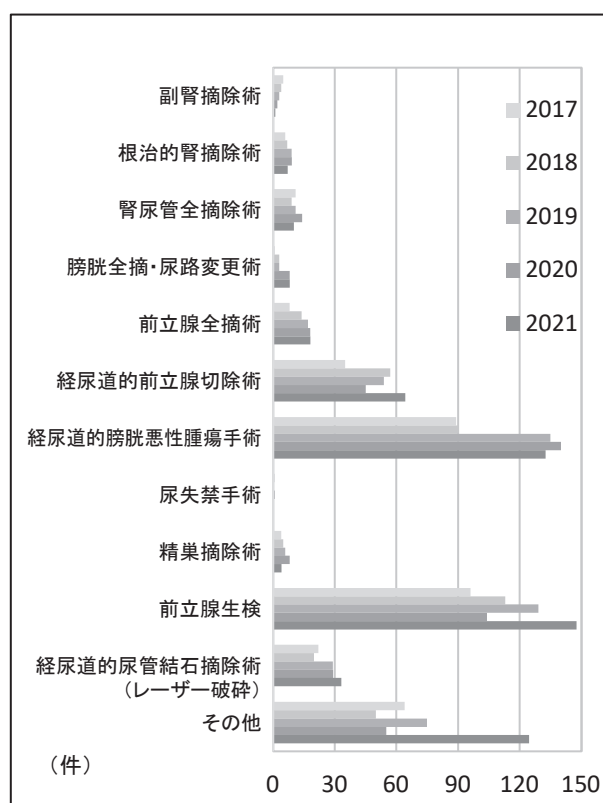
1. 診断群分類別患者数等

DPCコード	DPC名称	症例数
110070xx03x0xx	膀胱腫瘍 膀胱悪性腫瘍手術 経尿道的手術 手術・処置等2なし	124
110200xx02xxxx	前立腺肥大症等 経尿道的前立腺手術等	45
110310xx99xxxx	腎臓又は尿路の感染症 手術なし	31
110080xx991xxx	前立腺の悪性腫瘍 手術なし 手術・処置等1あり	25
110080xx01xxxx	前立腺の悪性腫瘍 前立腺悪性腫瘍手術等	21

泌尿器科手術では7～8割を内視鏡手術が占めます。膀胱悪性腫瘍は経尿道的一塊切除により適切な病理診断のみならず穿孔や出血の合併症が少なく効率的で安全な治療法といえます。前立腺肥大症の手術は薬物療法無効例や尿閉例に対して施行しています。腎臓癌、腎盂尿管癌に対する手術は9割が腹腔鏡下の手術であり少量の出血量で術後創部痛の軽減により早期に退院が可能です。

2. 泌尿器手術件数 ()は鏡視下手術数

	2017	2018	2019	2020	2021
副腎摘除術	5(5)	4(4)	3(3)	2(2)	1(1)
根治的腎摘除術	6(6)	7(6)	9(9)	9(8)	7(7)
腎尿管全摘除術	11(10)	9(9)	11(8)	14(12)	10(10)
膀胱全摘・尿路変更術	1	3	3	8	8
前立腺全摘術	8	14	17	18	18
経尿道的前立腺切除術	35	57	54	45	64
経尿道的膀胱悪性腫瘍手術	89	90	135	140	132
尿失禁手術	1	0	1	0	0
精巣摘除術	4	5	6	8	4
前立腺生検	96	113	129	104	147
経尿道的尿管結石摘除術(レーザー破碎)	22	20	23	29	33
その他	64	50	75	55	124
合計	342	372	467	433	548



眼科

医師紹介

2021年度在籍医師

眼科主任部長

田中 文香 1998年卒

Ayaka Tanaka

緑内障・眼科一般

日本眼科学会眼科専門医
広島大学医学部臨床教授
身体障害者福祉法指定医師
ポトックス講習・セミナー修了医師

部長

大田 遥 2008年卒

Haruka Ota

眼科一般

日本眼科学会眼科専門医

医長

湯浅 知世 2011年卒 (2022年3月31日転出)

Tomoyo Yuasa

眼科一般

診療内容

私たちは、病院眼科として必要とされる医療の提供を目指します。

当科では、多くの疾患に対応しています。糖尿病網膜症、網膜裂孔、後発白内障などのレーザー手術、加齢黄斑変性や黄斑浮腫、血管新生緑内障に対する硝子体内注射、眼瞼痙攣や顔面痙攣に対するボトックス注射、ドライアイに対する涙点プラグなども行っています。

なかでも、白内障手術と緑内障手術に注力しております。手術件数は、年間700件を超えています。白内障手術は、外来手術、入院手術の両方で対応しています。ご高齢の患者様でも、仰臥位安静が保たれば局所麻酔での白内障手術が可能です。必要な場合は、全身麻酔での手術も行っています。見える喜びは、生きる喜びにつながりますので、積極的かつ安全に手術ができるように取り組んでいます。

緑内障は、有病率が高く、日本の中途失明原因の1位です。40歳以上では20人に1人、70歳以上では10に1人が緑内障と言われています。視野進行を抑制し、生涯治療を継続することが大切です。そのためには、正しい病型診断、適切な点眼加療、適切な時期の手術加療が大変重要です。当院では、低侵襲緑内障手術に分類される、 μ フックロトミーや、白内障手術と同時に進行する水晶体再建術併用眼内ドレーン手術から、難治性緑内障の治療に有用なBaerveldt®、Ahmed™ 緑内障治療用インプラント挿入術まで、幅広く対応しています。2021年秋からSLT (Selective laser trabeculoplasty: 選択的線維柱帯形成術) といわれる眼圧を下げるレーザーを導入しました。生涯にわたる緑内障加療の手段のひとつとしております。

2021年もコロナ禍の1年となりましたが、手術件数は、過去最多となりました。安全に眼科診療を行うことができ感謝申し上げます。

当科は、患者さんの主訴をくみ取り、適切な治療へとつなげることができるように、日々努力してまいります。今後ともご指導のほどよろしくお願い申し上げます。

診療実績

1. 診断群分類別患者数等

DPCコード	DPC名称	症例数
020110xx97xxx0	白内障、水晶体の疾患 手術あり 片眼	110
020220xx97xxx0	緑内障 その他の手術あり 片眼	36
020220xx01xxx0	緑内障 緑内障手術 濾過手術 片眼	16
020110xx97xxx1	白内障、水晶体の疾患 手術あり 両眼	-
020110xx99xxxx	白内障、水晶体の疾患 手術なし	-

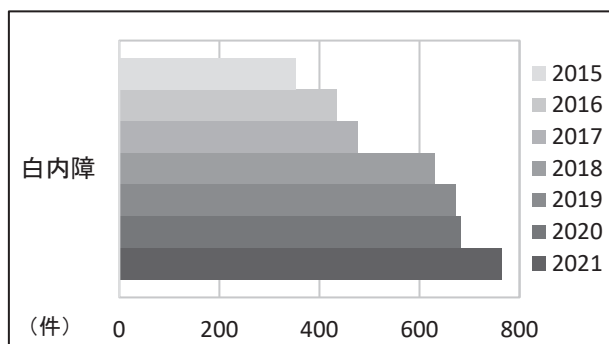
※患者数が10人未満の項目には、ハイフン (-) を表示しています。

眼科疾患に対して幅広く診療しています。白内障、緑内障、糖尿病網膜症などの患者数が多い

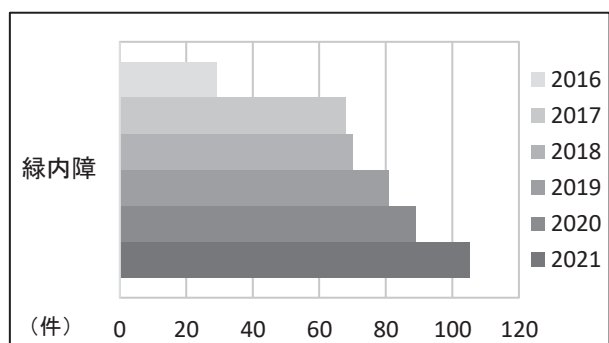
くなっています。緑内障は、40歳以上の有病率は5%で、中途失明原因の1位です。緑内障による視機能低下を防ぐために診断から手術加療まで対応しています。

2. 眼科手術件数

	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021
白内障	352	434	477	631	673	683	764



	2016	2017	2018	2019	2020	2021
緑内障	29	68	70	81	89	105



耳鼻咽喉科

医師紹介

2021年度在籍医師

耳鼻咽喉科主任部長

宮里 麻鈴 2000年卒

Marin Miyasato

耳鼻咽喉科一般

医学博士

日本耳鼻咽喉科学会専門医

補聴器相談医

身体障害者福祉法指定医

医師

小川 結衣 2016年卒 (2021年9月30日転出)

Yui Ogawa

耳鼻咽喉科一般

診療内容

患者さんお一人お一人のニーズに合った検査・治療を提案します。

味、におい、あって当たり前と思っていませんか。最近テレビの音が大きくなった、耳が遠くなったかもしれないと感じることはありませんか。きこえは大切なコミュニケーション方法です。耳鼻咽喉科は五感のうち3つを担当しています。

耳鼻咽喉科ではいろいろな病気に対応します。

耳：中耳炎、耳あか、難聴、めまい、耳鳴り、補聴器の相談、耳のかゆみ

鼻：花粉症、副鼻腔炎、アレルギー性鼻炎、におい

のど：のどの違和感・痛み、飲み込みが悪い、魚の骨、声のかすれ、いびき、扁桃炎

他：かぜ、咳、首のはれ、味覚、顔面神経麻痺、頭頸部腫瘍（診断）など

当科では、総合病院ならではのCT、MRI検査、入院や手術も行っています。完治をめざす病気だけでなく、症状の軽減を目指す病気についても適切な説明を行い、患者さんのつらい症状に寄り添いながら、柔軟に対応することを心がけています。におい、難聴は早めの受診が大切な

ことがあります。耳鼻科のがんの咽頭がん、喉頭がんは早期発見が重要です。思い当たる症状、気になる病気があればお気軽にご相談ください。専門医が親切丁寧に対応します。複数の診療科領域にわたる病気の場合は、関連する他の科との連携を密に行い、がんや高度な治療が必要な病気は適切な病院をご紹介します。

診療実績

診断群分類別患者数等

DPCコード	DPC名称	症例数
030230xxxxxxxx	扁桃、アデノイドの慢性疾患	29
030240xx99xxxx	扁桃周囲膿瘍、急性扁桃炎、急性咽頭喉頭炎 手術なし	26
030400xx99xxxx	前庭機能障害 手術なし	14
030390xx99xxxx	顔面神経障害 手術なし	-
030240xx01xxxx	扁桃周囲膿瘍、急性扁桃炎、急性咽頭喉頭炎 扁桃周囲膿瘍切開術等	-

※患者数が10人未満の項目には、ハイフン（-）を表示しています。

扁桃炎による発熱、咽頭痛を繰り返す慢性扁桃炎の症例に対して口蓋扁桃摘出術を行っています。慢性副鼻腔炎による鼻閉改善目的に内視鏡下・副鼻腔手術を行っています。扁桃周囲膿瘍は排膿時期が遅れると縦隔洞炎に伸展し致死的状态となる可能性があり、発見次第経口的に切開排膿術を行っています。

緩和ケア内科

医師紹介

2021年度在籍医師

緩和ケア内科主任部長

沖政 盛治 1992年卒

Seiji Okimasa

医学博士

日本緩和医療学会認定医



診療内容

穏やかな時間と空間のために。

当院では病院のリニューアルに際し、新たに緩和ケア内科を設立し、あわせて7階病棟を緩和ケア病棟として運営開始といたしました。がん医療強化の一環としての一翼を担いたいと思っています。

「緩和ケア」とは

がんと診断されたときから行うサポートです。がん患者さんは、それ自体の症状のほかに、痛み、倦怠感などの身体的な症状や、不安、苛立ちなどの精神的な苦痛を経験します。さらには、闘病に際して経済的な問題や生きる意味への問いとしてスピリチュアルな苦痛を抱き苦悩することがあります（全人的苦痛：身体的苦痛、精神的苦痛、社会的苦痛、スピリチュアルな苦痛）。

そのような患者さんには

- ・ 信仰や人生への思いを尊重します
- ・ 痛みや苦しみの無い穏やかな日々をめざします
- ・ それぞれの専門職が各々の力でお支えます
- ・ 地域の医療機関と連携し、自宅や医療施設のどちらでも療養できるようにサポートします

以上を信条とし、寄り添っていきたいと思っております。

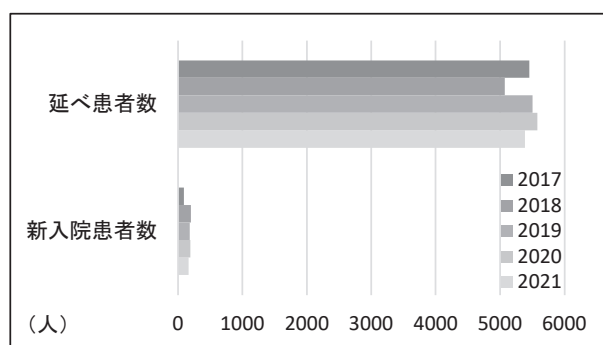
病棟内設備

緩和ケア病棟につきましては20ベッド全て個室で対応させていただいています。入棟については一定の条件がありますが、遠慮なく当院スタッフにお声掛けいただきますようお願いいたします。緩和ケア認定看護師をはじめ院内スタッフが懇切丁寧に対応させていただきます。

診療実績

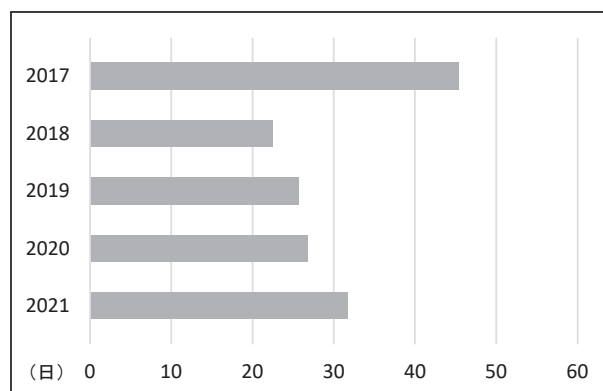
1. 患者数

	2017	2018	2019	2020	2021
延べ患者数	5,452	5,074	5,506	5,576	5,396
新入院患者数	93	200	182	191	164



2. 平均在院日数

	2017	2018	2019	2020	2021
平均在院日数	45.4	22.5	25.7	26.8	31.7



放射線科

医師紹介

2021年度在籍医師

放射線科主任部長

伊達 秀二 1990年卒

Shuji Date

画像診断全般

医学博士

日本医学放射線学会放射線診断専門医

検診マンモグラフィ読影認定医

医師

平石 純斗 2017年卒 (2021年9月30日転出)

Junto Hiraishi

画像診断全般

前田 智郷 2017年卒

Chisato Maeda

画像診断全般

検診マンモグラフィ読影認定医

技師長よりごあいさつ

中本 幸司

Koji Nakamoto

放射線科では、320列CT等最新機器を導入し、これら进行操作するスタッフは認定資格を持ったスペシャリストを配置しています。また、マンモグラフィーについては女性認定技師が対応し、患者さんが安心して検査を受けて頂けるよう取り組んでいます。検査内容についての疑問やご心配等ございましたら気軽にお問い合わせください。

診療内容

最新の医療機器と的確な診断で、患者さんに優しい検査をいたします。

放射線科では新病院体制に伴い最新の医療機器を導入し、数多くの検査に精力的に取り組んでいます。現在世界最高である320列の検出器を搭載したCTは撮像時間や被曝量を大幅に低減し、心臓を含めた全身のあらゆる部位を、3次元で詳細に観察することができます。1.5テスラのMRIは、従来の装置と比較し開口部が広いため圧迫感が少なく、撮像時の騒音を少なくする技術や、造影剤を使用せずに腹部や四肢の血管を撮影できる技術など、より患者さんに優しい検査が可能となりました。核医学検査では、SPECT-CTにより狭心症などの心臓疾患、骨転移などの癌病変、認知症やパーキンソン病をはじめとする神経系疾患など、様々な機能診断を行っています。

当科の画像診断は院内のみならず、地域の開業医の先生方との共同利用を推進しており、現在1日10件前後のご紹介をいただいています。読影はすべて放射線診断専門医が担当しており、「患者さんに優しい、迅速・的確な画像診断」をモットーに診断レポートを作成、提供しております。

放射線技師所属学会

日本放射線技術学会

日本診療放射線技師会

日本交通医学会

広島県放射線技師会

日本医用画像管理学会

日本消化器がん検診学会

NPO法人日本消化器がん検診精度管理評価機構

日本心血管インターベンション治療学会

放射線技師取得資格

第1種放射線取扱主任者
 第2種放射線取扱主任者
 検診マンモグラフィー撮影認定診療放射線技師
 X線CT認定技師
 肺がんCT検診認定技師
 医療情報技師
 医用画像情報専門技師
 胃がんX線検診技術部門B資格認定技師
 胃がんX線検診読影部門B資格認定技師
 胃がん検診専門技師
 画像等手術支援認定診療放射線技師
 Ai認定診療放射線技師



最新のMRI機器・設備を導入。病気の早期発見、早期診断の質の向上を図る。

医療機器



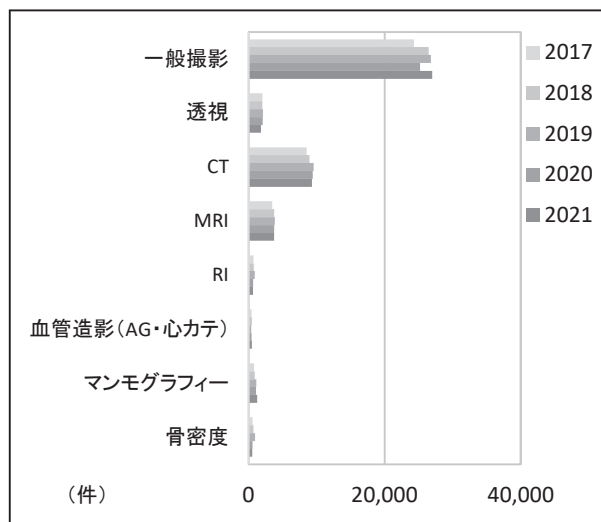
世界最高水準の「コンピューター断層撮影CT320列」を整備。高水準の画像診断実施、診断の迅速化を図る。



今後増加が予想される循環器系疾患の治療を行う高機能装置を整備。

診療実績

	2017	2018	2019	2020	2021
一般撮影	24,312	26,453	26,791	25,199	26,985
透視	2,048	2,020	2,107	2,057	1,808
CT	8,525	8,944	9,573	9,412	9,301
MRI	3,483	3,762	3,845	3,775	3,736
RI	719	789	892	662	634
血管造影 (AG・心カテ)	424	480	410	447	470
マンモグラフィー	800	932	1,122	1,095	1,249
骨密度	592	712	937	565	524



麻酔科

医師紹介

2021年度在籍医師

麻酔科主任部長

久保田 稔 1983年卒

Minoru Kubota

麻酔一般

日本麻酔科学会会員

部長

平良 裕子 1980年卒

Yuko Taira

麻酔一般

日本麻酔科学会専門医

医長

鈴木 麻倫子 2007年卒

Mariko Suzuki

麻酔一般

日本麻酔科学会専門医

診療内容

安全かつ最適な麻酔がモットーです

麻酔科管理の手術症例数は、2021年度は1281例でした。

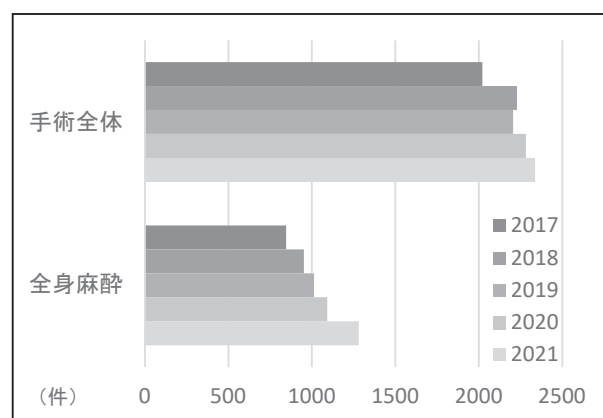
当院で行われる手術の約半数（1日平均5.3例）の麻酔科管理を行っています。

2021年度からは、麻酔科医は2名から3名に増員され、緊急手術が出来るだけ迅速に行われる体制となりました。患者様が安全で快適に手術が受けられるように、日本麻酔科学会の安全基準に則して麻酔管理を行っています。

診療実績

全身麻酔症例数

	2017	2018	2019	2020	2021
手術全体	2,113	2,228	2,205	2,282	2,337
全身麻酔	846	952	1,013	1,092	1,281



病理診断科

医師紹介

2021年度在籍医師

教育研修部長・
臨床検査科（病理診断科）主任部長

中山 宏文 1989年卒

Hirofumi Nakayama

病理診断（組織診断、細胞診、病理解剖）
臨床検査管理、脂肪肝（NAFLD/NASH）
医学教育

博士（医学）（広島大学）
厚生労働省死体解剖資格
厚生労働省医政局長臨床研修指導医
臨床研修協議会プログラム責任者養成講習会修了
病理専門医・病理専門医研修指導医
細胞診専門医・細胞診専門医教育研修指導医
臨床検査管理医
Reviewer Board Member of Japanese Journal of
Clinical Oncology（Oxford University Press）
広島大学医学部臨床教授

診療内容

国際標準的な診断を、正確・迅速に
下しています。

患者さんから手術等で摘出された臓器を、目で見て評価し、顕微鏡標本を作製し観察したのち、臨床像を合わせて総合的に検討し、国際的に確立された診断規準に従って最終診断を下す病理組織診断が業務の中心です。また、病変から剥離した細胞および腫瘍を針で穿刺吸引し採取された細胞を顕微鏡で観察し診断する細胞診断を、細胞検査士資格を有する臨床検査技師と協力して行っています。お亡くなりになった患者さんの病理解剖も必要に応じて行い、主治医および関係した医療従事者で、症例検討会を年数回開催しています。分子標的治療薬や免疫チェックポイント阻害薬使用のためのコンパニオン診断も一部院内化しています。

当院病理診断科は、日本病理学会認定施設B（ただし2008年4月1日から2012年3月31日まで、病理解剖数不足のため2012年4月1日以降は日本病理学会登録施設）、日本臨床細胞学会認定施設（2004年4月1日認定）および日本臨床細胞学会教育研修施設（2009年4月1日認定）です。新専門医制度下では、広島大学病理専門研修プログラムの連携施設として、引き続き病

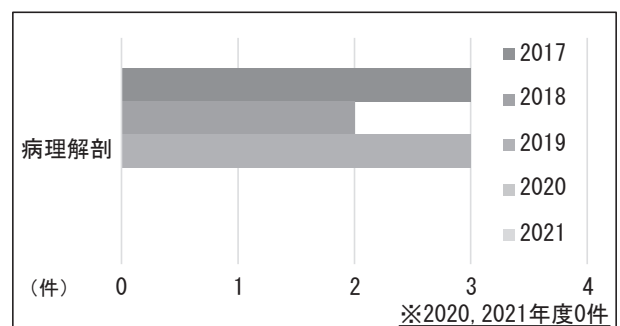
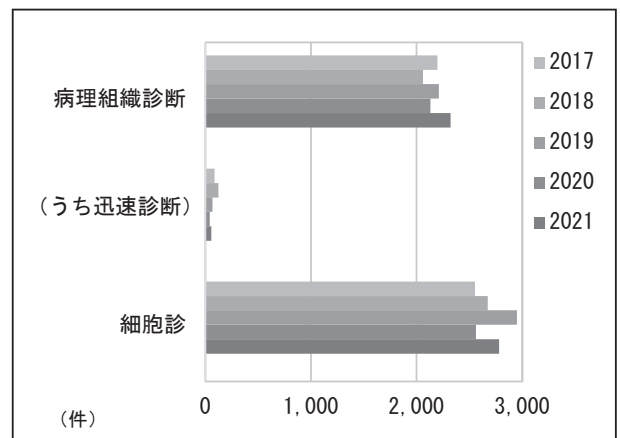
理専門医育成に貢献しつづけます。

教育および研究にも携わっています。当科部長の中山は、広島大学医学部臨床教授の称号を付与されており、当院内で広島大学医学部医学科の5年生の臨床実習Ⅰおよび6年生の臨床実習Ⅱの一部を担当し、市中病院における病理診断の実際を見学していただいています。今年度はコロナ禍で学外臨床実習は中止されました。また、各診療科の貴重症例の報告を支援し、自らも集積された症例の解析を行っており、病理形態学および病理疫学的研究を継続して行っています。

診療実績

各診療科医師の交代等の影響を受けるため、年によって多少異なりますが、過去5年については、以下の通りです。

	2017	2018	2019	2020	2021
病理組織診断	2,198	2,062	2,207	2,130	2,323
（うち迅速診断）	88	125	60	41	56
細胞診	2,554	2,674	2,935	2,561	2,783
病理解剖	3	2	3	0	0



健診センター

医師紹介

2021年度在籍医師

健診センター主任部長

野村 秀一 1986年卒

Shuichi Nomura

医学博士
日本内科学会認定内科医
日本内科学会認定総合内科専門医・指導医
日本循環器学会認定日本循環器専門医
日本老年医学会認定老年病専門医・指導医
日本高血圧学会専門医・指導医
日本動脈硬化学会動脈硬化専門医
広島卒後臨床研修ネットワーク指導医
日本人間ドック学会認定医
人間ドック健診情報管理指導士

部長

田中 美和子 2001年卒

Miwako Tanaka

医学博士
日本内科学会認定医・総合内科専門医
日本消化器内視鏡学会専門医・指導医
日本消化器病学会専門医
日本消化管学会胃腸科認定医・専門医・指導医

診療内容

“健診センター”部門が設立されてはや6年が経過しました。引き続きJR西日本社員および地域住民の健康管理に携わるとともに企業健診にも積極的に関わっていくことで地域貢献を担っていくことが当健診センターの目標であります。午後の健診枠を増やしたため午前中に人間ドック、生活習慣病健診の枠を増やすことが可能となりました。医師は昨年と同常勤医2名(野村、田中)、非常勤医6名(豊田、今川、竹林、大成、宮本、大学病院医師)で問診、結果説明を行いました。また今年度も月曜日から金曜日までの毎日3人体制は継続しました。

今年度も少なからずCOVID-19の影響を受けました。引き続き新型コロナウイルスの感染予防対策として受付において体温測定を行い、37.5

度以上の発熱を認めた場合は受診をキャンセルしていただきました。3密を避けるよう椅子などの配置に工夫をしました。また各自で小まめに手指、器具などの消毒を行っていきました。検査において肺機能検査を引き続き行いませんでした。さらに雑誌、新聞の設置も行いませんでした。

令和2年度の受診者数は一日人間ドックが2,642名(男性2,009名、女性633名)、生活習慣病予防健診が1,714名(男性934名、女性780名)、定期健康診が2,261名(男性887名、女性1,374名)でしたが、令和3年度の受診者数は一日人間ドックが3,098名(男性2,321名、女性777名)、生活習慣病予防健診が2,226名(男性1,245名、女性981名)、定期健康診が2,481名(男性974名、女性1,507名)でした。感染予防対策を行いながら関西圏、福岡県からの受け入れを行い、令和2年度の受診者数を上回ったのみならず、令和1年度の受診者数をも上回り、過去最高となりました。特に女性の受診者数が増加し、全体の41.8%となりました。

収益増加の取り組みとして以下の2点があります。

- 1) 生活習慣病予防健診受診者に人間ドックに近い検査項目を受けていただく、名付けて“ハイブリッド健診”を推し進めることにより、単価が上がり、増収につながりました。
- 2) 広島県地方職員共済、広島市職員共済といった新たな企業と契約を結ぶことができました。また、体制の整備として以下のことを行いました。
 - 1) 看護師8名、事務職7名と増員し、受診者数増加に対応しました。
 - 2) 電話回線の増設を行っています。
 - 3) 一般検査室にパーティションを設置し、プライバシーの強化を図りました。
 - 4) サービスの向上としてwifiを設置しました。
 - 5) また2021/10/28、12/9、2022/1/13をレディースデーとし、受診者、検査施行者(内視鏡検査は除く)、医師を女性のみとしました。
 - 6) バーコードのついたリストバンドを使用し、誤認防止を図りました。

特定保健指導は令和2年度17名から本年度71名と増加しています。また受診勧奨を含めた生活指導を340名(人間ドック受診者の11.0%)に行いました。今後さらに件数を増やしていく予定です。また人間ドック健診施設機能評価受診に向けてワーキンググループ内で準備を進めて

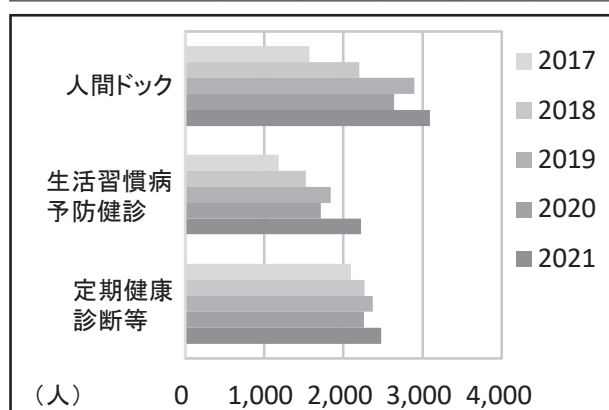
います。令和4年に申請することを目標としています。

引き続き受診者が安心して健診を受けられるようにさらなる改善を図っていく所存です。

診療実績

1. 受診者数

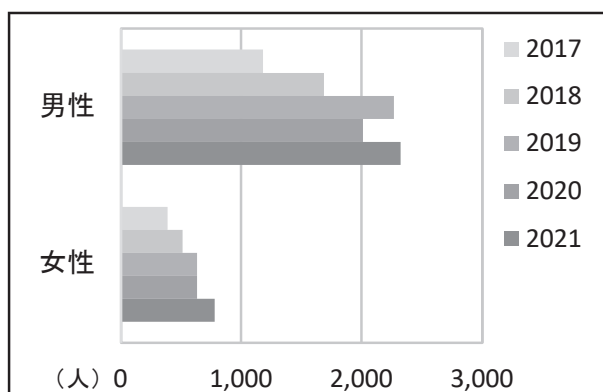
	2017	2018	2019	2020	2021
人間ドック	1,572	2,201	2,901	2,642	3,098
生活習慣病予防健診	1,184	1,527	1,838	1,714	2,226
定期健康診断等	2,100	2,265	2,373	2,261	2,481
計	4,856	5,993	7,112	6,617	7,805



2. 受診者数内訳 (種別・性別)

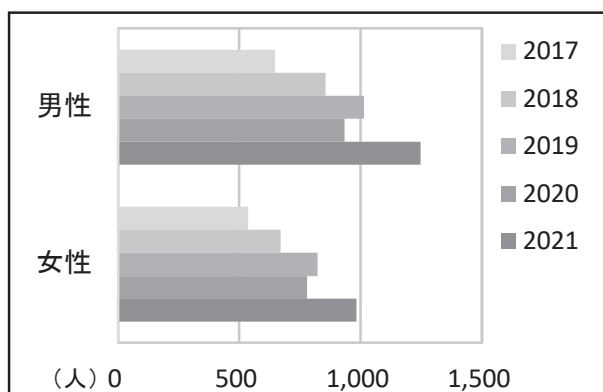
(1) 人間ドック

	2017	2018	2019	2020	2021
男性	1,182	1,689	2,269	2,009	2,321
女性	390	512	632	633	777



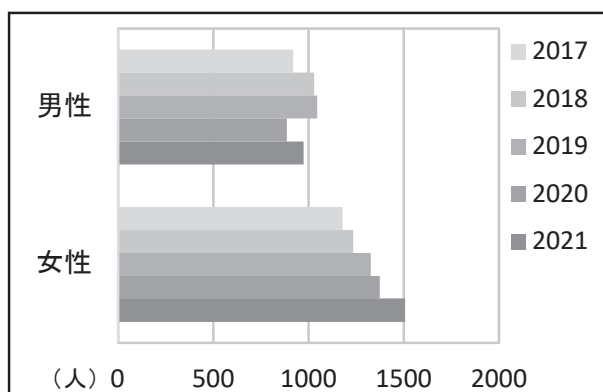
(2) 生活習慣病予防健診

	2017	2018	2019	2020	2021
男性	647	856	1,015	934	1,245
女性	537	671	823	780	981

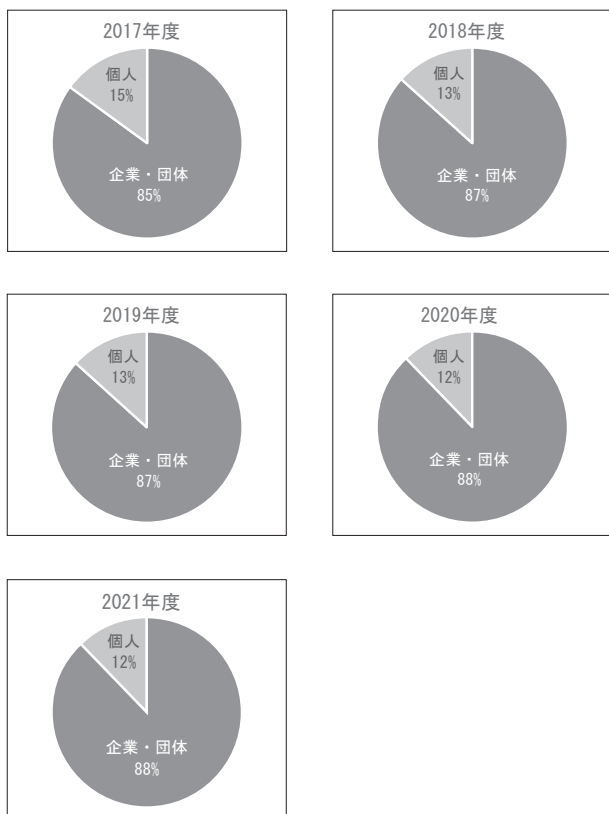


(3) 定期健康診断等

	2017	2018	2019	2020	2021
男性	920	1,030	1,046	887	974
女性	1,180	1,235	1,327	1,374	1,507

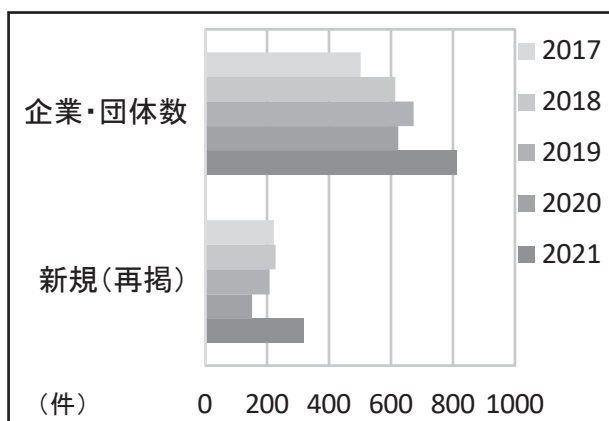


3. 申込みの割合



4. 企業・団体数

	2017	2018	2019	2020	2021
企業・団体数	503	615	674	624	813
新規(再掲)	222	227	208	152	317



歯科口腔外科

診療内容

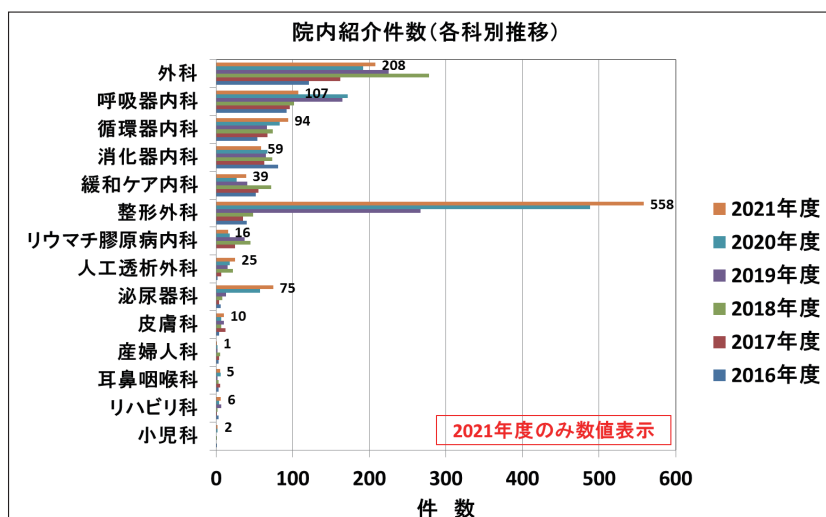
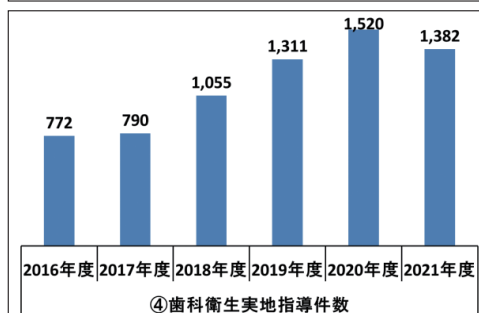
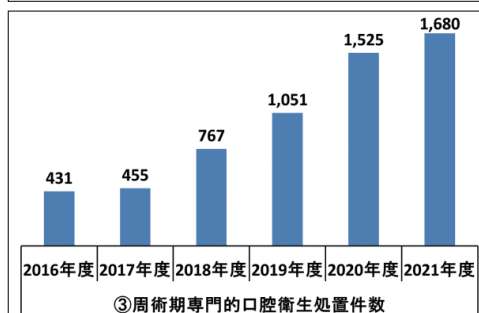
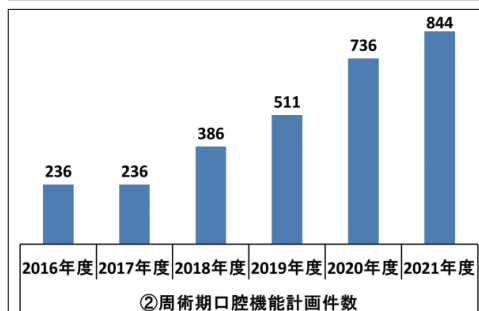
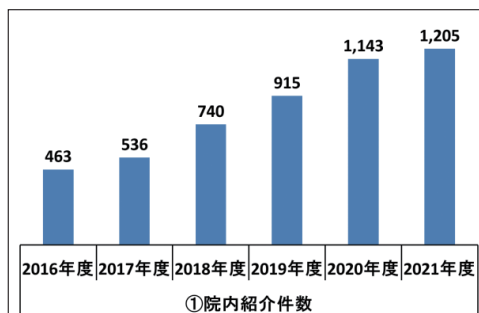
歯科は、月曜日～金曜日に広島大学病院の口腔インプラント診療科、咬合・義歯診療科、口腔顎顔面再建外科からの派遣歯科医師9名および常勤歯科衛生士2名で、入院患者（抗がん剤治療の外来患者も含む）を対象に診療を行っています。

主たる診療は、医科から紹介された周術期の入院患者における口腔機能を管理しています。周術期口腔機能管理は、平成24（2012）年に保険医療に新設され、チーム医療の推進の一つとして、術後の合併症や術後誤嚥性肺炎の軽減、口腔・咽頭領域に合併症を生じる放射線治療や化学療法を受ける患者の口腔機能の管理を行い、さらに、栄養摂取のための良好な口腔環境の維持を目指しています。

その他の診療としては、周術期以外の入院患者の口腔の問題を改善し、入院中の口腔ケアを通して、退院後の歯科治療へつなげる役割も担っています。

ここ数年の①院内紹介件数、②周術期口腔機能計画件数、③周術期専門的口腔衛生処置件数、④歯科衛生実地指導件数の推移、および院内紹介件数（各科別推移）を紹介します。

2021年度も新型コロナウイルス感染症（COVID-19）禍が続き、WITHコロナ社会の新しい生活様式の到来を待つ中、各件数はいずれも増加しており、医科歯科連携チーム医療における歯科の役割を日頃よりご理解いただいた成果と感謝しています。今後とも引き続き、歯科の運営にご理解とご協力をいただけますよう、よろしくお願いいたします。



化学療法センター

診療内容

確実・安全・安楽な治療を提供
できるよう努めます。

化学療法センターは、悪性腫瘍あるいは特定疾患に対し、化学療法を受ける患者さん専用の治療スペースです。2016年1月18日の新築移転後より、院内の化学療法はすべてセンターで行うようになりました。スタッフはセンター長の医師：1名、外来がん治療認定薬剤師：1名、専任薬剤師：2名、がん化学療法看護認定看護師：1名、看護師：3名で構成しております。センター内はベッド3床・リクライニング式ベッド7床、計10床を設け、患者さんの要望に応じたベッドで治療を受けていただいております。また、ご家族の待合スペースもあり、患者さん、ご家族ともにリラックスして治療が受けられるよう環境も整えております。あわせて、安全な治療が行われるよう看護師はすぐそばで患者さんを見守り支援しております。治療時間はもちろんですが、ご自宅に戻られた後も副作用などの電話でのご相談を承っております。

患者さんのサポートは医師・薬剤師・看護師・その他多くの職種と連携を図りながら専門性を活かしたチームで行っています。

〈現在治療を行っている診療科〉 2022年3月現在

診療科	人数
外科	38
消化器内科	11
呼吸器内科	1
泌尿器科	10
産婦人科	1
リウマチ・膠原病科	36
整形外科	2
小児科	4

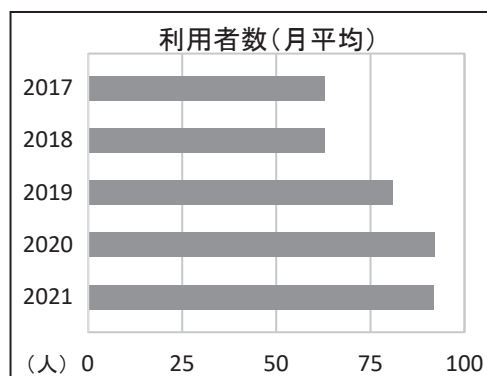
〈疾患別〉 ※一部抜粋

胃がん、大腸がん、膵臓がん、肝内胆管がん
肺がん、膀胱がん、前立腺がん、子宮頸がん
子宮内膜がん、卵巣がん、関節リウマチ
強直性脊椎炎 など

診療実績

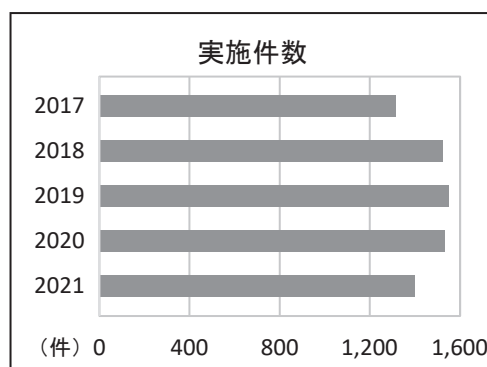
1. 利用者数

	2017	2018	2019	2020	2021
利用者数 (月平均)	63	81	92	93	92



2. 実施件数

	2017	2018	2019	2020	2021
実施件数	1,315	1,525	1,551	1,533	1,399



臨床検査科

医師紹介

2021年度在籍医師

教育研修部長・
臨床検査科（病理診断科）主任部長

中山 宏文 1989年卒

Hirofumi Nakayama

病理診断（組織診断、細胞診、病理解剖）
臨床検査管理、脂肪肝（NAFLD/NASH）

医学教育

博士（医学）（広島大学）

厚生労働省死体解剖資格

厚生労働省医政局長臨床研修指導医

臨床研修協議会プログラム責任者養成講習会修了

病理専門医・病理専門医研修指導医

細胞診専門医・細胞診専門医教育研修指導医

臨床検査管理医

Reviewer Board Member of Japanese Journal of
Clinical Oncology

広島大学医学部臨床教授

および論文投稿を積極的に行っています。

診療内容

正確・迅速な診療支援をしています。

ご来院いただいた患者さんの診断と治療、病態把握に必要な臨床検査結果を医師に提供する部署で、検体検査、生理検査、および病理診断支援の3部門からなります。

院内感染予防対策チーム（ICT）、抗菌薬適正使用支援チーム（AST）、栄養サポートチーム（NST）など院内の他部門と密な連携を取り、安全で適切な医療の向上に努めています。毎日、精度管理用試料を測定（内部精度管理）し、日本臨床衛生検査技師会、日本医師会、および広島県医師会などの精度管理（外部精度管理）に参加し、検査精度向上を目的として、努力しています。

また、「標準化され、かつ精度が十分保障されていると評価できる施設」として日臨技精度保証施設に登録されています。

1. 検体検査部門

患者さんから採取された検体（血液、尿、便、穿刺液、喀痰、鼻汁等）を検査します。

生化および血清検査

血液中の血清を用いて、肝機能（AST、ALTなど）、脂質（LDL-C、HDL-Cなど）、腎機能検査（尿素窒素、クレアチニンなど）、抗体、腫瘍マーカー（PSA、CA19-9など）、及び各種ホルモンの値を測定します。

血液検査

血液中の赤血球数、白血球数、血小板数を測定し白血球分類などを行います。異常があれば顕微鏡で目視し所見を報告します。凝固線溶系検査も測定します。

輸血検査

輸血副作用のリスクが非常に少ない自己血輸血に積極的に取り組んでいます。血液（A、B、O、Rh）を確認するのみならず、さらに詳細な検査を行い（不規則抗体検査、交差適合検査）を行い、安全な輸血療法に貢献しています。

技師長よりごあいさつ

川西 なみ紀

Namiki Kawanishi

修士

臨床検査技師

日本臨床細胞学会認定細胞検査士（JSC）

国際細胞学会認定細胞検査士（CMIAC）

日本心理学会認定心理士

高度化・複雑化した医療に貢献できるよう、資格や専門知識を持った21名の臨床検査技師が従事しています。患者さんの大切な検体や生体から、正確で精度の高い検査結果をご提供できるよう心がけています。また、地域の患者さんの検査もお受けしています。どうぞ宜しくお願いいたします。

運営方針と目標

1. 医療過誤のない迅速で正確な検査情報を提供する。
2. チーム医療に心がけ診療支援を行う。
3. 最新の専門的知識と技術を習得する。
目標達成のため、日々の業務に真摯に取り組んでいます。また、研修会に参加し、学会発表

一般検査

尿や便の中の細胞や物質を調べます。尿中の糖やたんぱく質を検査することにより糖尿病や腎機能の異常を知ることができます。膀胱がんの細胞が尿の中にでてくることがあります。便潜血反応は大腸がんをはじめ消化管がんのスクリーニングに有用です。

細菌検査

感染症の原因となる細菌を見つける同定検査と、どんな薬が効くのかを調べる薬剤感受性検査を行っています。同定検査は質量分析装置を使用し、精度の高い結果を迅速に報告しています。薬剤耐性菌の検出や抗酸菌の遺伝子検査も院内で実施しており感染症治療や院内感染対策に生かしています。

採血

看護師と協力して採血業務を行う、検体検査の窓口となる部門です。取り違え防止などのため、患者さんごとにバーコードラベルを発番させて検査過誤防止に取り組んでいます。痛みを伴う採血への患者さんの負担軽減のため、接遇の向上にも努めています。

2. 生理検査部門

心電図、ホルター心電図、肺機能検査（VC、FVC、RV、DLco、呼吸抵抗など）、脳波、トレッドミル運動負荷検査、心肺運動負荷試験（CPX）、超音波検査（消化器、循環器、血管、乳腺、関節など）、神経伝導速度検査、睡眠時無呼吸検査（簡易、精密）等を行っております。この他にも術中脊髄モニタリングや心臓カテーテル検査の生体情報モニタリングもしています。また、健診センターとも連携して検査を行っています。

3. 病理診断支援部門

細胞診分野では、日本臨床細胞学会の認定施設であり、婦人科、呼吸器、泌尿器、甲状腺、乳腺、体腔液など院内で提出される全ての材料を取り扱い、細胞検査士がベッドサイドまで出向いて標本を作製しています。材料によっては、液状検体細胞診や必要に応じてセルブロックを作製し、細胞からできる限りの情報をご提供できるよう努力しています。

病理組織分野では、生検材料から手術材料を取り扱っており、検体の取り違え防止を徹底するとともに、診断に適した標本作製、必要に応じて免疫染色、遺伝子検査を行っています。

当院臨床検査技師が所属する学会

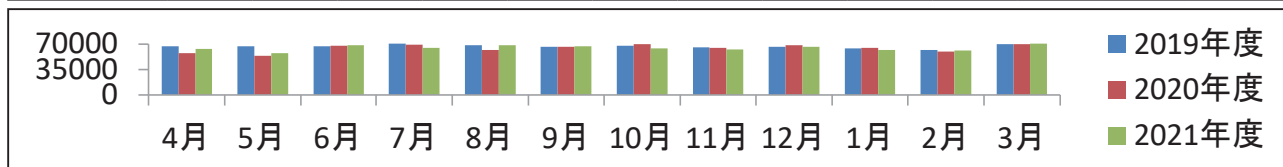
日本臨床衛生検査技師会
広島県臨床検査技師会
日本交通医学会
日本医療検査科学会
日本臨床化学会
日本検査血液学会
日本輸血細胞治療学会
日本臨床微生物学会
日本感染症学会
日本環境感染学会
日本医用マススペクトル学会
日本化学療法学会
国際細胞学会
日本臨床細胞学会
広島県臨床細胞学会
日本超音波検査学会
日本超音波医学会
日本臨床栄養代謝学会
心エコー図学会
日本不整脈心電学会
日本心血管インターベンション治療学会

取得資格

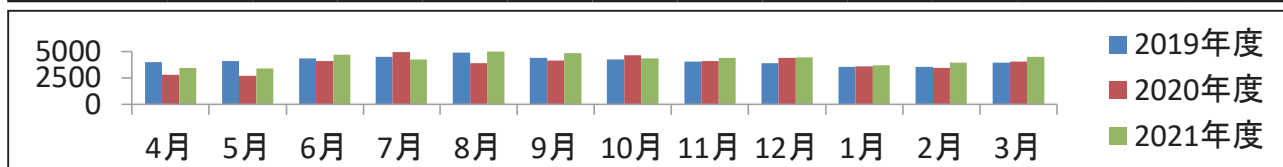
認定血液検査技師
認定一般検査技師
認定心電検査技師
認定臨床微生物検査技師
感染制御認定臨床微生物検査技師（ICMT）
超音波検査士（循環器領域）（腹部）（健診）
国際細胞検査士（CMIAC）（CTIAC）
日本臨床細胞学会認定細胞検査士（CT）
二級臨床検査士（臨床化学）
二級臨床検査士（免疫血清）
二級臨床検査士（血液）
二級臨床検査士（微生物）
緊急臨床検査士
心血管インターベンション技師
医用質量分析認定士
NST専門療法士
広島県糖尿病療養指導士
日本リウマチ学会登録ソノグラファー
日本臨床試験学会認定GCPパスポート認定資格
ひろしま肝炎コーディネーター

各種検査の実績

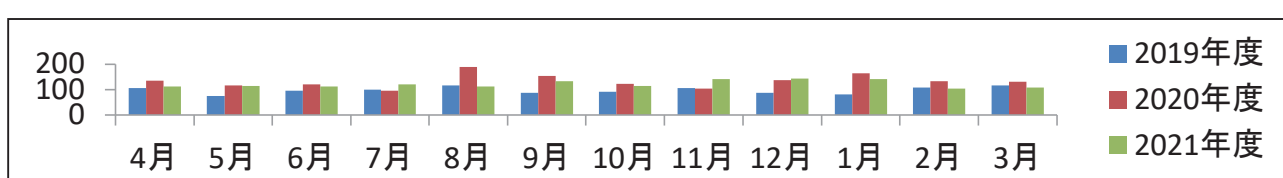
【生化学・免疫】	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
2019年度	66,831	66,443	66,912	70,736	68,074	65,858	67,421	65,256	66,212	64,095	61,608	69,731	799,177
2020年度	57,319	53,653	67,198	69,101	61,570	66,224	69,389	64,598	68,315	64,177	59,204	69,605	770,353
2021年度	62,806	57,068	68,155	64,818	68,076	66,544	63,864	62,662	66,320	61,948	61,039	71,110	774,410



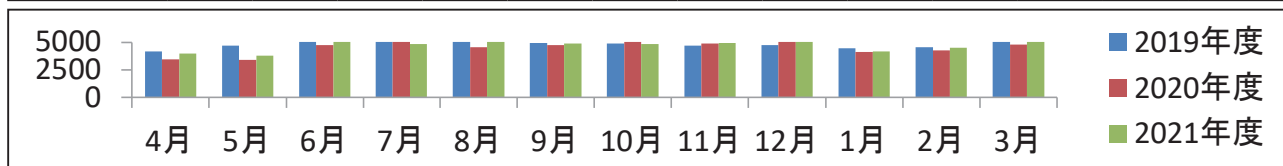
【糖関連検査】	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
2019年度	4,002	4,065	4,341	4,483	4,878	4,390	4,238	4,031	3,874	3,527	3,555	3,932	49,316
2020年度	2,800	2,676	4,104	4,918	3,869	4,122	4,635	4,071	4,385	3,571	3,455	4,049	46,655
2021年度	3,456	3,378	4,670	4,250	4,968	4,805	4,333	4,360	4,444	3,700	3,918	4,475	50,757



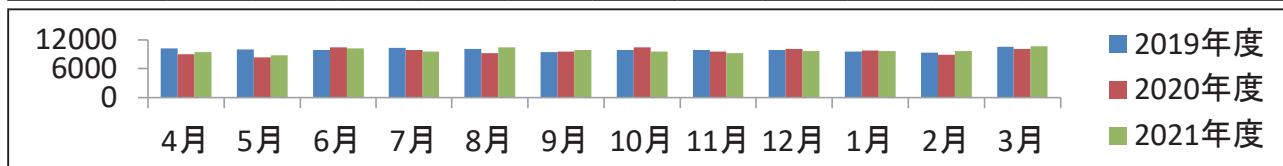
【血液ガス】	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
2019年度	106	74	95	99	116	88	91	105	87	81	108	116	1,166
2020年度	135	116	121	95	188	154	122	104	137	163	132	130	1,597
2021年度	112	113	111	120	112	132	113	141	143	142	103	107	1,449



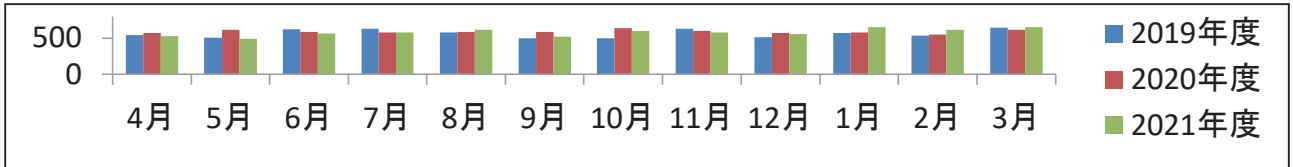
【一般検査】	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
2019年度	4,163	4,722	5,274	5,273	5,076	4,944	4,908	4,693	4,738	4,469	4,562	5,152	57,974
2020年度	3,446	3,425	4,762	5,025	4,545	4,731	5,229	4,892	5,014	4,113	4,262	4,802	54,246
2021年度	3,985	3,784	5,239	4,846	5,112	4,880	4,845	4,933	5,120	4,151	4,498	5,060	56,453



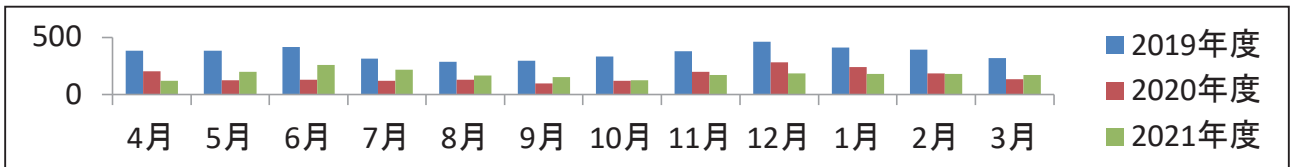
【血液・凝固検査】	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
2019年度	10,210	9,984	9,918	10,280	10,119	9,502	9,933	9,881	9,843	9,524	9,356	10,553	119,103
2020年度	9,056	8,346	10,393	9,935	9,244	9,617	10,449	9,517	10,099	9,749	8,890	10,133	115,428
2021年度	9,467	8,829	10,248	9,600	10,394	9,942	9,518	9,184	9,644	9,653	9,625	10,672	116,776



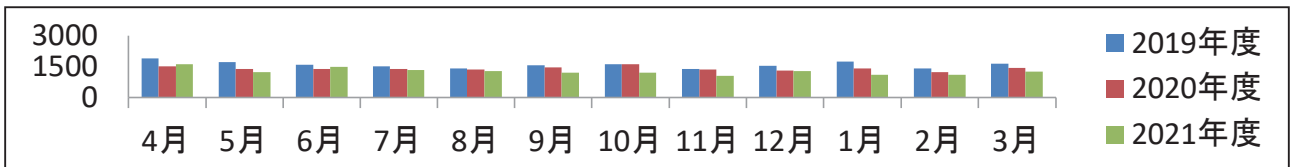
【輸血関連検査】	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
2019年度	541	509	621	628	581	496	496	634	513	571	539	644	6,773
2020年度	572	614	589	579	586	586	637	600	571	578	551	616	7,079
2021年度	527	495	564	580	614	521	604	582	559	656	614	652	6,968



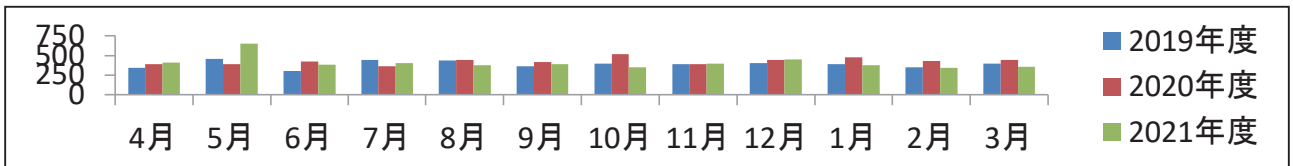
【簡易迅速検査】	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
2019年度	386	383	415	316	289	295	335	379	463	414	393	321	4,389
2020年度	206	127	128	122	128	97	122	200	285	241	185	136	1,977
2021年度	122	199	258	216	165	154	127	170	188	181	181	174	2,135



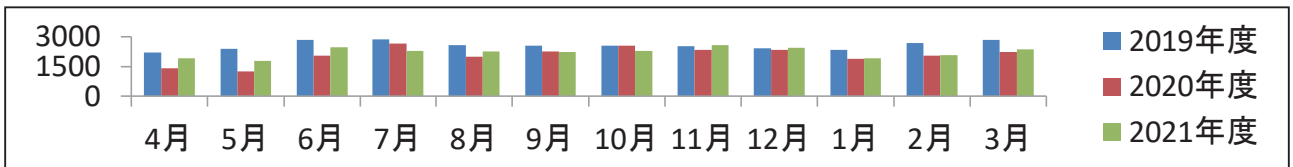
【外部委託検査】	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
2019年度	1,899	1,729	1,602	1,527	1,411	1,558	1,608	1,397	1,549	1,739	1,422	1,656	19,097
2020年度	1,507	1,398	1,398	1,383	1,365	1,459	1,621	1,354	1,304	1,414	1,227	1,450	16,880
2021年度	1,619	1,234	1,499	1,331	1,295	1,221	1,217	1,060	1,275	1,107	1,121	1,251	15,230



【細菌検査】	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
2019年度	341	455	301	446	436	365	397	391	406	389	353	399	4,679
2020年度	393	388	424	361	443	414	517	392	446	479	431	446	5,134
2021年度	407	648	386	405	380	389	347	394	451	379	346	354	4,886



【生理機能検査】	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
2019年度	2,201	2,400	2,857	2,885	2,582	2,544	2,563	2,521	2,430	2,350	2,688	2,844	30,865
2020年度	1,410	1,245	2,058	2,666	2,008	2,277	2,561	2,347	2,345	1,888	2,042	2,241	25,088
2021年度	1,911	1,776	2,485	2,279	2,263	2,247	2,301	2,596	2,441	1,913	2,071	2,383	26,666



温熱療法室

医師紹介

2021年度在籍医師

小野 栄治 1974年卒

Eiji Ono

医学博士
日本ハイパーサーミア学会認定医
日本外科学会専門医
日本外科学会指導医
日本消化器外科学会・消化器がん外科治療認定医

診療内容

悪性腫瘍に対する温熱療法 (ハイパーサーミア) について

当院では、新病院においてハイパーサーミア治療室(温熱療法)を設置し、サーモトロンRF8を配備し悪性腫瘍に対する温熱療法を開始します。この治療は、癌など悪性腫瘍が正常組織に比べ熱に弱いという性質を利用し、サーモトロンRF8という装置を用いて、腫瘍組織を中心に局所の温度を選択的に42℃から44℃の高温状態を作り出すことにより、腫瘍を縮小あるいは予後を延長させることを目的とした治療法です。

1. 対象となる疾患

脳など頭蓋内の領域を除く悪性腫瘍のうち、体中すべての悪性腫瘍が適応となります。手術や内視鏡治療等で治療が可能なものではそれらの治療を優先すべきですが、手術で切除できない進行がんや再発がん、体力的に手術を受けられない場合などが適応となります。抗がん剤などの化学療法や放射線治療との併用療法の有効性が高く、通院での治療も可能です。

2. 治療の原理

体の表面だけでなく、深部まで到達する8MHzの高周波を用いて、ターゲットとなる腫瘍の領域を選択的に加温します。正常組織は、加温されると組織内の血管が拡張し、血流量の増加が車のラジエターのように作用し、組織の温度上昇を抑制しますが、腫瘍組織内の血管は拡張しにくい構造となっているために、組織内の温度が上昇し、結果として効率的な加温がされます。したがって、腫瘍部分が選択的に熱によるダメージを受けます。また、放射線治療や抗がん剤の

治療中の組織では、この効果がさらに増幅されることが証明されています。また、温熱治療により免疫担当細胞が活性化され、腫瘍免疫の増強により、癌に対する抑制効果に繋がることも知られています。

診療実績

2016年1月に新病院での診療が開始された時期に、広島では初めての電磁波温熱療法を開始し、2022年3月末の時点で6年2か月となります。この間に414例の悪性腫瘍の患者さんに対する診療を行ってきました。そのほとんどは、遠隔転移や、リンパ節転移、腹膜播種などを伴う高度進行・再発の極めて厳しい状況の患者さんです。

疾患別の症例数は表1に示しています。そのうち、2021年度には39例の新規治療を開始しています。最も多かったのは膵ガンの9例でした。いずれもStageⅣの症例で、他院での治療継続中でPDの状況にある方々でした。進行膵癌治療の困難さがその主な要因と考えられます。次は、肺ガン、胃ガン、子宮卵巣ガンがそれぞれ6例と同数でした。

2016年1月25日から2022年3月31日までの新規治療症例の疾患別患者数

表1 ()内は2021年度の症例数

原疾患	症例数
頭頸部ガン	16 (0)
食道ガン	10 (0)
肺ガン	49 (6)
乳ガン	43 (5)
胃ガン	33 (6)
結腸・直腸ガン	78 (3)
膵ガン	66 (9)
肝・胆道ガン	21 (2)
子宮・卵巣ガン	58 (6)
泌尿器系ガン	19 (1)
その他	21 (1)
計	414 (39)

そのような中で、現在臨床的にCR状態（完全緩解）を維持できている症例を11例経験しています。その中で最も長期になる例は、前立腺癌の骨転移、肺転移のあった事例で、現在5年11か月となります。次いで膵癌の肝転移例で5年1か月を経過しておられます。この症例は、切除不能と判断された膵頭部ガンで、初診時にすでに肝転移があることで化学療法が開始となり、その3か月後から温熱療法の併用を開始しています。その後3か月で腫瘍マーカーが正常化し、1年後のCTでは現病巣、肝転移ともに腫瘍影の消失が示されました。このような著効例は稀ではありますが、一昨年に当院と同じシステムの電磁波温熱療法を導入された千葉県がんセンターからも同様なケースが報告されています。

教育研修部

教育研修部について

教育研修部は、

1. 院内の教育研修環境の整備
2. 初期臨床研修医のプログラムの整備、指導状況の把握、およびリクルート活動などを目的に、病院の医療法人化と合わせて、2016年4月1日に開設されました。

スタッフは、教育研修部長の中山宏文1名（診療部臨床検査科主任部長を兼務）と初期研修医（総定員10名）です。初期研修医については、2021年度は4月時点で、総勢9名（総定員10名）在籍しました。内訳は、当院基幹型プログラムの1年次4名（定員4名）、同プログラムの2年次4名（定員4名）、そして広島大学病院の臨床研修プログラムB4（当院とのたすきがけ）の2年次1名（定員2名）です。2年次生5名（基幹型4名およびたすきがけ1名）は2022年3月末に無事研修を修了しました。

活動は具体的に以下のごとくです。

1. 教育研修環境の整備

1) 部門横断的カンファレンスやセミナーの充実
従来から行われてきたCPCやキャンサーボードに加えて、医療安全管理室の専従看護師の長谷川三智江副看護師長および室長である岡本有三診療部長の支援のもと、死亡症例カンファレンスを開催しています。医師、看護師はじめ多職種が参加しておりますが、さらに多くの職員の参加が望まれます。定期的に開催できるよう、さらに努力したいと考えています。研修医セミナーを月1回開催しており、好評です。今後は、週1回ぐらい頻繁に開催する方が教育的かもしれませぬ。研修医による院内でのプレゼンテーションの機会が極めて少ないので、研修医が経験した症例の発表会を定期的(月一回程度)に行いたいと考えています。

2) 教育研修のための機器の充実

シミュレーターの更新および新規購入を積極的に進めつつありますが、充分ではありません。看護部、医療安全管理室はじめ多職種での研修を考慮し、充実させるよう努力する所存です。

3) 論文発表等の支援

院内には、論文査読経験がある医師初め医療スタッフが数名在籍しています。部長中山も、上記

諸先生方同様、欧文および和文雑誌の査読経験があり、毎年数編ではありますが査読しています。日本交通医学会で発表された演題で上記学会誌へ投稿するよう推薦された発表の論文化支援をはじめ、その他の活動についても、可能な範囲で支援（査読者とのやりとり、適切な指導者の推薦等）しています。経験あるスタッフによる支援体制を整備する必要があると思われます。

4) 院内学会「JR広島病院学会」（仮称）および院内誌「JR広島病院雑誌」（仮称）を目指して院内に研究発表の場（院内学会「JR広島病院学会」（仮称））が必要と認識しています。コロナ禍で、学会地方会で発表する機会が激減しており、その補完的な役割が果たせると思われます。その内容を論文として発表する場の一つとして、院内誌「JR広島病院雑誌」（仮称）も同様に必要と思われます。新病院開院以来、院内の皆様にご相談し続けております。

2. 初期臨床研修医のプログラムの整備、指導状況の把握、リクルート活動、修了後の進路

1) プログラム整備 — 救急研修の充実、産科研修の受け入れ、HIPRACとの連携等 —

当院は、市内の4病院（広島大学病院、県立広島病院、広島市立広島市民病院、および広島赤十字・原爆病院）と共に、基幹型臨床研修病院です。本プログラムにご参画いただいております施設の医師はじめ全スタッフの皆様には感謝いたします。当院内では、合計24週間お世話になる内科4部門はじめ各診療科の多くのベテラン医師よりご指導いただいております。診療科によっては、院外で研修せざるを得ません。当院の臨床研修プログラムの協力型臨床研修病院は、県立広島病院（精神神経科）、広島赤十字・原爆病院（産婦人科）、市立三次中央病院（産婦人科）、翠清会梶川病院（広島市中区、脳神経内科）、医療法人社団更生会草津病院（広島市西区、精神神経科）です。特に、産婦人科は、かつて当院に産婦人科部長（現在の主任部長相当）として在籍された伊達健二郎先生および藤本英夫先生が産婦人科の長としてお勤めの広島赤十字・原爆病院および市立三次中央病院産婦人科で毎年研修させていただいております。臨床研修協力施設は、広島市東区の山崎病院（地域医療）、長崎県平戸市の平戸市民病院（地域医療）、安芸郡府中町の府中みくまり病院（2020年度まで、精神神経科）、および広島市東区の広島

がん高精度放射線治療センター（HIPRAC）、そして高知県高知市の社会医療法人近森会近森病院（以下、近森病院）です。山崎病院では、院長の新宮哲司先生の陣頭指揮のもとに、幅広く親身にご指導いただいております。近森病院では、walk-inから多発外傷や心肺停止症例まで幅広い救急症例を多数経験できるため、近森病院のERにて4週間研修できる体制にしており、2018年度、2019年度、2020年度にそれぞれ1名が研修しました。

2) 指導状況の把握

研修医の評価は2018年度の1年次生より、事務部長の陣頭指揮の元、総務企画課田邊竜輝課員の尽力でStandard EPOCが導入され、2020年度の1年次生より、研修医評価表Ⅰ「A. 医師としての基本的価値観」、研修医評価表Ⅱ「B. 資質・能力」、および研修医評価表Ⅲ「C. 基本的診療業務」、に関する多職種評価が導入され、Standard EPOCはEPOC2に進化しました。田邊課員の支援の下、河野有紀課員に受け継がれ、管理・支援体制がさらに整備されました。研修医および当方、そして研修医OBは両課員に心より感謝しております。

3) リクルート活動

リクルート活動は、当院の研修医そして事務部の協力なくしては、行えません。

コロナ禍のため、例年参加してきた、レジナビIN大阪、広島市内で春に開催されるマイナビレジデントフェスティバル、およびレジナビIN福岡いずれも開催されず、活動は困難を極めました。幸い、医学科5年次に当院を見学してくれた医学生が応募してくれたため、2020年度に続き2021年度も、マッチングのみで定員4名を充足することができました。

4) 研修修了後の進路

当院基幹型プログラムの2021年度修了の研修医は4名でした。修了後は、内科に2名（広島大学病院専門医制度内科領域プログラム（内分泌・糖尿病内科、リウマチ・膠原病内科）、精神神経科に1名（広島大学病院精神科領域専門医研修プログラム）、病理診断科に1名（広島大学病理専門プログラム）進みました。たすきがけプログラムの1名は小児科（広島大学小児科研修プログラム）を専攻し、広島大学病院にて研修しています。

2008年度以降の当院（広島鉄道病院およびJR広島病院）基幹型プログラム修了者および進路は以下の通りです。

（ ）内は人数

	総数	男性	女性	進路
2008年度	2	1	1	内科（1）、精神神経科（1）
2009年度	4	3	1	内科（2）、精神神経科（1）、総合診療（1）
2010年度	0	0	0	
2011年度	2	2	0	内科（1）、泌尿器科（1）
2012年度	2	2	0	整形外科（1）、病理診断科（1）
2013年度	0	0	0	
2014年度	2	2	0	内科（1）、泌尿器科（1）
2015年度	2	2	0	眼科（1）、病理診断科（1）
2016年度	0	0	0	
2017年度	1	0	1	病理診断科（1）
2018年度	3	0	3	内科（1）、皮膚科（1）、病理診断科（1）
2019年度	3	3	0	内科（1）、泌尿器科（1）、放射線治療科（1）
2020年度	4	3	1	内科（2）、精神神経科（2）
2021年度	4	3	1	内科（2）、精神神経科（1）、病理診断科（1）

看護部

看護部長よりごあいさつ

堀江 玲子

Reiko Horie

JR広島病院における看護とは

JR広島病院の理念のもと、広島市東区の中核病院としての役割を担い、地域に根ざし信頼される病院を目指し、良質で安全な看護を提供する。その対象はあらゆる年代の個人、家族、集団、地域社会であり、健康の保持増進、疾病の予防、健康の回復、苦痛の緩和を行い、生涯を通じてその最後まで、その人らしく生を全うできるように支援を行うことである。

JR広島病院の看護部は、「私達は心をこめて安心と安全な看護を提供します。」を看護部理念に掲げ、他職種と連携し、チーム一丸となり、地域に愛され、質の高い安全な看護を提供するよう日々努力しています。

看護力を向上させるため、新人はローテーション研修により、様々な部署を経験し基礎看護技術を身につけ、やりがいを持ち継続できる様取り組んでいます。

また、継続教育に力を注ぎ、専門性の向上については、10名の認定看護師を中心に、研修会や教育を行い、看護の質の向上に努めています。

看護部理念

私達は心をこめて安心と安全な看護を提供します

基本方針

1. 安全な医療・看護を提供します。
2. 患者さんサービスの向上に努めます。
3. 専門職として看護の質向上に努めます。
4. 地域医療への貢献に努めます。
5. 他職種との連携に努めます。

看護師を目指す方へ

1. 看護部教育理念

JR広島病院看護部は、看護職が専門職業人と

して能力の維持・向上を主体的に行うと共に地域医療に貢献できるよう、体系的な継続教育を行う。

○概念に基づいた質の高い看護を提供できる看護師を育成する。

○思いやる人間性と倫理観を育成する。

○実践能力の維持・向上のため、自己研鑽を主体的に行える看護師を育成する。

2. 看護部教育体制

当院はクリニカルラダーを採用しています。クリニカルラダーとは、看護師の臨床実践における能力を段階的に表現したもので、新人とレベルⅠ～Ⅴまでを設定しています。

レポートや、研修態度、技能により評価し、レベルアップできるよう教育します。

3. 看護部新人教育

(1)新人年間目標

目的：専門職業人としての自覚を高め、看護師としての役割を認識する。

目標：組織の概要を知り、その一員としての役割を学ぶ。

(2)新人教育体制

クリニカルコーチ、いわゆるプリセプターと、精神面を支えるサポーターで新人をサポートしています。また、各部署での教育担当や臨床場面での実地指導者がおります。看護技術も臨床にに応じて、基礎から学び、一人ひとり技術の上達を確認しながら、自立できるよう支援しています。

看護部教育責任者より

久保田 佳代 (副看護部長)

Kayo Kubota

JR広島病院の理念のもと、地域に根ざし信頼される病院を目指し、良質で安全な看護を提供できるように努めています。

専門職として自律性をもち、患者さん自身の力をひきだし、そばで支え、望む暮らしにつながる看護を实践できる看護師をめざし継続的な教育を行っています。

また、一人ひとりのキャリアやスキルに合わせた教育も行っており、認定・特定行為看護師取得にむけての支援など、個々のキャリアアップのための支援体制も整っています。

当院看護部は、「人」を大切に守り育てる教育を行って行きます。

臨床工学室

スタッフ

原 和信、多根 正二郎、脊戸川内 稔、
濱田 祐己、宗美 淳志 境田 祐太、
三島 綾香、西海 真吾、長久 拓矢、
坂本 直樹

業務内容

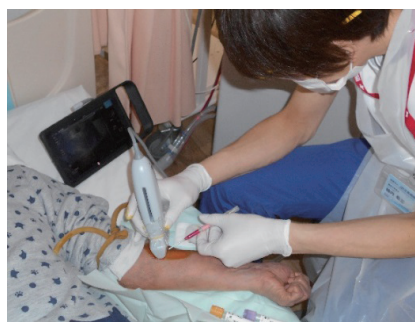
医療機器管理

輸液ポンプ、シリンジポンプ、人工呼吸器、
ネブライザーを中央化し臨床工学室やHCUに
常駐。貸し出し機器については毎日ラウンドに
て使用中点検も行い稼働中の機器トラブルなど
の対応も行い稼働率を算出しています。また人工
呼吸器、輸液・シリンジポンプ・除細動器、
AED、IABP、PCPS、電気メス、ネブライザー
等の点検も定期的に技士にて行っています。



人工透析センター

透析室における主な業務は穿刺（エコー下穿
刺）、USを使用するシャント管理、透析液水
質管理、プライミング（全自動）、機器保守点検、
修理、定期消耗部品交換などであり透析中は患
者管理と装置の監視業務を行っています。また、
各患者のシャントエコーを定期的に行い結果を
医師にレポート形式で報告しています。他の血
液浄化法として透析センター内では腹水濾過濃
縮再静注療法、血漿交換療法、病棟においては
エンドトキシン吸着、持続的血液濾過透析法
（CHDF）なども透析外科医師の指示のもと行っ
ています。



手術室

整形外科領域での自己血回収装置の操作、甲
状腺腫瘍摘出術中の神経モニター、ペースメー
カ植え込み術における閾値測定、また透析患者
のシャント造設（修復術含む）、血栓除去術、腹
膜透析チューブ造設術における前立ち業務も
行っています。また麻酔器の使用前点検も行っ
ています（平日毎日）。



温熱療法

腫瘍治療併用療法としてのハイパーサーミア装置の操作を行い、加温出力の調整や熱感時の対応、抗がん剤副作用の観察、機器メンテナンスなどを行っています。



臨床工学室実績

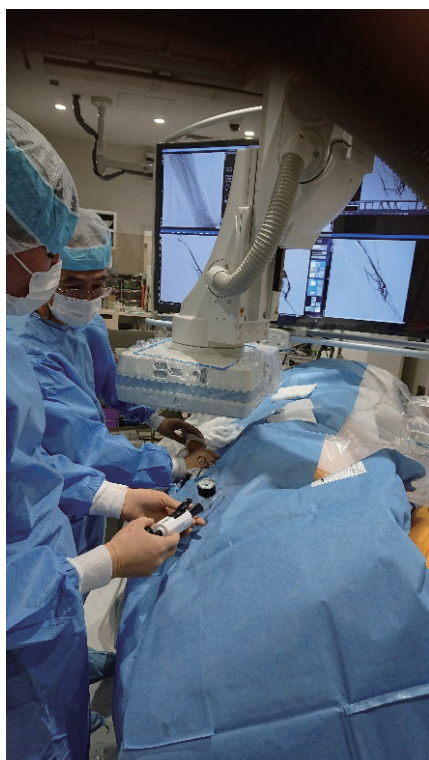
ペースメーカー外来

ペースメーカー挿入患者の6ヶ月フォローを週1回行い装置が正常に作動しているか、危険な不整脈はないか、電池電圧は正常範囲内をキープできるかなどをチェックしています。

心カテ室

心臓カテーテル（検査、治療）における各種モニター記録、IVUSによる冠動脈の長径、内径の計測、FFRや血管内視鏡等の操作を行っています。

また透析外科医師によるバスキュラーアクセス拡張術（PTA）の前立ち業務も行っていきます（緊急も対応）。



		2019年度	2020年度	2021年度
医療機器管理	人工呼吸器 使用前点検	135台	66台	106台
	人工呼吸器 定期点検	18台	18台	20台
	輸液ポンプ定期点検	186台	162台	161台
	シリンジポンプ定期点検	156台	147台	148台
	除細動器定期点検	12台	12台	12台
	AED定期点検	27台	27台	13台
	電気メス		8台	9台
温熱療法室	ハイパーサーミア	208名 1,016例	64名 644例	61名 676例
	手術室			
手術室	麻酔器始業点検	434台	453台	504台
	自己血回収術	30例	45例	42例
	ペースメーカー 挿入	17例	16例	14例
	ペースメーカー 電池交換	11例	3例	4例
	外科NIM	21例	8例	17例
	シャント、PD造設等	50例	60例	33例
外来	ペースメーカー Clinic	226例	206例	251例
透析センター	HD	5,727例	6,862例	6,523例
	I-HDF	696例	271例	165例
	O-HDF	4,002例	4,263例	5,698例
	ECUM	17例	43例	17例
	G-CAP	0例	0例	0例
	計	10,442例	11,624例	12,400例
	CART	39例	18例	1例
	シャントエコー検査	221例	373例	369例
病棟	PMX	1名 2例	0例	0例
	CHDF・HD	2名 9例	6名 48例	9名 32例
心カテ室	心カテ (CAG, PCI等)	158例	152例	167例
	シャントPTA	165例	265例	258例

薬剤部

薬剤部長よりごあいさつ

岡井 由美子

Yumiko Okai

私たち薬剤師は、医薬品の専門家として他の医療スタッフと連携をとり、安全で有効な薬物療法を提供するよう心がけています。調剤や特殊な薬剤の調製、医薬品情報の収集と提供、患者さんへの説明（薬剤管理指導）、薬剤の供給、品質管理などの業務を行い、医療安全の面からも医療に貢献しています。

患者さんや、他の医療スタッフから信頼されるよう、一丸となって努力してまいります。薬に関することなら何でもお問い合わせください。

業務内容

調剤

1. 内服・外用調剤業務

電子カルテと連動した調剤支援システムを導入し、薬袋印字機、散薬監査システム、散薬自動分包機、錠剤自動分包機等を使用し正確な調剤を行っています。また、薬剤師の視点で処方内容をチェックし、薬の種類・用法用量・重複投与・飲み合わせなど疑問点があれば医師に確認します。外来は特殊な薬剤等を除き原則院外処方箋を発行しています。「かかりつけ薬局」をお持ちになり、お薬手帳を携帯されることをお勧めしています。

※「かかりつけ薬局」とは

複数の病院などで発行された処方箋を全て一つの保険薬局にお持ち頂き薬を受け取ります。重複がないか、飲み合わせは大丈夫かなどのチェックを病院間でも行うことができます。

2. 注射薬調剤業務

注射処方箋に基づき、入院患者さんの注射薬を患者さんごとに取り揃えています。電子カルテより投与履歴、既往歴、臨床検査値等を参照しきめ細やかな処方チェックを行っています。高カロリー輸液ならびに抗がん剤は細菌汚染を防ぐ目的でクリーンベンチや安全キャビネットを使用し無菌的に調製しています。また、抗がん剤については、治療効果と安全性を確保するため投与量・投与期間・休薬期間・投与順序・併用薬剤などの確認を行っています。



3. 製剤業務

市販されていない医薬品で治療上必要のある薬品は、院内で審議した上で、製剤室で調製しています。また、調剤業務、診療業務の合理化のため病院独自の約束処方も調製しています。

4. 医薬品情報管理室

(DI室：Drug Information)

適正な薬物療法を行うのに必要な医薬品の情報を収集・管理・評価し、医師、薬剤師、看護師その他医療にかかわる人に提供していくことが、DI室の仕事です。厚生労働省からの緊急安全性情報など緊急性の高い情報は、院内の掲示板やお知らせメールを使い即時伝達し、その他の情報もDIニュースとして配信しています。

5. 薬剤管理指導業務

各病棟には担当薬剤師が配置され、入院中、安全で有効な薬物療法が行われるよう処方監査を行うとともに、患者さんのもとへ薬剤の説明に伺っています。入院時に持ち込まれたお薬(持参薬)や注射剤も含め、服用・使用されている全ての薬の内容を把握することで副作用の未然防止・早期発見に努めています。また、NST(栄養サポートチーム)やICT(感染対策チーム)などにも薬剤師がメンバーとして参加し、チーム医療に貢献しています。

6. 治験業務

治験事務局、治験審査委員会(IRB)事務局として治験の運用をサポートしています。

治験とは：新しい薬が厚生労働省の承認を得て、広く一般の患者さんに使われるようになるには、その薬の効果と安全性を確認することが必要です。そのために行う試験を「臨床試験」といい、このうち厚生労働省から薬として承認を受けるために行う臨床試験のことを「治験」といいます。

【認定資格】

日病薬病院薬学認定薬剤師	4名
広島県病院薬剤師会生涯研修認定	7名
実務実習指導薬剤師	2名
栄養サポートチーム専門療養士	1名
小児薬物療法認定薬剤師	1名
プライマリケア認定薬剤師	1名
緩和薬物療法認定薬剤師	1名
日病薬病感染制御認定薬剤師	2名
抗菌化学療法認定薬剤師	1名
外来がん治療認定薬剤師	1名
スポーツファーマシスト	1名
日本臨床薬理学会認定CRC	1名
心不全療養指導士	1名
日本糖尿病療養指導士	2名
腎臓病薬物療法単位履修修了薬剤師	1名

【薬剤部実績】

	2017年度		2018年度		2019年度		2020年度		2021年度	
	年間	月平均	年間	月平均	年間	月平均	年間	月平均	年間	月平均
外来院内処方箋(枚)	3,354	280	3,173	264	2,845	237	2,573	214	2,045	170
院外処方箋(枚)	67,889	5,657	67,166	5,597	65,124	5,427	56,569	4,714	56,959	4747
院外処方箋発行率(%)	95.3		95.5		97.0		95.6		96.5	
入院処方箋(枚)	28,816	2,401	30,436	2,536	30,251	2,521	28,197	2,349	25,453	2121
注射処方箋(枚)	76,187	6,349	75,331	6,278	76,477	6,373	80,484	6,707	73,720	6143
抗癌剤調製件数(件)	1,205	100	1,209	101	1,342	112	1,137	95	890	74
IVH調製件数(件)	1,177	98	972	81	837	70	1,073	89	890	74
服薬指導件数(件) 1・2合計	7,984	665	9,187	766	9,143	762	9,840	820	9,900	825
外来腫瘍化学療法診療料(連携充実加算)(件)							203	17	308	26
薬剤総合評価調製加算(件) 2021/7~									185	21
薬剤調製加算(2剤以上原薬)(件) 2021/7~									86	10
退院時薬剤情報管理指導(件) 2021/7~									266	30

JR広島病院薬業連携研修会開催記録

開催日

第7回 2021/9/10	WEB開催	
	講演① 演者	「当院で経験した免疫関連有害事象について」 広島市立広島市民病院 呼吸器内科 主任部長 庄田 浩康
	講演② 演者	「当院におけるirAE対策について」 JR広島病院 化学療法センター がん化学療法看護認定看護師 飯塚 聖子
第8回 2022/2/10	WEB開催	
	演題① 演者	当院における退院時薬剤サマリーの導入と現状 JR広島病院薬剤部 松原 菜美
	演題② 演者	退院後の服薬管理を意識したマツダ病院の取り組み マツダ病院 薬剤部 谷保 智美
	演題③ 演者	退院後のシームレスな服薬情報の共有について ～当院における退院時薬剤管理サマリーの現状と課題～ 太田川病院 薬剤部 吉原 統
	演題④ 演者	退院時サマリーに保険薬局は何を求めるか？ 施設入居時にジゴキシンを取り扱った症例 (株) ホロン すずらん薬局川内店 大和 浩之
	演題⑤ 演者	退院時サマリーの活用から薬局薬剤師の立場から～ ウオント薬局 白島店 前田 大典

栄養士室

管理栄養士よりごあいさつ

入院中のお食事は、治療の一環であると捉え栄養士室では医師、看護師などのスタッフと連携をとり、患者さんのご病気、症状に合わせた内容で、美味しく満足していただける食事の提供を心がけています。また安心して召し上がっていただくために食中毒予防など衛生面にも細心の注意をはらっております。

普通食の患者さんには週3回、朝食と昼食に2種類のメニューからお選び頂く選択メニューを実施しております。そして入院生活に変化と潤いをもっていただけるよう、ひなまつりや七夕などには行事食の提供も行っております。

食欲が低下されている患者さんや、お食事が食べにくい患者さんのベッドサイドに管理栄養士がお伺いし、食べやすくなるよう食事の調整を行っています。糖尿病や心臓病、腎臓病、消化管術後などの患者さんやご家族さまに対して主治医からの依頼のもと栄養食事相談を実施しています。

院内には様々な多職種から構成されるチームがあります。NST（Nutrition Support Team：栄養サポートチーム）は、入院患者さんに最良の栄養療法を提案するために、医師、薬剤師、看護師、管理栄養士、臨床検査技師、リハビリ技士で構成された多職種チームです。主治医より依頼頂いた患者さんに対して症例検討・回診を行っています。また、院内で栄養療法についての研修会を開催しています。一部、院外の医療施設の方もご参加頂いております。

また、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から休止していますが、集団教室として糖尿病教室は医師、薬剤師、看護師、理学療法士、臨床検査技師とともに開催しています。当院入院、外来患者さんに限らず地域の皆さまにも無料で参加頂けます。平成29年度よりホテルでの糖尿病食事会を開催し、参加された患者さんからはご好評の声を頂いております。また、心臓病教室は月1回（原則第4木曜日）医師、薬剤師、看護師、理学療法士、言語聴覚士、臨床検査技師、管理栄養士の各職種持ち回りで実施しております。2018年度より摂食・嚥下に関して介護予防教室を開始しております。

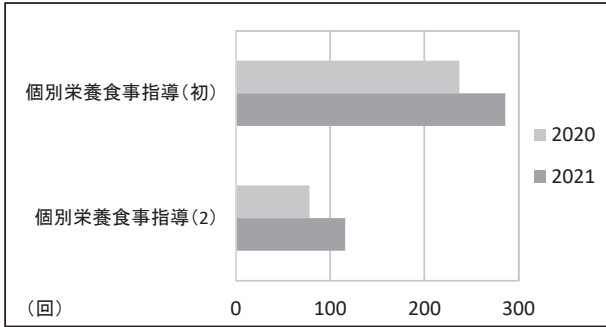


栄養指導は相談しやすい雰囲気を心がけています。

診療実績

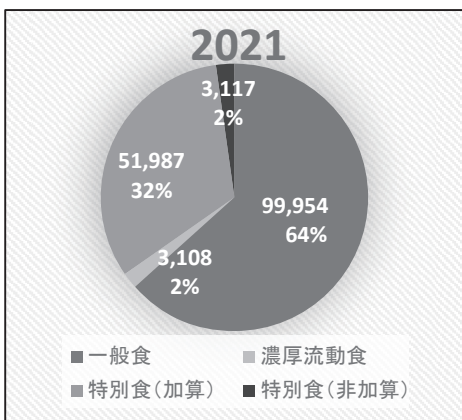
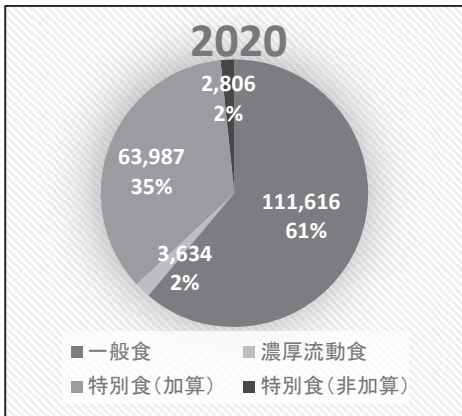
1. 個別栄養食事指導回数

	個別栄養食事指導 (初)	個別栄養食事指導 (2)
2020	237	78
2021	286	116



2. 種類別食数、割合

	一般食	濃厚流動食	特別食 (加算)	特別食 (非加算)
2020	111,616	3,634	63,987	2,806
2021	99,954	3,108	51,214	3,117



医療安全管理室

ごあいさつ

医療安全管理室室長・診療部長

岡本 有三 1982年卒

Yuzo Okamoto

消化器外科、内視鏡外科

医学博士

日本外科学会専門医

医師救急医療業務実地修練過程修了

医療安全管理者

長谷川 三智江 (副看護師長)

Michie Hasegawa

当院の医療安全管理室は、専従看護師が1名配置され医療安全管理を統括しています。また、各部門より選出された委員と協働し、信頼される医療サービスの提供と、医療の質向上を求めて、様々な取り組みを行っています。

今年度は、当院の医療安全3つの重点課題として、患者誤認防止・指示確認漏れ防止・転倒転落防止を軸に、全職員対象の研修や強化週間を実施しました。そして、院内から報告されるインシデントレポートのデータは、問題点の抽出や取り組みの評価に活用しています。また、週に1回行われるミーティングでは、インシデントレポートの報告内容や対策を共有し、委員会活動で分析や対策の検討を実施しています。

医療安全は、患者と医療従事者を守るものであり、職員だけでなく患者さまやご家族の協力も不可欠です。今後も、試行錯誤し医療安全管理体制の発展に努めてまいります。

医療安全研修会 (2021年度)

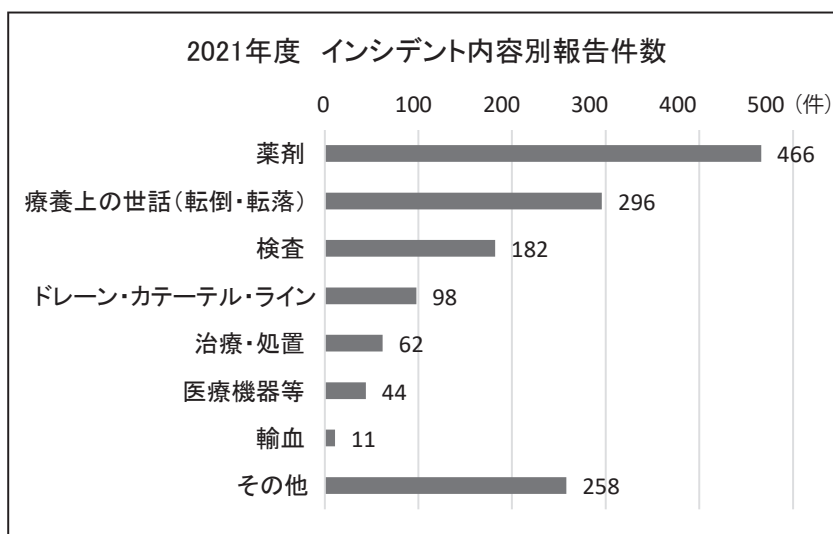
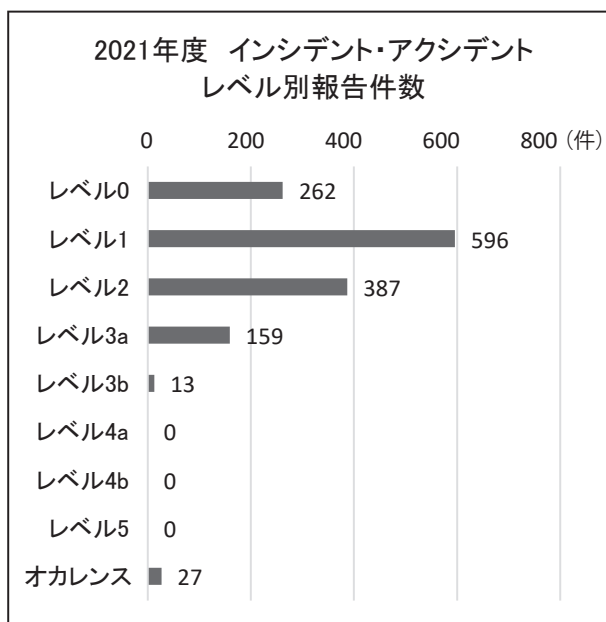
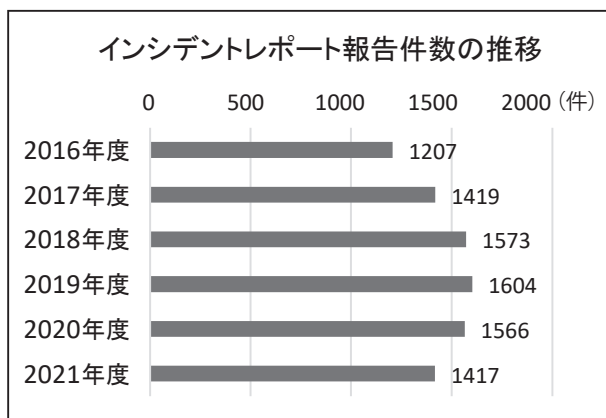
開催月日	テーマ	参加人数
5.21	医療用ポンプの正しい使い方	19名
5.13～6.4	患者誤認予防	419名
6.7～6.11	経腸栄養関連コネクタ製品の切り替え対応について	162名
6.15	医療安全について報告の必要性、当院の医療安全活動内容、酸素ポンベの取扱い	44名
7.13,15,20,27	NPPV研修会	65名
9.1～11.30	個人情報保護法の取扱い	456名
12.29～2.4	クスリのリスクを減らすために	448名
2.28, 3.1,2,3	CVポート穿刺針切り替えに伴う説明	83名
3.4	院内事故予防報告会	89名

主な活動内容

- ・インシデントレポートのデータ集計と報告
- ・注射施行時バーコード認証実態調査(2回/年)
- ・ベッドネーム・リストバンド実態調査(3回/年)
- ・転倒・転落予防ラウンド(11回/年)
- ・医薬品安全使用推進ラウンド(12回/年)
- ・医療安全推進週間取り組み
- ・強化週間 テーマ:患者誤認予防(2回/年)
- ・医療安全管理マニュアル改訂
- ・医療安全情報提供(9回/年)
- ・事故予防ニュース発行(13回/年)
- ・ハリーコール、暴言・暴力連絡先カード配布
- ・雇用時研修(6回/年)、新人職員研修、看護補助者研修
- ・医療安全対策地域連携加算相互チェック(9月・10月・12月)

インシデント・アクシデント報告

インシデント レポート報告件数	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年
	1,207件	1,419件	1,573件	1,604件	1,566件	1,417件



感染対策室

ごあいさつ

感染対策室室長・副院長

三重野 寛 1980年卒

Hiroshi Mieno

消化器管、内視鏡診断・治療、IBS、GERD

医学博士

日本消化器病学会専門医

日本消化器内視鏡学会認定医

日本内科学会指導医

広島大学医学部臨床教授

感染対策室副室長

新田 由美子 (看護師長)

Yumiko Nitta

日本看護協会感染管理認定看護師

特定行為研修修了

概要

感染対策室は医療を受ける患者さんはもちろん、院内で働く全ての職員の安全と安心のために、医療関連感染対策活動の充実に努めています。

1. 特色

- ・専任医師 (ICD) 2名、専従看護師 (感染管理認定看護師) 1名、専任薬剤師 (感染制御認定薬剤師・抗菌薬化学療法認定薬剤師) 2名、専任臨床検査技師 (感染制御認定臨床微生物検査技師) 1名により感染対策チーム (ICT) と抗菌薬適正使用支援チーム (AST) を設置し活動しています。
- ・感染防止対策加算1・感染防止対策地域連携加算に基づき、地域の病院と連携しています。
- ・地域の感染対策を推進する目的で広島市東区感染管理ネットワークを立ち上げて活動しています。

2. 業務内容

- ・院内感染対策マニュアルの作成・改訂
- ・感染症発生の動向調査・把握、アウトブレイク対応
- ・環境ラウンド等により感染対策の実施状況の確認、指導

- ・感染症・感染対策に関する情報提供・教育
- ・院内外からのコンサルテーション
- ・抗菌薬適正使用の推進
- ・職業感染対策 (ワクチン接種、結核対策、針刺し防止対策等)
- ・ファシリティーマネジメント

活動実績

院内だけでなく地域における感染対策推進のための活動を行っています。

1. 業務実績

- ・新型コロナウイルス感染症対策 (マニュアル作成、ゾーニング・感染対策の確立、実施状況の確認)
- ・院内感染対策マニュアル改訂
- ・ICTラウンド (週2回)
- ・ASTラウンド (週1回)
- ・清掃評価 (12回)
- ・ICT・ASTニュース発行
- ・職員、関連企業に対するインフルエンザワクチン接種
- ・職員に対するB型肝炎、麻しん、風しん、水痘、ムンプス抗体価確認、ワクチン接種
- ・針刺し、血液曝露発生時の対応、予防策の推進
- ・サーベイランス (菌検出状況、中心静脈カテーテル関連血流感染、尿道留置カテーテル関連尿路感染、呼吸器関連肺炎、手術部位感染、抗菌薬使用状況、血液培養提出状況)
- ・手指衛生の啓発: アルコール手指消毒剤使用量チェック (毎月)、手指衛生直接観察 (2回)、手指衛生キャンペーン (2回)
- ・インフルエンザ感染予防リーフレット作成配布 (外来患者、入院予定患者)
- ・「食中毒予防」、「インフルエンザ対策」、「咳エチケット」ポスター作成掲示
- ・感染防止対策加算に基づくカンファレンス4回
- ・感染防止対策地域連携加算に基づく相互ラウンドチェックの実施
- ・連携施設、高齢者施設等からのコンサルテーション (月1~2件)

2. 教育活動実績

開催日	テーマ
2021/11/11. 15. 16. 17. 18 (全4回)	手洗いチェック
2022/3/7. 8. 16. 17 (全4回) + Web	VREの基礎と感染対策
2021/11/30	看護補助者研修
2021/12/10	嘔吐物処理演習

新採用・中途採用者研修（9回）

PPE着脱トレーニング（5回）

事務部

ごあいさつ

事務部長

植木 直富
Naotomi Ueki

1. 新型コロナウイルス感染症への対応

2021年度を振り返ると、2020年度に引き続き新型コロナウイルス感染症への対応に注力した1年でした。

8月の下旬から9月中旬にかけては、広島県にも緊急事態宣言が発令されるなど、1年を通して多くの患者が発生しました。コロナ病棟で勤務する人員を確保するために、緊急事態宣言期間以外にも、4西病棟の閉鎖や入院の制限を行わざるを得なくなり、その期間は4西病棟を完全閉鎖したのが61日間、入院の制限をしたのが151日間にもおよび、2021年度は全病棟が通常稼働したのは1年のうち35日間だけという状況でした。

コロナ陽性患者の入院受入れの他、帰国者・接触者外来、ホテル療養対応、発熱外来、コロナ外来などの対応を行いながら、コロナワクチン接種を当院職員、近隣医療施設の医療従事者等、当院かかりつけの患者を対象として実施しました。また、他のワクチン接種実施医療機関へのワクチン配送の基幹施設としての役割も果たしました。

院内の全職員が努力・協力してこのような対応を行うことができました。このような職員の努力・協力に報いるため、直接コロナに対する検査やコロナ患者対応を行った職員に対してコロナ診療手当を設け、また、全職員を対象としてコロナ対応特別一時金を6月と3月に支給するなどしました。

2. その他の対応

新型コロナウイルス感染症への対応の他にも、色々な取り組みをしています。いくつか例示すると、対象患者の増加に対応するための透析センターの増床、地域医療機関との連携を進めるため広島県及び広島県医師会が推進するHMネットの運用を開始、働き方改革として、夜間の看護補助者の配置、バイタルの自動入力システムの導入等を行いました。また、勤怠管理システムの導入検討を進め2022年4月からの運用

開始を予定していましたが、電子カルテの無線との電波干渉を生じ、現在有線での運用準備を進めています。

3. 経営状況

経営においても、昨年度同様新型コロナウイルス感染症の影響を大きく受けた1年でした。

医業収益は約5,989百万円と対計画、対前年比とも100.9%とほぼ前年並みを確保できました。内訳として、入院収益が約3,734百万円、外来収益が約1,845百万円、保健予防活動収益が約271百万円でした。

入院は、患者数が対前年△23.4人、前述のように、新型コロナウイルス感染症の影響で大幅な病床制限をせざるを得なかったため、大幅減となりました。一方、日当点はコロナ病棟のHCU単価での算定、手術件数の増、特に全身麻酔件数の増や、夜間看護補助加算等により大幅にアップしましたが、患者数減の影響をカバーするまでには至りませんでした。

外来は、患者数では眼科、小児科、耳鼻科などが前年度のコロナの影響による大幅な減少からの回復、透析センターの増床の影響等により対前年+11.0人、日当点も眼科の外来OPや単価の高い透析患者の増加の影響によりアップし、対前年度、対計画とも大幅に上回りました。

保健予防活動収益は、前年度の新型コロナウイルス感染症による受入れ制限から回復し対前年度、対計画とも大幅に上回りました。

医業費用は約6,716百万円、患者数の減少等により材料費等は減少しましたが、人件費は増加、設備関係費で減価償却費が大幅減少したために、医業費用計では対前年99.4%、対計画100.3%となりました。ただ、補助金を財源とするコロナ関係の一時金や消耗品の購入等については、収益は医業外収益、費用は医業費用に計上されており、数値を見る際に注意が必要です。

医業収支は約△726百万円と対前年度約+91百万円となりました。また、経常収支では新型コロナウイルス感染症の空床確保補助金等の影響により約+1,548百万円と大幅な黒字となりました。

地域医療連携室

ごあいさつ

患者支援センター長・副院長

三重野 寛 1980年卒

Hiroshi Mieno

消化器管、内視鏡診断・治療、IBS、GERD

医学博士

日本消化器病学会専門医

日本消化器内視鏡学会認定医

日本内科学会指導医

広島大学医学部臨床教授

当院はこれまでも、地域の先生方からのご紹介は「断らない」をモットーに取り組んで参りました。施設等のハード面が充実したことと、当院の取り組み体制も整ったことにもない、これからますます地域の中核病院としての機能を発揮し、地域包括ケアシステムの実現を図ります。そのためにも、東区を中心とした地域の先生方とWin-Winの関係で手を携え、地域医療を支えていかねばなりません。先生方とのつなぎ役として、地域医療連携室へどしどしご相談いただければ幸いです。

地域医療連携室長・副看護部長

竹井 里美

Satomi Takei

急性期医療として、

①大学病院などの基幹病院と機能分担・連携を図るポストアキュート機能

②東区の中核病院としてまた二次救急の指定を受けた病院として、地域医療機関や在宅、介護施設からの緊急時受入を図るサブアキュート機能を担い、東区の急性期医療の『つなぐ』部門として活動しています。

また、地域の患者さんが安心して地域で生活できる総合的なサポート療養支援を行い、地域の医療・看護・介護の連携（在宅医療・介護連携）を図りながら「住み慣れた場所で最後まで自分らしく生きる」ための地域包括システムの構築に貢献していきたいと思っております。

地域医療連携室について

当院は、『優しさと誠実な医療で更なる地域貢献を目指す』の理念を掲げ、病診・病病連携を図り、東区の中核病院としての役割を果たしてきました。

この度、さらに地域の第一線で診療するかかりつけ医等の先生方と役割分担し、専門的治療（検査）や救急医療、入院医療を担う医療機関として、2020年3月30日付けで『地域医療支援病院』に承認されました。

これまで以上に紹介患者さんや救急患者さんの受入について積極的に取り組んでいきたいと考えています。

地域医療連携室（地域医療支援病院）の取り組み

- ・地域医療機関から紹介された患者さんを中心とした医療の提供
- ・救急医療の提供
- ・かかりつけの先生方への積極的な患者さん紹介（逆紹介）
- ・地域医療機関に対し、病床や設備をかかりつけの先生方と共同で利用
- ・地域の医療従事者に対する講演会、研修の実施

地域医療連携室は『地域医療の向上に貢献する病院』の窓口として取り組んでまいります。

2021年度 統計

【紹介率、逆紹介率】

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
紹介件数 (件) (A)	693	589	695	623	595	638	732	725	674	549	522	647	7,682
逆紹介件数 (件) (B)	918	772	853	820	832	774	855	883	883	718	702	852	9,862
初診件数 (件) (C)	999	939	1,060	956	1,058	970	1,064	1,042	987	1,006	898	1,066	12,045
紹介率% (A)÷(C)	69.4	62.7	65.6	65.2	56.2	65.8	68.8	69.6	68.3	54.6	58.1	60.7	63.8
逆紹介率% (B)÷(C)	91.9	82.2	80.5	85.8	78.6	79.8	80.4	84.7	89.5	71.4	78.2	79.9	81.9

※上記の「紹介率」及び「逆紹介率」は、地域医療支援病院で定める計算式による数値。「初診件数」は、地域医療支援病院で定める除算後の数値です。

【救急来院患者数】

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
救急搬送 (件)	70	102	88	89	87	74	95	77	96	113	92	100	1,083
その他 (件)	38	79	66	79	59	63	43	48	40	69	54	50	688
計 (件)	108	181	154	168	146	137	138	125	136	182	146	150	1,771
【別掲】うち紹介患者 (件)	32	26	18	27	22	21	29	33	38	35	21	31	333
【別掲】うち入院患者 (件)	56	66	49	62	57	53	61	59	64	77	55	70	729

※上記「【別掲】うち紹介患者」とは、救急来院患者のうち、紹介患者の数。「【別掲】うち入院患者」は、救急来院後に入院になった数です。

【平均在院日数】

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
新入院患者数 (人)	394	408	350	389	403	348	397	395	387	395	370	446	4,682
退院患者数 (人)	424	405	359	390	391	372	404	371	404	365	384	419	4,688
延在院患者数 (人)	5,822	5,387	4,953	5,127	5,462	4,721	5,047	4,995	5,138	5,449	4,915	5,960	62,976
平均在院日数 (日)	14.2	13.3	14.0	13.2	13.8	13.1	12.6	13.0	13.0	14.3	13.0	13.8	13.4

※平均在院日数=延在院患者数÷((新入院患者数+退院患者数)÷2)

【病床利用率】

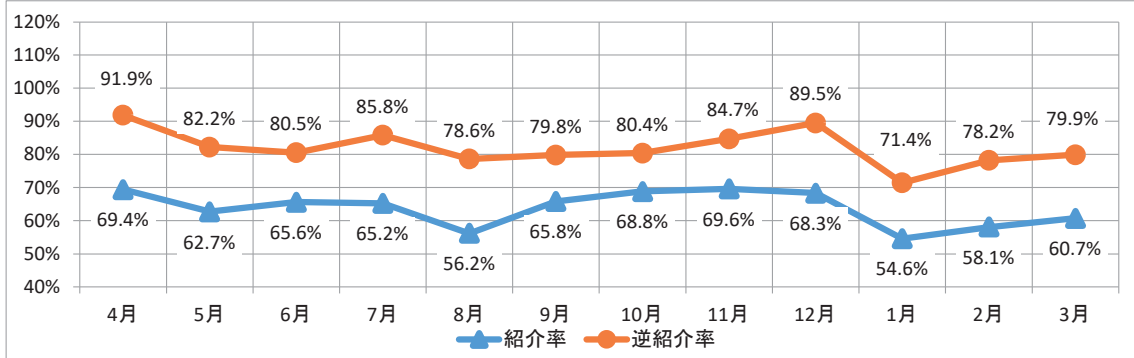
区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
稼働病床数 (床)	269	269	269	269	269	269	269	269	269	269	269	269	269
診療日数 (日)	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	28	31	365
病床利用率 (%)	72.1	64.6	61.4	61.5	65.5	58.5	60.5	61.9	61.6	65.3	65.3	71.5	64.1

※病床利用率=(病床数×診療日数)÷延在院患者数、病床数275床 (休棟HCU 6床)

ご紹介いただき、ありがとうございました。

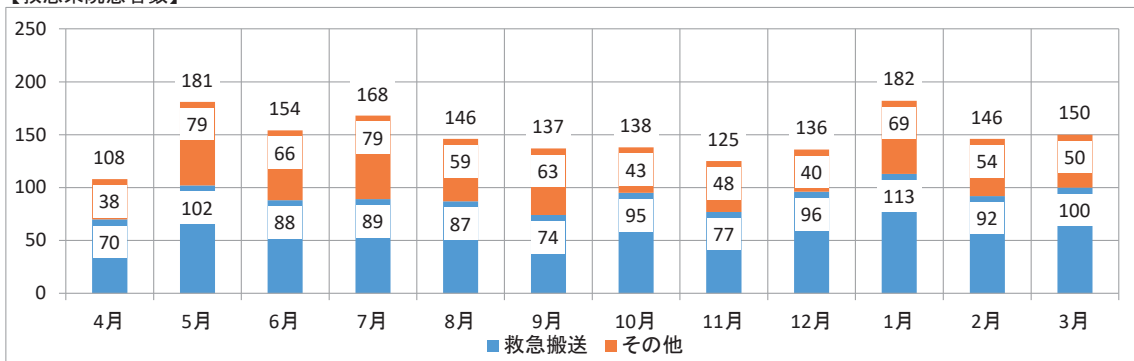
2021年度 統計
【紹介率、逆紹介率】

【紹介率、逆紹介率】



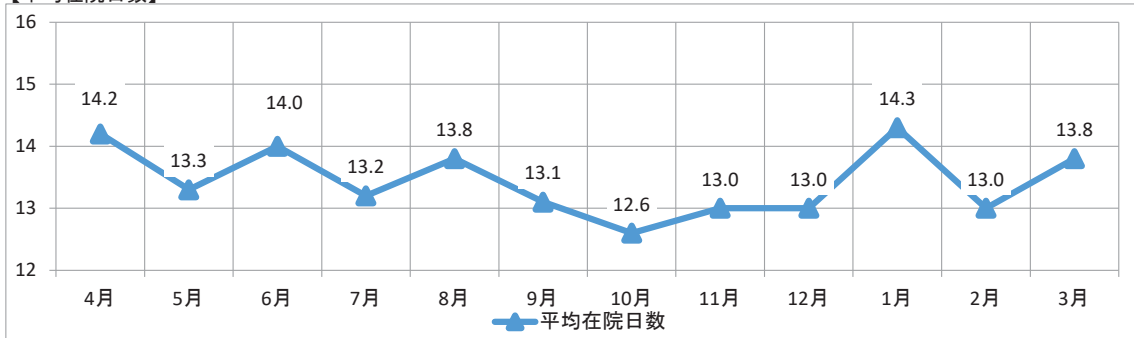
【救急来院患者数】

【救急来院患者数】



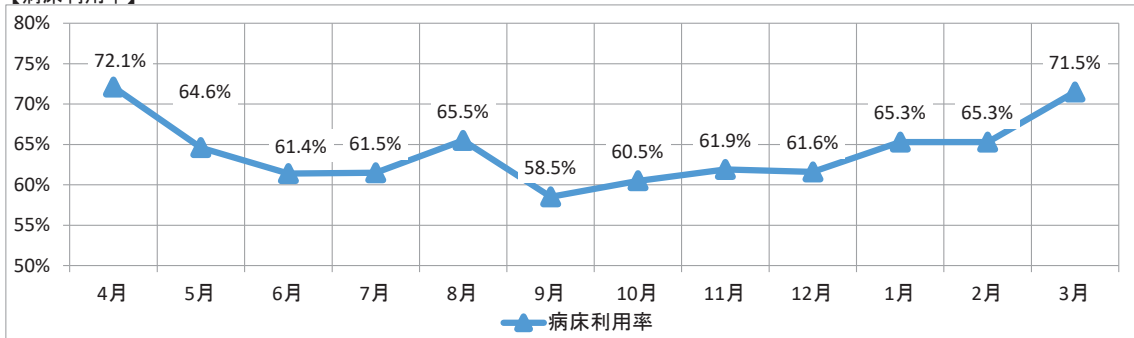
【平均在院日数】

【平均在院日数】



【病床利用率】

【病床利用率】



患者支援室

ごあいさつ

患者支援センター長・副院長

三重野 寛 1980年卒

Hiroshi Mieno

消化器管、内視鏡診断・治療、IBS、GERD

医学博士

日本消化器病学会専門医

日本消化器内視鏡学会認定医

日本内科学会指導医

広島大学医学部臨床教授

患者支援室室長・看護師長

高木 光男

Mitsuo Takaki

患者支援室は2019年度6月に新設されました。もともとあった以下の4箇所の部署・役割をまとめて、多方面から患者とその家族を支援することを目的として活動しています。

1. 入退院センター

看護師4名、事務職員1名で笑顔を絶やさず、親切・丁寧に対応しています。

- ① 入院手続き；当日入院される方の入院手続きをした後、病棟へ案内しています。
- ② 入院説明；予定入院患者・家族に対し入院説明を行っています。各部署特有の事情に配慮しながら臨機応変に対応しています。また、看護師を増員し、情報収集を細やかにを行いデータベース入力・整理を行い、入院前からの退院支援を行えるようにアセスメントをしています。今後も、病棟や退院支援部門と連携した退院支援・調整ができるように努めていきます。
- ③ 診断書受付；担当事務を配置し、多岐にわたる診断書の受付を一括して行っています。
- ④ 助勢対応；看護部からの要請あれば、病棟・外来への助勢の協力をしています。

2021年度 実績

	①入院手続	②a入院説明	②b情報入力 (割合%)	③診断書
年間	2,643	2,195	1,564 (83.0%)	3,034
月平均	220	183	130	253

2. 患者相談窓口

医療従事者と患者・その家族との対話を促進し、良好な関係を築くため、相談窓口を設置しています。当院では、患者サポート体制充実加算を取得しており、専任の看護師1名が、患者やその家族が不利益を受けないように十分配慮しながら、関係各部署と協力し、相談や苦情に対応しています。また、電話相談にも適宜対応しています。

相談件数 (対面)	2019年	2020年	2021年
	85	89	164

3. 退院支援部門

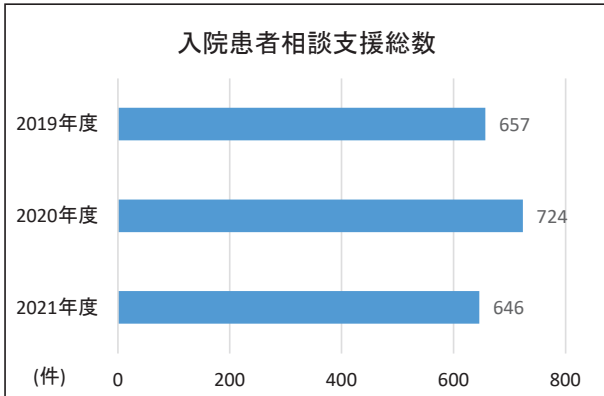
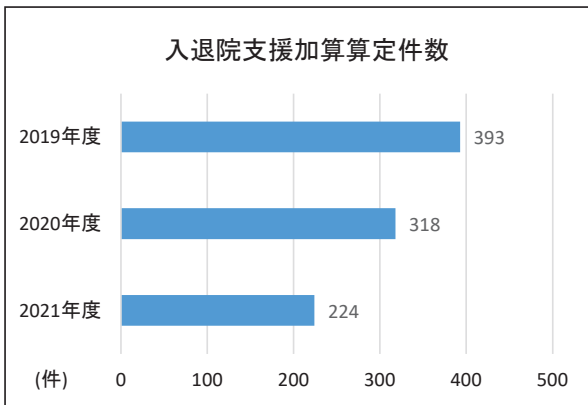
退院支援部門では住み慣れた地域で患者さんが安心して生活できるように退院調整看護師2名と医療ソーシャルワーカー3名が退院支援と医療・福祉相談をしております。

当院では入退院支援加算2を算定していますが、各病棟に退院支援担当者を可能な限り配置し、幅広い患者さんに対しての支援と地域の関係機関の皆様が相談しやすい環境となるよう努力しております。

2021年度もコロナの影響で、当院の病床数を減らしながらの対応となりました。また、感染対策による面会禁止が続く中、カンファレンス開催も難しく情報共有が不十分なまま退院するケースが多々ありました。しかし、年度内にはオンラインでのカンファレンス開催が出来るよう準備でき、カンファレンスの開催を徐々に再開しております。

施設面談の場合も、可能であればオンラインでの実施を行い、難しい場合は感染対策を行いながら面談を行いました。

今後も感染状況に応じた情報共有の方法を考え行っていきたいと思っております。



2020年度より入院患者相談支援件数の集計方法を変更しました。

	2019年度	2020年度	2021年度
入退院支援加算算定件数	393	318	224
入院患者相談支援総数	657	724	646

4. ベッドコントロール

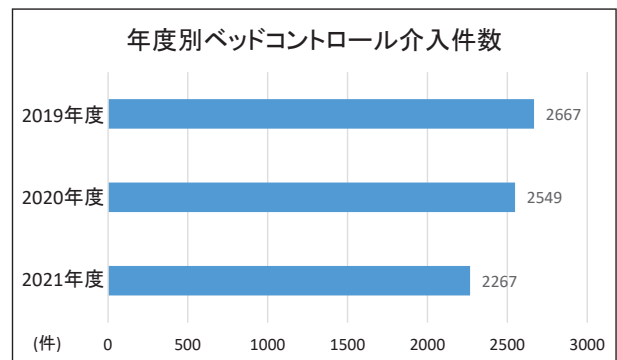
ベッドコントローラーとして担当師長を1名配置して業務を行っています。

ベッドコントローラーの業務は主として、病院全体の予定入院患者のベッド調整、緊急入院患者の病床確保、他院からの転院希望の患者さんの受け入れ調整等を行っています。

緊急入院となる患者に関しては患者情報を把握し病棟がスムーズな受け入れを実施出来るように調整を行うとともに、退院支援部門とも情報共有をしていき安心して退院が出来る様に連携を行っています。

病状が安定した患者さんには病棟・退院支援部門とも協力して地域包括ケア病棟への転棟を促し、急性期病棟の空床を確保していくことで二次医療機関としての役割を担えるようにしています。

これからも、地域の患者さんが安心して適切な病床に入院出来るよう他部門とも連携して業務を行っていきます。



» Ⅲ 業績集

論文 (欧文)

1. Taooka Y, Yoke H, Inata J: A case of oxaliplatin-related interstitial pneumonia with high-grade fever and relative bradycardia as the presenting signs. *Journal of Medical Case Reports*. 15 (1): 153, 2021.
2. Taooka Y, Inata J, Fukushiro Y, Ito H: A case of sarcoidosis with elevated serum IgM. *Int. J. Case Rep. Images* 2021; 12: 101231Z01YT2021.
3. Taooka Y, Isobe T, Inata J, Ito H: Elevated levels of induced-sputum IL-36 gamma and osteopontin in the elderly with dysphasia. *Respirology* 26 (Supplement 3): 6-7, 2021.
4. Taooka Y, Inata J, Ito H: Lung adenocarcinoma with nivolumab-associated pleuritis showing decreased pleural complement titres. *Journal of Hospital General Medicine*. 4: 93-96, 2022.
5. Sun R, Tanino R, Tong X, Isomura M, Chen LJ, Hotta T, Okimoto T, Hamaguchi M, Hamaguchi S, Taooka Y, Isobe T, Tsubata Y. The Association Between Cyclooxygenase-2 -1195G/A (rs689466) Gene Polymorphism and the Clinicopathology of Lung Cancer in the Japanese Population: A Case-Controlled Study. *Frontiers in Genetics*. 13: 796444, 2022.
6. Harada T, Nakamae T, Kamei N, Fujimoto Y, Tanaka N, Fujiwara Y, Yamada K, Tsuchikawa Y, Morisako T, Maruyama T, Adachi N: Surgical outcomes of cervical myelopathy in patients with athetoid cerebral palsy. *Eur J Orthop Surg Traumatol*. 2021 Aug 29. Online ahead of print.
7. Masatsugu Yano, Daisuke Sumitani, Masayuki Shishida, Takafumi Oshiro, Makoto Ochi, Yuzo Okamoto, Hirofumi Nakayama, Hideki Ohdan: A Case of methotrexate-Associated Lymphoproliferative Disorder After Resection of an Accidentally Detected Enlarged Thyroid Tumor. *Annals of Clinical and Medical Case Reports* 2021; 7(16): 1-5.
8. Yoshida S, Tanaka S: Artificial intelligence for the detection of gastric precancerous conditions using image-enhanced endoscopy: What kind of abilities are required for application in real-world clinical practice? *Gastrointest Endosc* 2021; 94: 549-50.
9. Okamoto Y, Yoshida S, Izakura S, Katayama D, Michida R, Koide T, Tamaki T, Kamigaichi Y, Tamari H, Shimohara Y, Nishimura T, Inagaki K, Tanaka H, Yamashita K, Sumimoto K, Oka S, Tanaka S: Development of multi-class computer-aided diagnostic systems using the NICE/JNET classifications for colorectal lesions. *J Gastroenterol Hepatol* 2021; 37: 104-10.
10. Odagawa M, Okamoto T, Koide T, Tamaki T, Raytchev B, Kaneda K, Yoshida S, Tanaka S, Sugawara T, Toishi H, Tsuji M, Tamba N: A Hardware Implementation on Customizable Embedded DSP Core for Colorectal Tumor Classification with Endoscopic Video toward Real-Time Computer-Aided Diagnosis System. *IEICE TRANS FUNDAMENTALS* 2021; E104: 691-701.
11. Michida R, Katayama D, Izakura S, Wu Y, Koide T, Tamaki T, Yoshida S, Okamoto Y, Tanaka S: A Lesion Classification Method Using Deep Learning Based on JNET Classification for Computer-Aided Diagnosis System in Colorectal Magnified NBI Endoscopy: The 36th International Technical Conference on Circuits/Systems. *Computers and Communications* 2021: 154-7.
12. Katayama D, Michida R, Izakura S, Wu Y, Koide T, Tamaki T, Yoshida S, Okamoto Y, Tanaka S: A Lesion Classification Method Using Deep Learning Based on NICE Classification for Computer-Aided Diagnosis System in Colorectal NBI Endoscopy: The 36th International Technical Conference on Circuits/Systems. *Computers and Communications* 2021:158-61.

13. Odagawa M, Okamoto T, Koide T, Tamaki T, Bisser R, Kaneda K, Yoshida S, Tanaka S, Sugawara T, Toishi H, Tsuji M, Tamba N : A Hardware Implementation on Customizable Embedded DSP Core for Colorectal Tumor Classification with Endoscopic Video toward Real-Time Computer-Aided Diagnosis System. *IEICE Transactions on Fundamentals of Electronics Communications and Computer Sciences* 2021; E104-A: 691-701.
14. Odagawa M, Koide T, Tamaki T, Yoshida S, Tanaka S : Feasibility Study for Computer-Aided Diagnosis System with Navigation Function of Clear Region for Real-Time Endoscopic Video Image on Customizable Embedded DSP Cores. *IEICE TRANSACTIONS on Fundamentals of Electronics Communications and Computer Sciences* 2021; E105-A: in press.
15. Odagawa M, Okamoto T, Koide T, Tamaki T, Yoshida S, Tanaka S : Classification with CNN features and SVM on Embedded DSP Core for Colorectal Magnified NBI Endoscopic Video Image. *IEICE TRANSACTIONS on Fundamentals of Electronics Communications and Computer Sciences* 2021; EAP1036: in press.
16. Tanaka A, Shimabukuro M, Teragawa H, Okada Y, Takamura T, Taguchi I, Toyoda S, Tomiyama H, Ueda S, Higashi Y, Node K. Reduction of estimated fluid volumes following initiation of empagliflozin in patients with type 2 diabetes and cardiovascular disease: a secondary analysis of the placebo-controlled, randomized EMBLEM trial. *Cardiovasc Diabetol* 2021 20: 105.
17. Tanaka A, Shimabukuro M, Teragawa H, Okada Y, Takamura T, Taguchi I, Toyoda S, Tomiyama H, Ueda S, Higashi Y, Node K. Comparison of the clinical effect of empagliflozin on glycemic and non-glycemic parameters in Japanese patients with type 2 diabetes and cardiovascular disease treated with or without baseline metformin. *Cardiovasc Diabetol* 2021 20: 160.
18. Kusunose K, Imai T, Tanaka A, Dohi K, Shiina K, Yamada K, Kida K, Eguchi K, Teragawa H, Takeishi Y, Ohte N, Yamada H, Sata M, Node K, Candle Trial Investigators. Effects of canagliflozin on NT-proBNP stratified by left ventricular diastolic function in patients with type 2 diabetes and chronic heart failure: a subanalysis of the CANDLE trial. *Cardiovasc Diabetol* 2021 20: 186.
19. Teragawa H and Nakano Y. Can activity trackers shed light on the prognosis of coronary artery disease? *Eur J Prev Cardiol* 2021 (online).
20. Teragawa H, Orita Y, Oshita C, Uchimura Y. Intracoronary thrombogenicity in patients with vasospastic angina: an observation using coronary angiography. *Diagnostics* 2021 11: 1632.
21. Kusunose K, Yoshida H, Tanaka A, Teragawa H, Akasaki Y, Fukumoto Y, Eguchi K, Kamiya H, Kario K, Yamada H, Sata M, Node K. Prize Study Investigators. Effect of febusostat on left ventricular diastolic function in patients with asymptomatic hyperuricemia: a sub analysis of the PRIZE Study. *Hypertens Res* 2022 45: 106-115.
22. Teragawa H, Oshita C, Uchimura Y, Akazawa R, Orita Y. Coronary microvascular vasodilatory function: related clinical features and differences according to the different coronary arteries and types of coronary spasm. *J Clin Med* 2011 11 (online).
23. Shiina K, Tomiyama H, Tanaka A, Yoshida H, Eguchi K, Kario K, Kato T, Teragawa H, Toyoda S, Oishi M, Fukumoto Y, Takase B, Ishizu T, Node K. Prize Study Investigators. Differential effect of a xanthine oxidase inhibitor on arterial stiffness and carotid atherosclerosis: a subanalysis of the PRIZE study. *Hypertens Res* 2022 45: 602-611.
24. Teragawa H, Morimoto T, Fujii Y, Ueda T, Sakuma M, Shimabukuro M, Arasaki O, Node K, Nomiyama T, Ueda S. Effect of anagliptin versus sitagliptin on renal function: subanalyses from the REASON Trial. *Diabetes Metab Syndr Obes* 2022 15: 685-694.

25. Yasumura J, Shimizu M, Toma T, Yashiro M, Yachie A, Okada S: Clinical Significance of Serum Soluble TNF Receptor I/II Ratio for the Differential Diagnosis of Tumor Necrosis Factor Receptor-Associated Periodic Syndrome From Other Autoinflammatory Diseases. *Front Immunol*. 2020 Oct 14;11:576152.
26. Mino M, Sumitani D, Hashimoto K, Yoshida S, Ooka N, Shishida M, Oshiro T, Yano M, Okamoto Y, Date S, Nakayama H. Incidentally found abdominal para-aortic and inferior mesenteric lymph node metastases of prostatic adenocarcinoma in a surgical case with sigmoid colon cancer. *Hiroshima J Med Sci* 2021; 70 (1): 23-26.
27. Tsuji T, Nobukawa T, Mito A, Hirano H, Soh Z, Inokuchi R, Fujita E, Ogura Y, Kaneko S, Nakamura R, Saeki N, Kawamoto M, Yoshizumi M. Recurrent probabilistic neural network-based short-term prediction for acute hypotension and ventricular fibrillation. *Sci Rep*. 2020; 10 (1): 11970. doi: 10.1038/s41598-020-68627-6. PMID: 32686705; PMCID: PMC7371879.
28. Urabe T, Yanase Y, Motoike S, Harada K, Hide I, Tanaka S, Tsutsumi YM, Kawamoto M, Sakai N. Propofol induces the elevation of intracellular calcium via morphological changes in intracellular organelles, including the endoplasmic reticulum and mitochondria. *Eur J Pharmacol*. 2020; 884: 173303. doi: 10.1016/j.ejphar.2020.173303. Epub 2020 Jul 15. PMID: 32681942.
29. Tsuji T, Arikuni F, Sasaoka T, Suyama S, Akiyoshi T, Soh Z, Hirano H, Nakamura R, Saeki N, Kawamoto M, Yoshizumi M, Yoshino A, Yamawaki S. Peripheral arterial stiffness during electrocutaneous stimulation is positively correlated with pain-related brain activity and subjective pain intensity: an fMRI study. *Sci Rep*. 2021; 11 (1): 4425. doi: 10.1038/s41598-021-83833-6. PMID: 33627762; PMCID: PMC7904817.
- 永田 秀之, 益田 浩, 満田 一博, 川上 洋介, 新本 卓也, 松岡 龍雄: 広島市東区における ICT を利用した在宅医療介護連携の実績と課題, *広島医学*, 2021; 74 (8): 396-402.
2. 峠岡 康幸, 伊藤 洋行, 福代 有希, 稲田 順也: 当院で経験したレジオネラ肺炎症例における 2 種類の診断予測スコアに関する検討. *日本病院総合診療医学会雑誌* 17 (5): 464-469, 2021.
3. 本間 りりの, 峠岡 康幸, 稲田 順也, 折田 裕一, 伊藤 洋行, 三重野 寛: 当院で経験したレムデシベル投与中に洞不全症候群様徐脈を認めた 2 例と文献的考察. *日本病院総合診療医学会雑誌* 17 (6): 617-623, 2021.
4. 中村 精吾: 人工股関節術後の脊椎-骨盤アラ イメント変化, *続報*, *日本人工関節学会誌*, 2021; 51: 271-2.
5. 中村 聖, 川西 なみ紀, 矢口 裕子, 井瀨 真美, 清水 文明, 橋本 邦宏, 井上 勝己, 木谷 由希絵, 久保 雅実, 中山 宏文: 子宮腔部擦過および尿細胞診材料にメラニン色素を有しない悪性黒色腫細胞のみ出現した 1 例, *広島臨床細胞学会*, 2021; 41: 29-33.
6. 道田 竜一, 片山 大輔, 井櫻 星二, 呉 泳飛, 小出 哲士, 玉木 徹, 吉田 成人, 岡本 由貴, 田中 信治: 深層学習を用いた JNET 分類に基づく大腸内視鏡画像診断支援の一手法, 第 27 回画像センシングシンポジウム論文集 (SSII2021) 2021; IS2-11.
7. 片山 大輔, 道田 竜一, 井櫻 星二, 呉 泳飛, 小出 哲士, 玉木 徹, 吉田 成人, 岡本 由貴, 田中 信治: 深層学習を用いた NICE 分類に基づく大腸内視鏡画像診断支援の一手法, 第 27 回画像センシングシンポジウム論文集 (SSII2021) 2021; SO2-10.
8. 有本 英伸, 香川 景一郎, 安富 啓太, 吉田 成人, 岡 志郎, 川人 祥二, 田中 信治: 消化器系悪性腫瘍検出のための高感度自家蛍光イメージング, *オプトロニクス (OPTRONICS)* 2021; 476: 90-4.
9. 岡崎 真衣, 井上 勝己, 鶴飼 麟三, 橋本 邦宏, 住谷 大輔, 中山 宏文: 進行直腸癌孤立性副腎転移に対して腹腔鏡下副腎摘除術を施行した 1 例, *西日本泌尿器科*, 2021; 83: 48-53.

論文 (和文)

1. 住吉 秀隆, 金谷 雄生, 堀内 賢二, 佐藤 修治,

10. 高田 悠太朗, 大下 千景, 上田 智広, 寺川 宏樹: 子宮筋腫に対して子宮摘出後に発症した40歳台の冠攣縮性狭心症の1例. 心臓 2021 53: 872-877.
11. 安村 純子: 【小児のぶどう膜炎】若年性特発性関節炎 (解説/特集). 小児科, 2020 ; 61 巻6号 : 854-860.
12. 安村 純子, 森 雅亮: 若年性特発性関節炎関連ぶどう膜炎, 日本小児科学会雑誌. 125巻5号Page732-738.
13. 安村 純子, 他: 小児リウマチ学: 伊藤 秀一・森 雅亮 (監修) / 日本小児リウマチ学会 (編集), 朝倉書店, 2020年5月1日
14. 安村 純子, 他: 成人診療科医のための小児リウマチ性疾患移行支援ガイド: 厚生労働科学研究費補助金 難治性疾患等政策研究事業 小児期および成人移行期小児リウマチ患者の全国調査データの解析と両者の異同性に基づいた全国的「シームレス」診療ネットワーク構築による標準的治療の均てん化 研究班/編, 一般社団法人 日本小児リウマチ学会, 一般社団法人 日本リウマチ学会/他, 羊土社, 2020年5月20日
15. 安村 純子, 他: 若年性特発性関節炎 (JIA) における生物学的製剤使用の手引き 2020年版: 厚生労働科学研究費補助金 難治性疾患等政策研究事業 小児期および成人移行期小児リウマチ患者の全国調査データの解析と両者の異同性に基づいた全国的「シームレス」診療ネットワーク構築による標準的治療の均てん化 研究班/編, 一般社団法人 日本小児リウマチ学会, 一般社団法人 日本リウマチ学会/他, 羊土社, 2020年5月20日
16. 安村 純子, 他: 小児非感染性ぶどう膜炎初期診療の手引き 2020年版: 一般社団法人 日本リウマチ学会 小児リウマチ調査検討小委員会 ぶどう膜炎ワーキンググループ/編, 日本眼炎症学会, 一般社団法人 日本小児リウマチ学会, 厚生労働科学研究費補助金 難治性疾患等政策研究事業 小児期および成人移行期 小児リウマチ患者の全国調査データの解析と両者の異同性に基づいた全国的「シームレス」診療ネットワーク構築による標準的治療の均てん化 研究班 若年性特発性関節炎分担任/他, 羊土社, 2020年11月27日

17. 安村 純子, 他: 今日の小児治療指針 第17版: 総編集 水口 雅/市橋 光/崎山 弘/伊藤 秀一, 医学書院, 2020年12月

18. 安村 純子, 他: 若年性特発性関節炎 カナキヌマブ治療の倫理と実際: (監修) 森 雅亮, 武井 修治, メディカルレビュー社, 2021年5月12日

国際学会発表(シンポジウム・ワークショップ)

1. Tanaka N: Cervical complications and their prevention. APSS-APPOS 2021, the 13th combined meeting of Asia Pacific Spine Society & Asia Pacific Paediatric Orthopaedic Association, Kobe city, Japan, June 9-12, 2021.

国際学会発表 (その他)

1. Taooka Y, Isobe T, Inata J, Ito H: Elevated levels of induced-sputum IL-36 gamma and osteopontin in the elderly with dysphasia. 25th congress of the Asian pacific society of respirology. Kyoto, 2021.

2. Teragawa H, Oshita C, Akazawa R, Uchimura Y, Orita Y. Clinical characteristics and prognosis in patients with multi-vessel coronary spasm -Comparison with those in patients with single-vessel coronary spasm-. European Society of Cardiology 2021-The Digital Experience- Aug. 2021 web.

3. Teragawa H, Oshita C, Akazawa R, Uchimura Y, Orita Y. Coronary microvascular function in patients with angina with no obstructive coronary artery disease-What factors affect it clinically or angiographically? European Society of Cardiology 2021-The Digital Experience- Aug. 2021 web.

4. Teragawa H, Orita Y, Oshita C, Akazawa R, Uchimura Y. Clinical characteristics of patients with vasospastic angina subjected to the spasm provocation test involving the unavoidable use of nitroglycerin. American Heart Association 2021. Nov, 2021 web.

5. Okamoto Y, Yoshida S, Izakura S, Katayama

D, Michida R, Koide T, Tamaki T, Kamigaichi Y, Tamari H, Shimohara Y, Nishimura T, Inagaki K, Tanaka H, Yamashita K, Sumimoto K, Ninomiya Y, Oka S, Tanaka S : Development of computer-aided diagnosis support system for colorectal NBI diagnosis. American Society for Gastrointestinal Endoscopy (ASGE), DDW2021, 21-23 May, 2021, virtual, USA.

6. Okamoto Y, Yoshida S, Katayama D, Michida R, Izakura S, Koide T, Tamaki T, Kamigaichi Y, Tamari H, Shimohara Y, Nishimura T, Inagaki K, Tanaka H, Yamashita K, Sumimoto K, Oka S, Tanaka S : Development of multi-class computer-aided diagnosis support system for diagnosis of NICE/JNET classification in colorectal lesions. 29th United European Gastroenterology Week (UEGW) 2-6 Oct, 2021, virtual, Europe.

国内学会発表(シンポジウム・ワークショップ)

1. 則松 良明, 川西 なみ紀, 佐藤 妃映, 西川 武, 二村 梓, 品川 明子, 黒川 哲司, 矢納 研二 : ワークショップ LBC標本作製システムにおける標本品質から見た問題. 第62回日本臨床細胞学会総会 2021年6月6日, 千葉市, 6月18~7月11日, Web開催(オンデマンド配信).
2. 奥田 葵, 春田 憲人 : 長期臥床治療を要する化膿性脊椎炎患者の苦痛に対する看護師の認識. 第52回日本看護協会学術集会, オンデマンド配信, 2021年11月26日~12月26日, 新潟.
3. 岡本 由貴, 吉田 成人, 田中 信治 : 大腸 NBI 診断におけるコンピューター診断支援システムの開発. 第101回日本消化器内視鏡学会総会, 2021年5月14日-16日, 広島市.
4. 岡本 由貴, 吉田 成人, 井櫻 星二, 片山 大輔, 道田 竜一, 小出 哲士, 玉木 徹, 山下 賢, 岡 志郎, 田中 信治 : NICE/JNET 分類を用いた大腸 NBI コンピューター診断支援システムの開発. 第39回日本大腸検査学会総会, 2021年10月1日-2日, 東京都.
5. 岡本 由貴, 吉田 成人, 岡 志郎, 田中 信治, 茶山 一彰 : JNET 診断におけるコンピューター診断支援システムの開発と課題. 第17回日本消化管学会総会学術集会, 2021年2月

19-21日, online.

6. 岡本 由貴, 吉田 成人, 片山 大輔, 道田 竜一, 井櫻 星二, 小出 哲士, 玉木 徹, 岡 志郎, 田中 信治 : 大腸内視鏡診断における NICE/JNET 分類を用いたマルチクラス AI 診断支援システムの開発. 第76回日本大腸肛門病学会学術集会, 2021年11月12日-13日, 広島市.
7. 中山 宏文 : ワークショップ14 体腔洗浄細胞診断の意義と標準化 WS14-1 術中体腔洗浄細胞診断の意義と標準化— 病理診断科系細胞診専門医の立場から— 第60回日本臨床細胞学会秋季大会, 2021年11月21日, 米子市.

国内学会発表(その他)

1. 峠岡 康幸, 稲田 順也, 伊藤 洋行 : 高齢者肺炎入院症例におけるデンタルケア早期介入と予後に関する検討. 第23回年度日本病院総合診療医学会総会, 仙台, 2021.
2. 本間 りりの, 峠岡 康幸, 稲田 順也, 折田 裕一, 伊藤 洋行, 三重野 寛 : レムデシビル投与中に洞不全症候群様徐脈を認めたCOVID-19の2例と文献的考察. 第23回年度日本病院総合診療医学会総会, 仙台, 2021.
3. 志々田 将幸, 住谷 大輔, 大城 望史, 矢野 将嗣, 岡本 有三, 吉田 成人 : パネルディスカッション, 胃全摘術後吻合部通過障害に対して, 経口摂取を目的とし, 経皮経食道胃管留置術を施行した1例. 第19回日本PTEG研究会学術集会, 2021年9月19日, 東京.
4. 志々田 将幸, 住谷 大輔, 大城 望史, 矢野 将嗣 : 一般演題, 当院における Interval Appendectomy, 第34回日本内視鏡外科学会総会, 2021年12月2~4日, 神戸.
5. 中村 精吾, 佐々木 正修, 田中 信弘, 小林 孝明, 須賀 紀文, 田島 稔章, 木戸 佑基, 松本 明子 : 人工股関節術後の脊椎-骨盤アライメント変化, 続報, 第51回人工関節学会, 2021年7月7~8日, 横浜市.
6. 田中 信弘, 腰椎 解剖及び手術の種類と適応, AO Spine ORP Course, 2021年2月26日, 川崎市.
7. 池田 倫子, 藤本 聖菜, 松原 史菜 : 病棟看護

- 師のスキン-ケアに対する認識, 第52回日本看護学会学術集会, オンデマンド配信, 2021年11月26日～12月26日, 新潟県.
8. 吉崎 桃子, 大田 望加: A病院B病棟看護師の川崎病に対する看護の困難感, 第52回日本看護学会学術集会 (オンライン配信), 2021年11月26日～12月26日, 千葉県.
 9. 中村 歩, 石本 瞳, 松浦 啓致, 園田 さおり: 『緩和ケア』に対するイメージの変化とそのきっかけについて (遺族調査より), 第26回日本緩和医療学会学術大会, 2021年6月18日・19日, 横浜市.
 10. 山田 峻大, 戸政 達之, 野田 典孝: EI値を用いた一般撮影における撮影線量の最適化について, 第75回日本交通医学会総会, 2021年9月19日.
 11. 沖政盛治: 特別講演 楽に生きましよう! 一水とのお付き合い&アドバンスケアプランニング, 第14回日本静脈学会瀬戸内西日本支部総会, 2022年3月13日, 広島市.
 12. 藤井貴允, 久司 裕喜, 宇佐見 希未佳, 佐伯謙太, 福谷 直人: 運動器症状を有する勤労者に対する遠隔健康医療相談が, 労働生産性・健康状態に与える影響 -前後比較試験-第14回日本運動器疼痛学会, 2021年11月20日～12月5日, WEB.
 13. 栗田 紀子: 大腿骨近位部骨折の作業療法, 令和3年度第2回地域連携パスの会 2022年2月24日, 広島市.
 14. D. Sumitani, T. Ohshiro, M. Shishida, M. Yano. デジタルポスター: Laparoscopy-assisted sigmoidectomy for advanced sigmoid colon cancer with ischemic colitis. 第76回日本消化器外科学会総会, 2021年7月7日 WEB, 京都.
 15. 住谷 大輔, 大城 望史, 志々田 将幸, 矢野 将嗣: 腹腔鏡下左側大腸癌手術における肥満が及ぼす影響についての検討, 第34回日本内視鏡外科学会総会, 2021年12月2日, 神戸.
 16. 新田 由美子: 地域イベントを活用したネットワーク活動 ～地域住民への体験型手指衛生教育報告～, 第9回日本感染管理ネットワーク学会学術集会, 2021年5月14日, web.
 17. 寺川 宏樹, 大下 千景, 折田 裕一: 心不全患者における運動時周期性呼吸変動 (Exercise Oscillatory Ventilation) の臨床的意義とは? 第118回日本内科学会総会, 2021年4月10日, web.
 18. 由田 実沙, 折田 裕一, 内村 祐子, 大下 千景, 赤澤 良太, 三宅 広将, 寺川 宏樹: 冠攣縮性狭心症の若年女性の1例, 日本交通医学会総会第75回総会, 2021年9月19日, web.
 19. 白井 郁嘉, 折田 裕一, 内村 祐子, 大下 千景, 赤澤 良太, 三宅 広将, 寺川 宏樹: 心不全を契機に発見された冠攣縮性狭心症の1例, 日本交通医学会総会第75回総会, 2021年9月19日, web.
 20. 寺川 雄貴, 折田 裕一, 大下 千景, 越智 誠, 寺川 宏樹: 2回目の解析にてAEDが適切に作動した無脈性心室性頻拍の1例, 日本交通医学会総会第75回総会, 2021年9月19日, web.
 21. 青江 耕平, 折田 裕一, 大下 千景, 内村 祐子, 野村 秀一, 寺川 宏樹: Autopsy imaging (Ai) が直接死因の診断に薬だった症例とAiの文献的考察, 日本交通医学会総会第75回総会 2021年9月19日, web.
 22. 宗岡 美紗, 前田 和彦, 森脇 順子, 寺川 宏樹, 岡井 由美子: PCI施行患者における抗血栓療法法の調査, 日本交通医学会総会第75回総会, 2021年9月19日, web.
 23. 寺川 宏樹, 折田 裕一, 大下 千景, 内村 祐子, 赤澤 良太: 冠動脈微小血管機能は左右冠動脈で異なるか?, 第69回日本心臓病学会, 2021年9月19日, web.
 24. 寺川 宏樹, 折田 裕一, 大下 千景, 赤澤 良太, 内村 祐子: 冠攣縮誘発試験中にやむを得ずニトログリセリン投与を行った冠攣縮性狭心症患者の臨床的特徴について, 第62回日本脈管学会総会, 2021年10月15日, web.
 25. 星出 聡, 義久 精臣, 土田 文宏, 水野 裕之, 寺川 宏樹, 葛西 隆敏, 小糸 仁史, 安藤 眞一, 渡辺 尚彦, 竹石 恭知, 菊尾 七臣: 睡眠時無呼吸症候群を疑われた患者でのPulse transit time (PTT) でとらえたBeat-to-beat 血圧と定時測定血圧の差: PTT 血圧・SAS 研究会, 第43回日本高血圧学会総会, 2021年10月16日,

web.

26. 楠瀬 賢也, 吉田 寿子, 田中 敦史, 寺川 宏樹, 赤崎 雄一, 福本 義弘, 江口 和男, 神谷 春雄, 荻尾 七臣, 山田 博胤, 佐田 政隆, 野出 孝一: 無症候性高尿酸血症患者の左室拡張機能に対するフェブキソスタットの効果: PRIZE試験のサブ解析, 第43回日本高血圧学会総会, 2021年10月17日, web.
27. 大下 千景, 西川 拓也, 上村 和紀, 内村 祐子, 赤澤 良太, 杉町 勝, 寺川 宏樹: Detection of Organic Coronary Artery Disease Using Oscillometric Methods -Is Pba Better than Conventional Indicators?, 第86回日本循環器学会学術集会, 2022年3月11日, web.
28. Teragawa H, Oshita C, Akazawa R, Uchimura Y: Clinical characteristics of patients with vasospastic angina subjected to the unavoidable use of nitroglycerin during the spasm provocation test, 第86回日本循環器学会学術集会, 2022年3月12日, web.
29. 安村 純子: 疾患活動性に伴う血液凝固異常に Belimumabが有効であった小児全身性エリテマトーデスの1例, 第64回日本リウマチ学会総会・学術集会, 2020年8月17日～9月15日, オンライン.
30. 清水 正樹, 西村 謙一, 岩田 直美, 八角 高裕, 梅林 宏明, 中岸 保夫, 大倉 有加, 岡本 奈美, 金城 紀子, 水田 麻雄, 八代 将登, 安村 純子, 脇口 宏之, 久保田 知洋, 毛利 万里子, 森 雅亮: 若年性特発性関節炎を主とした小児リウマチ性疾患の診断基準・重症度分類の標準化とエビデンスに基づいたガイドラインの策定に関する研究班: 全身型若年性特発性関節炎に合併したマクロファージ活性化症候群に対する治療 -Dexamethasone palmitateの有効性-, 第30回日本小児リウマチ学会, 2021年10月17日, 東京都.
31. 境田 祐太, 原 和信, 坂本 直樹, 長久 拓矢, 三島 綾香, 西海 真吾, 多根 正二郎, 濱田 祐己, 脊戸川内 稔, 越智 誠: JR広島病院における臨床工学技士のPD業務, 第30回中国腎不全研究会, 2021年12月5日, Web, 広島.
32. 中山 宏文, 円山 英昭, 矢野 将嗣, 岡本 有三, 安井 弥: 甲状腺濾胞型乳頭癌の腫瘍関連線維芽細胞および腫瘍血管外膜, 第110回日本病理学会総会, 2021年4月22日～24日, 東京都 (4/22以降オンデマンド配信).
33. 中山 宏文, 円山 英昭, 矢野 将嗣, 岡本 有三, 安井 弥: 濾胞状構造主体および濾胞状変化を伴う被包性甲状腺乳頭癌の腫瘍被膜間 質細胞における平滑筋細胞形質の発現, 第110回日本病理学会総会, 2021年4月22日～24日, 東京都 (4/22以降オンデマンド配信).
34. Hirofumi Nakayama (中山 宏文): Tumor capsular smooth muscle cells in variants of papillary carcinomas甲状腺乳頭癌亜型の腫瘍被膜における平滑筋細胞の出現, 第80回日本癌学会総会, 2021年9月30日～31日 (ライブおよびオンデマンド開催), 横浜市.
35. 中山 宏文, 円山 英昭, 矢野 将嗣, 岡本 有三: 被包型甲状腺腫瘍・腫瘍類似病変における分化した平滑筋細胞マーカー陽性の間質細胞の出現と組織型の相関性, 第53回日本臨床分子形態学会総会・学術集会, 2021年10月22日～24日 (WEB開催).
36. Hirofumi Nakayama, Yuko Yaguchi, Hijiri Nakamura, Masami Ibuchi, Takeaki Shimizu, Namiki Kawanishi, Kyoko Tamura, Yuzo Okamoto
中山 宏文, 矢口 裕子, 中村 聖, 井舘 真美, 清水 丈明, 川西 なみ紀, 田村 恭子, 岡本 有三: Effectiveness of paper-based confirmation whether surgical pathology reports were read or not -practice for two years- 各診療科への週間病理診断報告書一覽表配布による病理診断報告書の既読確認の有効性 — 中規模市中病院での2年間の実践 —, 第67回日本病理学会秋季特別総会, 11月4日～11月5日, 岡山市 (12月11日から12月31日までオンデマンド開催).
37. Hirofumi Nakayama, Mano Mino, Daisuke Sumitani, Kunihiro Hashimoto, Shigeto Yoshida, Naoya Ooka, Masayuki Shishida, Masatsugu Yano, Yuzo Okamoto, Shuji Date, 中山 宏文, 美野 真乃, 住谷 大輔, 橋本 邦宏, 吉田 成人, 大可 直哉, 志々田 将幸, 矢野 将嗣, 岡本 有三, 伊達 秀二: Incidentally-found abdominal para-aortic lymph node metastasis by intraoperative frozen section diagnosis S状結腸癌手術時に腹部大動脈周囲リンパ節の術中迅速診断により前立腺癌を指摘された症例, 第67回日本病理学会秋季特別総会, 2021年11月4日～11月5日, 岡山市 (12月11日か

ら12月31日までオンデマンド開催))。

38. 中山 宏文, 矢口 裕子, 中村 聖, 井瀨 真美, 清水 文明, 川西 なみ紀, 田村 恭子, 岡本 有三：1週間分の病理診断報告書の一覧表を各診療科に配布することが病理診断報告書の既読確認に有効である，第75回日本交通医学会総会 2021年9月19日 (WEB開催)。
39. 佐伯 栞奈, 小椋 未来：A病院B病棟の2年目以上の看護師の身体拘束における意識調査，第75回日本交通医学会，2021年9月19日，完全Web形式。
40. 野村 秀一, 田中 美和子, 豊田 浩美, 竹林 美津子, 大成 有美子, 今川 しのぶ, 宮本 晴子：当健診センター受診者におけるsmall dense LDLコレステロールの検討，第62回日本人間ドック学会学術大会，2021年9月10日，web発表。
41. 浅川 聡, 野村 秀一, 田中 美和子, 栗栖 貴子, 田中 美和, 石橋 努：時間外労働とヒヤリハット件数減少に向けた取組みと評価，第62回日本人間ドック学会学術大会，2021年9月10日，web発表。
42. 熊野 亮平, 河口 幸, 土田 紗綺：混合病棟における認知症患者の転倒・転落の要因分析，第75回日本交通医学会，2021年9月18日，完全Web形式。
43. 小野 栄治, 大城 望史, 長久 拓矢, 西海 真吾, 三島 綾香, 境田 祐太, 脊戸川内 稔, 原 和信, 濱田 祐己：電磁波温熱療法時における初回治療の標準化を目指して (出力上昇率と体脂肪率との関係性について)，第75回日本交通医学会，2021年9月19日，WEB。

地方会(シンポジウム・ワークショップ)

1. 住元 遥香, 堀内 賢二, 中山 宏文, 水野 麻紀：レクチゾールにより溶血性貧血をきたした水疱性類天疱瘡の1例，第149回日本皮膚科学会地方会，2021年8月29日，広島。
2. 田中 信弘：腰椎疾患に対する疼痛治療と低侵襲手術の進歩，2021岩国大竹整形外科医学会学術講演会，2021年10月5日，岩国市。

3. 田中 信弘：頸椎疾患に対する後方アプローチ手術 —マイクロサージャリーと骨粗鬆症—，骨粗鬆症と脊椎疾患を考える会，2021年11月19日，大分市。
4. 舛本 悟, 平原 由子, 幡歩 愛華：コルセットを正しく装着できない脊椎椎体骨折患者の苦痛の実態調査，第47回広島県病院学会，2022年4月8日，広島市。
5. 伊藤 麻弥子：高齢者の大腸内視鏡検査前処置における困難点を明らかにする，第16回広島県消化器内視鏡技師研究会，2021年10月3日，広島。
6. 住谷 大輔, 大城 望史, 志々田 将幸, 矢野 将嗣, 越智 誠, 岡本 有三 口演シンポジウム：腹腔鏡下左側大腸癌手術におけるDST吻合の工夫と成績，第68回第二外科同門会研修会，シンポジウム，2021年12月11日，広島。

地方会 (その他)

1. 伊藤 洋行, 峠岡 康幸, 稲田 順也：Schizophyllum commune (スエヒロタケ) によるアレルギー性気管支肺真菌症 (ABPM) の1例，第125回年度日本内科学会中国地方会，広島，2021。
2. 山田 峻大：膝関節X線撮影の精度向上に対する当院の取組みと課題，広島県診療放射線技師会，令和3年度南東安芸支部研修会，2022年2月9日。
3. 阿津地 弘一：当院RISのお話～カスタマイズを中心に～，第47回広島医療情報システム研究会，2021年8月28日，広島。
4. 阿津地 弘一：職員に対する情報共有のためのシステム活用と課題～放射線検査説明のための理解度向上の取組みについて～，第31回広島県医療情報技師会研究会，2022年1月22日，広島。
5. 平石 純斗：急性腹症の二例，第373回広島放射線診断カンファレンス，2021年5月13日，広島市。
6. 大上 紀子, 高木 光男, 中澤 千紗子, 鳥越 美枝, 石地 英子, 松井 久美子, 越智 誠：高齢PD患者の在宅支援—多職種連携におけるMSWの

立場から一、第30回中国腎不全研究会学術集会共催セミナー、2021年12月5日、広島市。

7. 湯浅 知世, 大田 遥, 田中 文香: 眼部带状疱疹に伴い眼筋麻痺を生じた1例, 広島眼科学会地方会, 2021年11月28日, 広島。
8. 大田 遥, 湯浅 知世, 田中 文香: 小児に発症した抗MOG抗体陽性視神経炎の1例, 広島眼科症例検討会, 2022年3月10日, 広島。
9. 原田 耕輔, 桑原 隆一, 川西 なみ紀: 一般演題: 初回分離培養時におけるCefpodoximeおよびCefepimeディスクを用いた薬剤耐性菌の直接スクリーニング, 第54回 中四国支部医学検査学会.2021年12月3日, Web開催。
10. 青江 耕平, 折田 裕一, 大下 千景, 内村 祐子, 野村 秀一, 寺川 宏樹: 急性心筋梗塞による死亡後, autopsy imagingにて直接死因の診断に至った症例, 第116回日本循環器学会中国・四国合同地方会, 第118回日本循環器学会中国・四国合同地方会, 2021年6月6日, web。
11. 赤澤 良太: 急性心不全に対する緊急BAV. 第12回BAV Club@第27回CVIT中国四国地方会 2021年9月5日 web。
12. 寺川 宏樹: 心筋SPECT読影道場, 第27回日本心血管インターベンション治療学会中国四国地方会, 2021年9月5日, web。
13. 寺川 宏樹: テキスト解説「総論・各論」, 第14回日本心臓核医学会 中国四国地区 地域別教育研修会, 2021年10月9日, web発表。
14. 白井 郁嘉, 赤澤 良太, 大下 千景, 内村 祐子, 折田 裕一, 寺川 宏樹: 心不全を契機に発見された冠攣縮性狭心症の1例, 第125回日本内科学会中国地方会, 2021年11月6日, web発表。
15. 由田 実沙, 折田 裕一, 内村 祐子, 大下 千景, 赤澤 良太, 寺川 宏樹: 冠攣縮性狭心症と診断し20歳代女性の1例, 第125回日本内科学会中国地方会, 2021年11月6日, web発表。
16. 横畑 宏樹, 熊田 寛子, 大野 綾香, 山根 侑子, 田村 尚子, 佐藤 友紀, 藤井 裕士, 下藪 広行, 松原 啓太, 岡野 里香, 安村 純子: 発熱と胸痛を主訴に受診したSjogren症候群の1例, 第176回日本小児科学会広島地方会, 2020年11月29日, 広島市。
17. 大可 直哉, 安村 純子, 横畑 宏樹, 下藪 彩子: MRシアログラフィーが診断に有用であった小児期発症Sjogren症候群の1例, 第176回日本小児科学会広島地方会, 2020年11月29日, 広島市。
18. 長谷川 秋, 安村 純子, 下藪 彩子, 中野 将志, 太刀掛 銘子: 肉芽腫性口唇炎の4歳児例, 第178回日本小児科学会広島地方会, 2021年12月19日, 広島市。
19. 岡田 卓也: 第49回精度管理調査結果の評価・解説 フォトサーベイ (血液), 第41回広島県臨床検査精度管理向上研修会, 2022年2月27日, 広島県 (オンライン開催)。
20. 中村 友美: 「当院でのHCV抗体陽性患者の拾い上げ」肝炎Meeting, 2022年4月15日, 広島市。

地域での社会活動

1. 峠岡 康幸: 呼吸器感染症の治療 (誤嚥性肺炎からCOVID-19まで), 第98回広島市東区医師会学術講演会, 2021年4月26日。
2. 峠岡 康幸, 稲田 順也, 伊藤 洋行: 高齢者肺炎入院症例における予後と早期デンタルケア介入に関する検討. 吉島病院・第7回地域医療を考える会, 2021年11月2日。
3. 峠岡 康幸: Journal of Respiratory Research (Hong Kong) 編集委員。
4. 田中 信弘: 頰椎後方の除圧と固定, DePuy Synthes社内講演会, 2021年6月17日, 広島市。
5. 田中 信弘: 頰椎疾患に対する後方アプローチ手術 —マイクロサージャリーと骨粗鬆症—, 旭化成ファーマ社内講演会, 2021年7月6日, 広島市。
6. 田中 信弘: 腰椎椎間板ヘルニア治療の最前線—椎間板内酵素注入療法の可能性—, 科研製薬社内講演会, 2021年10月26日, 広島市。
7. 田中 信弘: 展開からスクリュー刺入まで, Medtronic PLIFトレーニングコース, 2021年12月11日, 川崎市。
8. 政池 美穂, 鈴川 彩路, 田村 恭子, 松前 愛,

- 矢野 将嗣：経腸栄養のリスクマネジメント～ドキッとした経験ありませんか？～ 第34回NSTを本音で語る会，一般演題，2021年6月27日，広島市.
9. 沖政盛治：教育講演，人生のシナリオを考える，中国労災病院がんオープンカンファレンス，2021年11月17日，呉市.
 10. 川西 なみ紀：がん患者大集会，2021年11月14日，広島市.
 11. 中村 聖：がん患者大集会，2021年11月14日，広島市.
 12. 越智 誠：オープニングリマークスおよび司会，PD連携施設WEB勉強会，2021年9月29日.
 13. 越智 誠：腹膜透析連携～出口部・トンネル感染の早期発見と治療～，テルモWEBセミナー『慢性腎臓病と腹膜透析連携』，2022年2月21日.
 14. 吉田 成人：消化管粘膜下腫瘍に対する超音波内視鏡診断と治療. 消化管疾患 地域医療セミナー，2021年11月29日，広島市.
 15. 吉田 成人：消化管内視鏡診断と治療. 大塚製薬工場レクチャー講演会，2021年10月29日，広島市.
 16. 吉田 成人：腹部超音波検査，広島大学医学部医学科講義，2021年6月2日，広島市.
 17. 飯塚 聖子：第7回二葉の里薬薬連携セミナー「当院におけるirAE対策について」，2021年9月10日.
 18. 新田 由美子：職業感染，公益社団法人広島県看護協会研修会No.54 感染管理【実践編】，2021年9月28日，広島市.
 19. 新田 由美子：感染症対策のための実地研修，厚労省老健局「介護施設及び介護事業における感染症対策向上支援業務」，2021年8月5日，岩国市.
 20. 寺川 宏樹：高中性脂肪血症に対する薬物治療の現状～ペマフィブラートの使用経験を踏まえて～ Kowa Webカンファレンス，2021年4月14日，web開催.
 21. 寺川 宏樹：JR広島病院循環器内科2021-とくに冠動脈機能異常について- Cardiovascular Web Forum，2021年5月20日，web開催.
 22. 折田 裕一：糖尿病と心不全に対する当院の取り組み，第17回二葉の里循環器地域連携セミナー，2021年5月25日 web開催.
 23. 内村 祐子：当院での心不全症例について. Joint Research Heart Failure，2021年6月1日，web開催.
 24. 寺川 宏樹：症例提示コメンテーター. Physiology to the Future Forum in Hiroshima _Round 3，2021年6月29日，web開催.
 25. 寺川 宏樹：当院でのphysiologyを中心としたchronic coronary syndromeの診断・治療，第19回広島血管Imaging技術研究会，2021年8月21日 web.
 26. 寺川 宏樹：心不全進展予防の為に今できる事. 心・腎・代謝連関について考える会，2021年10月19日，web.
 27. 大下 千景：高齢者の心肥大・若年者の心肥大. 第32回広島心エコー研究会 2021年10月23日，web.
 28. 寺川 宏樹：その原因に悩んだ冠動脈石灰化の1例. 湾岸病病連携Online Meeting，2021年11月4日，web.
 29. 寺川 宏樹：「一次救命処置（BLS）-楽しく学びましょう-」～事業場における救急蘇生～，救急蘇生講習会，2021年11月12日，JR広島病院.
 30. 大下 千景：心不全発症予防と早期血圧管理の重要性，第19回二葉の里循環器地域連携セミナー，2021年11月17日，web.
 31. 寺川 宏樹：症例提示コメンテーター. Physiology to the Future Forum in Hiroshima _Round 4，2021年12月16日，web開催.
 32. 寺川 宏樹：当院におけるGOREISAN-HF試験登録の実際，第2回GOREISAN-HF Investigators meeting，2022年3月7日，web開催.

33. 安村 純子：どのような時に自己炎症性疾患を疑うか？，自己炎症性疾患セミナー，2020年8月28日，広島市（ノバルティス）
34. 安村 純子：関節型若年性特発性関節炎で生物学的製剤は中止できるか？，Humira Expert Meeting -第1回JIAの部屋-，2021年4月3日，広島市（アッヴィ）
35. 安村 純子：小児のぶどう膜炎 -小児非感染性ぶどう膜炎 初期診療の手引き2020年版を踏まえて-，Humira Expert Meeting -第2回JIAの部屋-，2021年9月25日，広島市（アッヴィ）

学会長

1. 沖政 盛治：会長，2021年度日本ホスピス緩和ケア協会中国支部大会，2021年10月2日，広島。

研究会世話人

1. 峠岡 康幸：Asthma Network Hiroshima世話人，Hiroshima Airway Meeting世話人，地域医療連携を考える会・呼吸器疾患のマネジメント世話人，研修医・若手医師呼吸器画像カンファレンス世話人。
2. 稲田 順也：地域医療連携を考える会・呼吸器疾患のマネジメント世話人，研修医・若手医師呼吸器画像カンファレンス世話人。
3. 小林 孝明：第9回広島足の外科研究会，2021年7月10日，広島。
4. 小林 孝明：第10回広島足の外科研究会，2022年2月12日，広島。
5. 矢野 将嗣：中国四国甲状腺外科研究会世話人，日本臨床栄養代謝学会中国四国支部世話人。
6. 阿津地 弘一：安芸RI倶楽部世話人，ひろしま核医学技術検討会世話人。
7. 野田 典孝：広島血管Imaging技術研究会，世話人。
8. 鈴川 彩路：NSTを本音で語る会，常任幹事。
9. 政池 美穂：NSTを本音で語る会，幹事。
10. 桑原 隆一：広島市東区感染管理ネットワーク，広島感染症研究会，MICRoBE+学術研究会。
11. 越智 誠：中国腎不全研究会幹事，広島血液浄化カンファレンス世話人，広島アクセス懇話会世話人。
12. 吉田 成人：広島胃と腸疾患研究会
13. 寺川 宏樹：せとうち心臓核医学研究会，広島血液サラサラ研究会，広島高血圧生活習慣病研究会，広島循環器フォーラム21，広島心エコー研究会，広島PTT研究会，中国地区心血管画像研究会，中四国心血管内視鏡研究会。
14. 大下 千景：広島心エコー研究会。
15. 安村 純子：KOCS小児リウマチ研究会，世話人。

座長

1. 堀内 賢二：日本皮膚科学会第149回広島地方会，一般演題2。
2. 堀内 賢二：日本皮膚科学会第150回広島地方会，一般演題2。
3. 峠岡 康幸：演者 大成洋二郎。最適なCOPD，慢性気管支炎治療を考える。令和のCOPD治療を考える会（2021年6月22日）。
4. 田中 信弘：第50回日本脊椎脊髄病学会学術集会，脊椎脊髄病学基礎講座3。
5. 田中 信弘：2021 AO Spine Japan Conference/Congress，Free paper award。
6. 田中 信弘：日本脊椎インストゥルメンテーション学会，主題7 手術合併症。
7. 田中 信弘：日本腰痛学会，主題 腰痛とロコモティブシンドローム。
8. 田中 信弘：JASMISS（日本脊椎低侵襲学会），Digital Spine 1（英語セッション）。
9. 田中 信弘：日本脊髄機能診断学会，術中モニタリング 臨床③。

10. 矢野 将嗣：第13回日本臨床栄養代謝学会中国四国支部学術集会一般演題6「臨床栄養教育・その他」.
11. 吉田 成人：第101回日本消化器内視鏡学会総会，2021年5月15日，広島市.
12. 野田 典孝：第18回 広島血管Imaging技術研究会.
13. 川西 なみ紀：第60回日本臨床細胞学会秋期大会 一般演題（体腔液4），2021年11月21日，米子.
14. 桑原 隆一：第33回日本臨床微生物学会総会・学術集会 一般演題9，2022年1月29日，仙台.
15. 寺川 宏樹：Session I. NOGAが明らかにする動脈硬化の病態 ディスカッサー. Trans Catheter Imaging Forum 2021，2021年5月7日，web.
16. 寺川 宏樹：心不全（薬物治療2）. 第69回日本心臓病学会，2021年9月18日，web.
17. 大下 千景：Moderated Poster Session (Japanese) 4 Structural Heart Disease，第86回日本循環器学会学術集会，2022年3月11日，web.
18. 大下 千景：症例報告セッション（医師口述）8 Heart Failure，第86回日本循環器学会学術集会，2022年3月11日，web.
19. 安村 純子：第176回日本小児科学会広島地方会，2020年11月29日，広島市.
20. 多根 正二郎：透析室でのVascular Acces管理，第12回広島県臨床工学技士会学術大会，2021年6月27日，WEB，広島.
21. 境田 祐太：第12回広島県臨床工学技士会学術大会，2021年6月27日，WEB，広島.
22. 中山 宏文：基礎講座シリーズ「正常組織」3 リンパ節，第60回日本臨床細胞学会秋期大会，2021年11月21日，米子市.
23. 中山 宏文：基礎講座シリーズ「正常組織」4 甲状腺，第60回日本臨床細胞学会秋期大会，2021年11月21日，米子市.

論文査読

1. 峠岡 康幸：Internal Medicine (Japan) 1編，Clinical Case Reports (USA) 2編，Current Medical Imaging (UAE) 2編，World Journal of Clinical Cases (USA) 1編，Bentham case reports (UAE) 1編，World Journal of Cardiology (USA) 1編，BMJ case reports (UK) 2編，International Journal of Chronic Obstructive Pulmonary Disease (USA) 2編
2. 田中 信弘：Journal of Orthopaedic Science 11編，Spine Surgery and Related Research 2編，Asian Spine Journal 1編，European Journal of Orthopaedic Surgery & Traumatology 1編，日本脊椎脊髄病学会抄録査読
3. 川西 なみ紀：広島県臨床細胞学会雑誌1編
4. 吉田 成人：日本消化器内視鏡学会雑誌 (Gastroenterological Endoscopy) 1編
5. 寺川 宏樹：合計108編 (Advance in Therapy：11編，Applied Sciences：3編，BMJ Case Report：5編，Cancer Management and Research：1編，Cardiology and Angiology：1編，Cardiovascular Diagnosis and Therapy：1編，Cardiovascular Drug and Therapy：4編，Children：1編，Current Medical Imaging：1編，Current Pharmaceutical Design：4編，Diagnostic：2編，European Journal of Preventive Cardiology：3編，Frontier in Cardiovascular Medicine：1編，Frontier in Pediatrics：1編，Healthcare：3編，Heart and Vessels：1編，International Journal of Cardiology：1編，International Journal of Environmental Research and Public Health：2編，International Journal of General Medicine：2編，International Journal of Medical Sciences：2編，International Medical Case Reports Journal：1編，Journal of Clinical Medicine：2編，Journal of Cardiology：4編，Journal of International Medical Research：1編，Journal of Personalized Medicine：1編，Journal of Pharmaceutical Research International：1編，Journal of Visualized Experiments：1編，Life：1編，Mathematics：1編，Marinedrugs 1編，Medicina 1編，Metabolites：1編，Pediatric Health, Medicine and Therapeutics：1編，Therapeutics and Clinical Risk Management

- 1 編 World Journal of Cardiology (Editorial board) : 4 編 World Journal of Clinical Cases : 29 編 World Journal of Gastroenterology : 4 編, World Journal of Rheumatology : 1 編, World Journal of Surgical Procedures : 1 編, World Journal of Stem Cells : 1 編) publons verified reviews (last 12 months) 99th percentile 廣島医学編集委員, 日本循環器学会総会抄録査読, ACP日本支部年次総会・講演会2021抄録評価, European Society of Cardiology Abstract Review Committee, American Heart Association Abstract Review
6. 大下 千景 : 日本循環器学会総会抄録査読
7. 安村 純子 (2020) : Clinical Rheumatology 4編, Modern Rheumatology 2 編, Clinical Ophthalmology 1 編, Advances in Rheumatology 1 編, Pediatrics International 1 編, 小児リウマチ 1編
8. 安村 純子 (2021) : Modern Rheumatology 4編, Clinical Rheumatology 2編, Therapeutics and Clinical Risk Management 1 編, Journal of Inflammation Research 1 編, Pediatrics International 1編, 小児リウマチ 1編
9. 中山 宏文 : 「Pathology International (Official Journal of Japanese Society of Pathology (Wiley))」 1 編 「Medical Molecular Morphology (Springer)」 5 編 「Japanese Journal of Clinical Oncology (JJCO)」 1 編
3. 矢野 将嗣 : 日本臨床栄養代謝学会学術評議員, NSTを本音で語る会常任幹事, 広島NST研究会幹事
4. 川西 なみ紀 : 広島県細胞検査士会会長, 広島県臨床細胞学会 副会長, 公益社団法人日本臨床細胞学会評議員, 公益社団法人日本臨床細胞学会都道府県細胞検査士会代表者委員会委員, 細胞検査士資格認定試験・一次試験問題作成委員, 日本交通医学会評議員, 第39回広島県医学検査学会 最優秀演題表彰 表彰委員
5. 桑原 隆一 : 日本臨床微生物学会評議員, 日本臨床微生物学会認定臨床微生物検査技師制度試験問題作成ワーキンググループ委員, 広島県結核予防推進会議委員
6. 岡田 卓也 : 一般社団法人広島県臨床検査技師会情報システム委員会 委員, 一般社団法人広島県臨床検査技師会精度管理委員会 委員, 広島県医師会臨床検査精度管理推進委員会 ワーキンググループ委員
7. 矢口 裕子 : 広島県細胞検査士会 会計
8. 黒島 眞太郎 : 一般社団法人広島県臨床検査技師会広報部, 一般社団法人広島県臨床検査技師会輸血部門委員
9. 本田 秋奈 : 一般社団法人広島県臨床検査技師会広報部
10. 吉田 成人 : 日本消化器内視鏡学会学術評議員, 日本消化器病学会学術評議員, 日本消化器がん検診学会代議員, 日本消化器内視鏡学会 和文誌編集委員会 査読委員

役員・評議員等

1. 峠岡 康幸 : 日本内科学会中国支部評議員, 日本呼吸器学会中国・四国代議員, 日本肺癌学会中国・四国評議員, 日本交通医学会評議員, 日本内科学会J-OSLER病歴要約二次評価審査委員
2. 田中 信弘 : 日本脊椎脊髄病学会理事, 日本腰痛学会評議員, 中部日本整形外科災害外科学会評議員, 日本脊椎インストゥルメンテーション学会評議員, 国際頸椎学会日本機構(CSRS-J) 理事, 日本脊髄機能診断学会理事, 中国・四国整形外科学会代議員, AO Spine Japan Delegates, AO Spine Japan Council Member (Community Development)
11. 寺川 宏樹 : 日本交通医学会評議員, 日本心血管内視鏡学会評議員, 日本内科学会病歴要約評価委員, 日本内科学会中国支部評議員, 日本心血管インターベンション治療学会中四国支部運営委員, 日本循環器学会中国支部評議員, 日本循環器学会中国支部医療事故調査制度派遣医師候補者
12. 中山 宏文 : 一般社団法人日本病理学会学術評議員, 公益社団法人日本臨床細胞学会評議員(査読委員 兼務), 日本臨床分子形態学会評議員(刊行雑誌「Medical Molecular Morphology」査読委員 兼務), 日本交通医学会評議員・学会誌「交通医学」編集委員, Reviewer Board Member of Japanese Journal of Clinical Oncology (JJCO),

広島県衛生検査所精度管理専門委員，広島市衛生検査所精度管理専門委員，呉市衛生検査所精度管理専門委員，福山市衛生検査所精度管理専門委員，広島県医師会腫瘍登録実務委員会・委員，広島県医師会臨床検査精度管理推進委員会・委員，広島がん治療研究会・幹事広島県臨床細胞学会・役員（理事），広島市医師会東区第四支部世話人，広島市医師会腫瘍統計委員会・委員，広島市東区医師会学術委員会・委員

公募講習会

1. 寺川 宏樹：AHA ACLSコースインストラクター：1回，日本内科学会内科救急・ICLS講習会ディレクター 3回インストラクター 5回，ICLSコースディレクター 3回，共用試験医学系臨床実習前OSCE2回（山口大学，広島大学）

院内研究会

1. 峠岡 康幸：JR広島病院医局勉強会，当院のCOVID-19入院症例を振り返る，2021年12月2日。
2. 峠岡 康幸：JR広島病院研修医セミナー，下気道感染症の抗生剤治療について，2021年8月4日。
3. 田中 信弘：腰椎変性疾患と骨粗鬆症性脊椎椎体骨折に対する手術治療について 一側方椎体間固定術（OLIF）と経皮的椎体形成術（BKP）一，JR広島病院手術室勉強会，2021年7月13日。
4. 田中 信弘：腰痛に対するプライマリー診療について，2021年度 JR広島病院初期研修医レクチャー，2021年11月4日。
5. 阿津地 弘一：放射線従事者等に対する診療用放射線に係る安全管理のための職員研修，2021年11月，広島。
6. 今元 祐，升元 知代子：JR広島病院手術室看護師を対象とした局所麻酔中毒対応についての意識調査，令和3年度JR広島病院看護研究発表会，2022年1月22日。
7. 水田 瞳，系井 優理佳：スピリチュアルペインを抱えているがん終末期患者とのコミュニ

ケーションにおける困難感の変化，令和3年度JR広島病院看護研究発表会，2022年1月22日。

8. 高川 奈月，松下 友香：人工骨頭置換術術後における早期離床に対する看護師の困難感，令和3年度JR広島病院看護研究発表会，2022年1月22日。
9. 縄田 歩，児玉 理紗子，佐藤 あかり：非侵襲的陽圧換気療法マスク装着患者の皮膚障害の発生要因に対する看護師のケアの現状，令和3年度JR広島病院看護研究発表会，2022年1月22日。
10. 中柴 里依，池田 真実：日勤帯においての病室の環境整備についての意識調査，令和3年度JR広島病院看護研究発表会，2022年1月22日。
11. 竹本 優梨香，松田 彩紀，小田 菜津美：離床センサー導入における判断についてのフローチャート改善に向けて，令和3年度JR広島病院看護研究発表会，2022年1月22日。
12. 山本 実香，登田 梨穂：JR広島病院6階西病棟の急性期を脱している誤嚥性肺炎患者への食事介助の実態を明らかにする，令和3年度JR広島病院看護研究発表会，2022年1月22日。
13. 菊本 結香，渡邊 香央里：看護師からケアマネジャーへの情報提供の現状と課題，令和3年度JR広島病院看護研究発表会，2022年1月22日。
14. 松本 稚菜，山田 良美：JR広島病院5階西病棟における褥瘡予防方法の実態調査，令和3年度JR広島病院看護研究発表会，2022年1月22日。
15. 上田 美穂，木村 奈緒：地域包括ケア病棟で行った，患者のセルフケア能力に合わせた内服管理方法の検討，令和3年度JR広島病院看護研究発表会，2022年1月22日。
16. 岡野 さくら，赤澤 瑠依：泌尿器科患者が清拭からシャワー浴へ移行する際の看護師の判断基準，令和3年度JR広島病院看護研究発表会，2022年1月22日。
17. 政池 美穂：褥瘡における栄養管理，2021年度JR広島病院院内認定看護師，褥瘡ケア教育課程，2021年9月22日，広島市。

18. 政池 美穂：経腸栄養分野における誤接続防止コネクタ導入と経腸栄養のリスクマネジメント，医療事故予防報告会，2022年3月4日，広島市。
19. 佐藤 正子：2021年度J R広島病院 院内認定看護師 褥瘡ケア教育課程講義 ポジショニングについて，2021年7月30日。
20. 川西 なみ紀：臨床検査について，継続教育委員会研修会，2021年6月18日。
21. 黒島 眞太郎：輸血療法について，継続教育委員会研修会，2021年6月18日。
22. 原田 耕輔：VRE(バンコマイシン耐性腸球菌)の基礎と感染対策について，院内感染対策必須研修，2022年3月。
23. 吉田 成人：消化管内視鏡診療，研修医勉強会，2021年6月3日。
24. 寺川 宏樹：心不全，研修医勉強会，2021年7月19日。
25. 内村 祐子：肺血栓塞栓症，医局会勉強会，2021年11月4日。
6. 藤井 貴允：一般社団法人日本パラクライミング協会 JPCAスタッフ
7. 藤井 貴允：2021年度パラクライミングジャパンシリーズ第1戦クラス分け 2021年11月19日，福山市
8. 吉田 成人：東区医師会かわら版 ウィット “AI消化管内視鏡の開発
9. 中山 宏文：東区医師会かわら版ウィット “東区医師会第4支部世話人を拝命しました”，2021年9月。

その他

1. 堀内 賢二：編集者への手紙，広島医学，2021; 74(8)：403
2. 峠岡 康幸：家庭医と研修医のための高齢者肺炎マニュアル，銀河書籍・ニシダ印刷，大阪，1-50, 2022. (国立国会図書館書誌登録ID：031941158)
3. 田中 信弘：週刊朝日，名医が教える日本人の病気の最新治療，腰痛・足のしびれや痛み② 症状，診察，2022年1月7-14日合併号
4. 田中 信弘：週刊朝日，名医が教える日本人の病気の最新治療，腰痛・足のしびれや痛み③ 治療法，2022年1月21日号
5. 田中 信弘：AERA dot. ヘルス，腰痛・足のしびれや痛み，専門医がすすめる治療法は？ 消炎鎮痛薬は副作用に注意 2022年1月21日 <https://dot.asahi.com/dot/2022011200007.html>

» IV 2021年度の動き

2021年度 主な行事

院内の出来事

社会の出来事



採用辞令交付式 (4月)

- ・2021年4月採用辞令交付式
- ・新入職員研修
- ・永年勤続表彰式

4月

- ・三度目の緊急事態宣言
- ・初のまん延防止等重点措置
- ・松山英樹、2021マスターズアジア人初優勝
- ・池江璃花子、2大会連続の五輪代表入り



採用辞令交付式 (4月)

- ・新型コロナワクチン患者接種開始

5月

- ・野口聡一、約5ヶ月半の国際宇宙ステーション滞在から帰還
- ・星野源と新垣結衣が「逃げ恥婚」



永年勤続表彰式 (4月)

- ・第1回看護師採用試験
- ・2022年度採用看護師WEB説明会

6月

- ・山縣亮太、100メートル決勝で日本新



新入職員研修 (4月)

- ・第1回看護師採用試験

7月

- ・東京オリンピック開幕
- ・四度目の緊急事態宣言
- ・第165回 直木賞
「星落ちて、なお」(澤田瞳子)
- 「テスカトリポカ」(佐藤究)
- ・第165回 芥川賞
「彼岸花が咲く島」(李琴峰)
- 「貝に続く場所にて」(石沢麻依)



新入職員研修 (4月)

- ・2022年度採用看護師見学会
- ・第2回看護師採用試験

8月

- ・東京パラリンピック開幕
- ・東京オリンピック閉幕
日本は過去最多58個のメダルを獲得
- ・2年ぶりに甲子園開催



退職辞令交付式 (7月)

- ・接遇研修会

9月

- ・デジタル庁発足
- ・菅義偉首相が退陣を表明
- ・東京パラリンピック閉幕
日本は史上2番目となる51個のメダルを獲得

院内の出来事

社会の出来事

<p>採用内定通知書授与式 (10月)</p>	<ul style="list-style-type: none"> 採用内定通知書授与式 医療安全研修会 	<p>10月</p>	<ul style="list-style-type: none"> 岸田内閣が発足 真鍋淑郎氏がノーベル物理学賞受賞 眞子さまがご結婚を正式発表
<p>2022年度採用内定通知書授与式(10月)</p>	<ul style="list-style-type: none"> 新人職員フォローアップ研修 院内改善プロジェクト中間報告会 	<p>11月</p>	<ul style="list-style-type: none"> 大谷翔平、MLB2021シーズンMVPを獲得 ヤクルトスワローズ20年ぶり6回目の日本一
<p>新入職員研修 (11月)</p>	<ul style="list-style-type: none"> 優秀職員表彰式 仕事納め 	<p>12月</p>	<ul style="list-style-type: none"> 前澤友作氏日本人初の民間人宇宙旅行へ 2021年 漢字「金」 2021年 流行語大賞「リアル二刀流／ショートタイム」 大阪市北区で大規模放火事件
<p>新入職員研修 (11月)</p>	<ul style="list-style-type: none"> 仕事始め 新型コロナワクチン3回目接種開始 	<p>1月</p>	<ul style="list-style-type: none"> 青山学院大が箱根駅伝総合優勝 内村航平、現役引退を発表 第166回直木賞「黒牢城」(米澤穂信) 「塞王の楯」(今村翔吾) 第166回芥川賞「ブラックボックス」(砂川文次)
<p>優秀職員表彰式 (12月)</p>		<p>2月</p>	<ul style="list-style-type: none"> 北京オリンピック開催 日本は過去最多18個のメダルを獲得 藤井聡太、最年少で史上4人目の五冠 ロシアがウクライナ侵攻
<p>退職辞令交付式 (3月)</p>	<ul style="list-style-type: none"> 院内改善プロジェクト成果報告会 	<p>3月</p>	<ul style="list-style-type: none"> 北京パラリンピック開催 日本は7個のメダルを獲得 「ドライブ・マイ・カー」 米アカデミー国際長編映画賞受賞 サッカー日本代表、7大会連続W杯出場決定

編集後記

JR広島病院2021年度年報をお届けします。

本年度も、河本昌志院長による巻頭言、診療科および部門別紹介、そして業績集から構成されています。本年度も河本院長の方針で、年報を冊子体で配布することを止め、ホームページにアップロードしたPDFファイルをダウンロードしてご覧いただくことになっております。

いままでと同様、年度の業務実績を含む各診療科および部門の紹介は、ホームページをベースとして、部門責任者に依頼し、記載していただきました。ご協力誠にありがとうございました。2020年度同様コロナ禍のため、学会地方会の多くが中止され、若手職員が学術活動をスタートしにくくなっている印象を受けます。一方、全国学会はWEB開催のため、地方からの参加が容易になり、全参加者数が増え、参加費で学会が財政的に潤うため、COVID-19 pandemic終息後もWEB開催が継続されるでしょう。新しい発表形式になれる必要はありますが、当院の若手の皆様にとって、全国学会WEB発表はハードルが高いとは思われません。ますますのご活躍祈念いたします。

業績集は、幅広く職員の業績を取り上げて、「全職員の氏名が、業績集のどこかに必ず見られるようにする」をモットーに、論文（欧文、邦文）、国際学会発表、および特別講演のみならず、国内の学会発表（地方会を含む）、そして院内での教育研修的講演・研究発表、さらに学会や研究会での座長、論文査読、学会（地方会を含む）役員まで含めるようにし、地域での社会貢献や職員向けの多部門での院内研修会での発表も加えました。全職員（医師、薬剤師、看護師、全技士職および事務部）による、日々の臨床に根ざした学会発表・論文、院内外での社会貢献の一覧であり、先の診療科・部門紹介を補完するものです。

市中病院のスタッフは、職種を問わず、「何を研究しようか」と研究テーマに悩む必要がありません。教科書通りに診断・治療できない非定型的な症例への対応（診断、治療、ケア等）そのものがテーマになります。非定型的な症例の報告および集積した類似症例の解析結果を学会発表した内容が原著論文として雑誌に掲載されることで、知見が地域や国内で共有され、欧文や欧文抄録付きの和文論文は世界に発信されます。市中病院勤務者は、大学や研究所の職員以上に恵まれた研究環境にあります。こういった努力は安全安心な医療に繋がるはずです。

原稿作成にご尽力いただいた皆様はじめ院内で協働してくださる方々、誠にありがとうございました。近隣の医療機関に当院を深くご理解いただくための媒体として、今後も年報を充実させていきます。御意見をお寄せください。

広報委員会 委員長
中山 宏文

JR広島病院 年報（2021年度）

発行日 2022年11月
発行者 JR広島病院
〒732-0057
広島市東区二葉の里三丁目1番36号
TEL 082-262-1170

製 作 株式会社ニシキプリント

2021
MEDICAL CORPORATION
JR HIROSHIMA HOSPITAL